

新宿区における
東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会
に向けた活動報告書



令和3年 12月



新宿区における 東京2020オリンピック・パラリンピック 競技大会に向けた活動報告書

発刊にあたって



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、世界的な新型コロナウイルス感染拡大の中、全ての参加者と国民の安全を最優先に開催されました。史上初となった大会の延期、ほとんどの会場での無観客開催という選択は、大会開催の意義が問われるほどの論争となりましたが、困難な状況でも最高のパフォーマンスを発揮したアスリートと、人知れず大会成功のために取り組んできた大会関係者の尽力で、奇跡的な成功を遂げることができました。

東京1964大会から約半世紀を経て、東京は、アジア地域で初めて2回目の夏季オリンピックを、また、世界で初めて2回目の夏季パラリンピックを開催しました。新宿区は、メインスタジアムである国立競技場の地元自治体として、この記念すべき大会が区民の皆様の生涯の記憶に残り、レガシーとして次世代の方々に引き継がれていくよう、ハード・ソフト両面に渡る多面的な取組みを進めてまいりました。

本報告書には、感染症の影響により事業を変更・縮小・中止せざるを得ないといった困難な状況を乗り越えながら、様々な関係者と連携し、「オール新宿」で大会気運の醸成やレガシー創出に向けて歩んできたこれまでの軌跡を記しています。ご協力いただきました関係者の皆様には、この場をお借りして改めて深く感謝を申し上げます。

今大会は、スポーツや文化の発展にとどまらず、持続可能性への配慮、多様性と調和、共生社会実現に向けたバリアフリー化などのきっかけとなりました。新宿区は、大会を契機に実施した取組みを活かし、さらなる区政の発展を目指してまいります。

令和3年12月

新宿区長 吉住 健一

目次

第1章 東京2020大会の概要	3
1 東京2020オリンピック	4
【東京2020オリンピック出場選手インタビュー】	5
2 東京2020パラリンピック	6
【東京2020パラリンピック出場選手インタビュー】	7
3 東京2020大会の大会ビジョン等	8
4 聖火リレー	9
【オリンピック・パラリンピックとは】	10
【東京1964オリンピック・パラリンピック】	10
第2章 新宿区における東京2020大会に向けた取組み	11
◇ 新宿区における東京2020大会の開催に向けた取組み（年表）	12
◇ 2020年大会の開催都市決定まで	14
◇ 新宿区スポーツ栄誉賞	14
1 新宿区東京2020大会区民協議会	15
2 気運醸成イベントの開催	16
3 シティドレッシング（区内装飾）	40
4 広報・PR	49
5 ボランティア	53
6 地域における取組み	55
7 全庁における取組み	61
【スポーツ推進委員とオリパラ】	70
第3章 新宿区における東京2020大会期間中の取組み	71
1 聖火リレー	72
【オリンピック聖火ランナーインタビュー】	72
【パラリンピック聖火ランナーインタビュー】	75
2 子どもたちに東京2020大会との関わりを創出	76
3 難民チーム事前キャンプ	80
【新型コロナウイルスの感染拡大による事業の縮小・中止】	81
第4章 新宿区における東京2020大会のレガシー	83
◇ 大会を契機とした取組みを通じたレガシーの創出	84
1 各主体間の連携	85
2 参加・体験	85
3 装飾・展示	86
4 情報発信	86
5 ボランティア	87
6 地域	87
7 区の事業推進	88
【インタビュー ～東京2020大会に向けた取組みを振り返って～】	89
【インタビュー ～東京2020大会のその先へ～】	89
資料集	91
■ 新宿区東京2020大会区民協議会設置要綱・委員名簿・開催実績	92
■ 東京2020公認プログラム認証取得事業 実施状況一覧	98
■ 新宿区東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画事業助成実績	102
■ なるほど！TOKYO2020（広報新宿連載）掲載記事一覧	106
■ エレベーターラッピングデザイン一覧	108
■ 「その応援から感動がはじまる！チャレンジ！2020」絵画コンクール入賞作品一覧	111
■ 新宿レガシーマップ	114

第1章

東京2020大会の概要

第1章 東京2020大会の概要

1 東京2020オリンピック

- ・正式名称 第32回オリンピック競技大会（2020／東京）
- ・開催期間 令和3年7月23日(金・祝)～8月8日(日・祝) 17日間
- ・競技数/種目数 33競技/339種目
- ・会場数 43会場
- ・観客 無観客 … 東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県・福島県・北海道
有観客 … 宮城県・静岡県・茨城県（学校連携観戦のみ）

新宿区内での実施競技等

会場	日程	実施競技等
オリンピックスタジアム (国立競技場)	7月23日(金・祝)	開会式
	7月30日(金)～8月7日(土)	陸上競技
	8月8日(日・祝)	閉会式

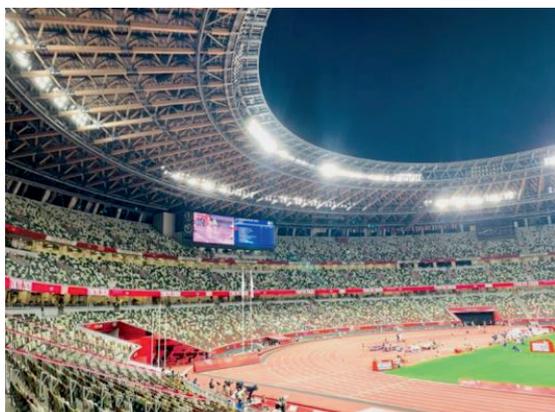
※8月7日(土)午前オリンピックスタジアムで開催が予定されていた「サッカー女子決勝」は、気温上昇による競技への影響を考慮し、同日夜の横浜国際総合運動場での開催に変更となりました。



オリンピックスタジアムの外観



都内の小学校や特別支援学校の児童が育てた約1,200鉢のアサガオが選手たちを出迎えました。



オリンピックスタジアム内の様子



無観客開催でしたが、色とりどりの座席が会場の賑やかさを演出していました。

令和3年7月23日、区内にあるオリンピックスタジアム（国立競技場）で開会式が行われ、東京2020オリンピックが開幕しました。大会には、世界205の国と地域及び難民選手団の約11,000名の選手が参加しました。

オリンピックスタジアムでは、7月30日から8月7日までの9日間にわたって、陸上競技が行われました。

会場での競技観戦はできませんでしたが、テレビや動画配信などを通じて、新しくなった国立競技場における熱戦の様子が連日にわたって届けられました。

8月8日、17日間に及ぶすべての競技が終了し、オリンピックスタジアムでの閉会式をもって、大会は閉幕しました。

大会を通じて、日本選手団は過去最多となる58個のメダル（金：27個、銀：14個、銅：17個）を獲得しました。多くの会場で無観客開催となりましたが、競技の盛り上がりや選手たちの活躍は、テレビ等で観戦した多くの国民に感動を与えました。



オリンピックスタジアムでは、陸上競技43種目の熱戦が繰り広げられました。

～東京2020オリンピック出場選手インタビュー～

オリンピック陸上女子1500mに日本人として初めて出場したト部蘭さんは区立早稲田小学校・西戸山中学校の卒業生。惜しくも準決勝進出は逃したものの、自己ベストを更新する素晴らしい走りを見せてくれました。

東京2020オリンピック陸上女子1500m出場

ト部 蘭（うらべ らん）さん

区立早稲田小学校、西戸山中学校 卒業

積水化学工業(株) 所属

令和元年6月 第103回日本陸上競技選手権大会 女子800m 優勝 1500m 優勝

令和3年6月 第105回日本陸上競技選手権大会 女子800m 優勝 1500m 準優勝



夢のオリンピック出場 ～慣れ親しんだ国立競技場を走る喜びをカに

陸上の中長距離選手だった両親の影響で、物心つく前から走ることが大好きでした。いつも区内の公園や、国立競技場周辺を走って練習していました。

出場が決まった瞬間は、なじみ深い国立競技場で、幼い頃からの夢だったオリンピックで走ることができるという喜びがとても大きかったです。ずっと周辺を走ってきて、競技場が新しく生まれ変わる過程を見守ってきたからだと思います。

大会は無観客開催でしたが、各国代表の選手が集う独特の緊張感や、オリンピックならではの特別な演出が大きなモチベーションになりました。また、会場のボランティアの方々が、スタート直前まで「頑張って！」と声をかけてくれたり、温かい拍手で送り出してくれました。初めての経験に、すごく感激しました。

スタートラインに立った瞬間、「慣れ親しんだこの場所で、夢だったオリンピックのスタートラインに立っている」という実感が大きな力になりました。子どもの頃、小学校のマラソン大会で目標を立てながら練習に取り組んだところから、一つ一つ小さなことの積み重ねで辿り着いた夢の舞台。お世話になった方々への感謝や、幼い頃から慣れ親しんだ国立競技場を走ることができる喜びを胸に、トラックを駆け抜けました。

東京2020オリンピックを経験して、次はラウンドを勝ち上がり、表彰台からの景色が見てみたいと感じました。3年後のパリ大会は、最大限のパフォーマンスを発揮して表彰台に立てるよう、一日一日を大切にしていきたいと思います。

2 東京2020パラリンピック

- ・正式名称 東京2020パラリンピック競技大会
- ・開催期間 令和3年8月24日(火)～9月5日(日) 13日間
- ・競技数/種目数 22競技/539種目
- ・会場数 21会場
- ・観客 無観客（東京都・埼玉県・千葉県では学校連携観戦を実施）

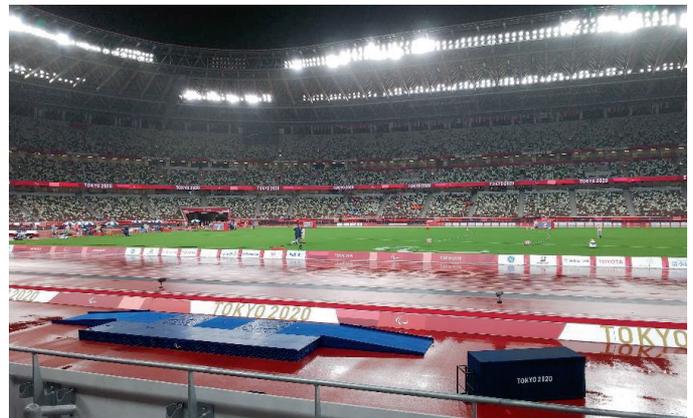
新宿区内での実施競技等

会場	日程	実施競技等
オリンピックスタジアム (国立競技場) ※	8月24日(火)	開会式
	8月27日(金)～9月5日(日)	陸上競技
	9月5日(日)	閉会式

※ 9月5日(日)に実施されたマラソン競技は、オリンピックスタジアム（国立競技場）を発着点として、区内の公道を含む42.195kmのコースで実施されました。



オリンピックスタジアムの外観



オリンピックスタジアムでは、陸上競技167種目が実施されました。



オリンピックスタジアムで
パラ陸上競技を観戦する小学生の皆さん



9月5日には、66名のマラソンランナーが区内を駆け抜けました（外堀通りの様子）。

令和3年8月24日、オリンピックスタジアム（国立競技場）で開会式が行われ、東京2020パラリンピックが開幕しました。大会には、世界162の国と地域及び難民選手団の約4,400名の選手が参加しました。

オリンピックスタジアムでは、8月27日から9月5日まで陸上競技が行われました。9月5日に実施されたマラソン競技では、オリンピックスタジアムをスタートしたランナーが外苑西通り、靖国通り、外堀通りを駆け抜け、再びスタジアムに戻りゴールしました。

マラソン競技の運営では、区の施設（四谷ひろば、四谷保健センター、四谷スポーツスクエア、防災センター）を活用し、大会スタッフやボランティアをサポートしました。

また、9月1日～3日及び5日の計4日間、学校連携観戦プログラムが、徹底した感染症対策及び熱中症対策のもとで実施されました。区立小学校（第4学年～第6学年）、中学校（全学年）の児童・生徒が、オリンピックスタジアムで陸上競技を観戦しました。

9月5日、13日間に及ぶすべての競技が終了し、オリンピックスタジアムでの閉会式をもって、大会は閉幕しました。日本選手団は、アテネ2004大会に次いで史上2番目に多い51個のメダル（金：13個、銀：15個、銅：23個）を獲得しました。全会場で無観客開催となりましたが、パラリンピアンへの想像を超えるパフォーマンスは、テレビ等で観戦した多くの国民に感動を与えました。



四谷ひろば運営協議会の協力のもと、マラソン競技の運営に役立てられました。

～東京2020パラリンピック出場選手インタビュー～

3大会連続でパラリンピックに出場された、新宿区在住のパラリンピアンである高桑早生さんに、東京2020大会で国立競技場を走った感想などをインタビューしました。

東京2020パラリンピック女子走り幅跳び(T64) 8位入賞、陸上女子100m(T64)出場 高桑 早生（たかくわ さき）さん

NTT東日本 所属

ロンドン2012パラリンピック陸上女子(T44)100m7位、200m7位

リオデジャネイロ2016パラリンピック陸上女子(T44)走り幅跳び5位、100m8位、200m7位

*パラ競技クラス分けの表示はアルファベットで種目（例：Tはトラック・Fはフィールド種目等）、

数字で障害の部位等を表しています。（例：63は片足ひざ上、64は片足ひざ下切断等）

東京大会をきっかけに～パラ競技の魅力を発信し続けたい～



中学1年生のときに病気で義足になり、高校入学を機に競技用の義足をつけて走りたいという熱い思いから競技を始めました。ちょうど2008年の北京大会の時に、パラリンピックが注目され始めた頃でした。頑張った先には「パラリンピックがある」というイメージができて4年後のロンドン大会を目指してトレーニングを始めるようになりました。

新宿は幼い頃から祖父母が住み慣れ親しんだ場所。東京大会の出場が決まったときは、「国立競技場で走ることができる」と、ほっとしました。直近の大会で記録が伸び悩んでいましたが、出場が叶わなかった選手の分まで頑張ろうと思いました。大会に向けて、義足作りの技術者の方にご協力いただき日本製の競技用義足で出場することができました。

大会は無観客開催となりましたが、テレビを通して沢山の人がパラ競技を応援してくれる状況が生まれたのはとても良かったです。本来であれば、地元である区民の皆様は、全身全霊で大会を楽しんでいただけるはずでしたが、競技場内での観戦は叶いませんでした。そのような中でも、オリパラ教育や街中のラッピングを通じて区民の皆様が、パラリンピックに注目していただけて大変嬉しく思います。この機会に知っていただいたことを、東京大会で完結するだけでなく、「障害を持っていても、パラリンピックを目指すことはもちろん、誰もがスポーツができる、体を動かすことができる」ということを実感してもらえようパラリンピック競技を通じて、発信していきたいです。

3 東京2020大会の大会ビジョン等

(1) 大会ビジョン

スポーツには世界と未来を変える力がある。

1964年の東京大会は日本を大きく変えた。

東京2020大会は、

「すべての人が自己ベストを目指し（全員が自己ベスト）」、

「一人ひとりが互いを認め合い（多様性と調和）」、

「そして、未来につなげよう（未来への継承）」

を3つの基本コンセプトとし、史上最もイノベーティブで、
世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会ホームページより引用

(2) 東京2020エンブレム「組市松紋」

東京2020大会の象徴ともいえる「東京2020エンブレム」は、平成28年4月25日に決定しました。

日本の伝統色である藍色を用いて日本らしさを表現しつつ、形の異なる3種類の四角形は、国や文化・思想などの違いを示しています。

違いはあってもそれらを超えてつながり合うデザインに、「多様性と調和」のメッセージが込められています。

この「東京2020エンブレム」を制作したのは、新宿区出身の美術家である野老朝雄（ところ あさお）氏です。

野老氏には、新宿フィールドミュージアムシンポジウム「新宿サンクチュアリ2020」（平成29年10月27日開催）への出演や、広報新宿東京2020オリンピック・パラリンピック特集号（令和元年8月5日発行）における区長との対談のほか、令和2年度には、新宿を象徴する新たな紋（マーク）である「新宿小寄紋」をデザインしていただくなど、新宿区のさまざまな取組みにご参画いただきました。



野老朝雄氏(左)と吉住区長(右)

(3) 東京2020マスコット

東京2020オリンピックマスコット「ミライトワ」及び東京2020パラリンピックマスコット「ソメイティ」。今大会では、史上初めて全国の小学生によるマスコットの選定が行われました。

学級単位で投票が行われ、新宿区立小学校全校の学級も参加しました。全国で205,755の学級の投票により、平成30年2月28日に大会マスコットが決定しました。



東京2020オリンピックマスコット「ミライトワ」(左)
東京2020パラリンピックマスコット「ソメイティ」(右)

4 聖火リレー

(1) 東京2020オリンピック聖火リレー

東京2020オリンピック聖火リレーは、「Hope Lights Our Way／希望の道を、つなごう。」のコンセプトのもと、桜の季節の訪れとともに、令和3年3月25日に福島県を出発し、121日間を通じて日本全国47都道府県を巡りました。

東京都のオリンピック聖火リレーは、7月9日から7月23日まで15日間の日程で実施されました。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うまん延防止等重点措置（～7月11日）及び緊急事態宣言（7月12日～）により、公道走行は中止（大島町以外の島しょ地域を除く）となりましたが、各セレブレーション会場で点火セレモニーが実施されました。

新宿区には、最終日の7月23日に聖火が到着しました。東京都庁の都民広場において、区内を走行予定だった31人の聖火ランナーがトーチキスをつなぎ、最終ランナーが聖火皿に点火しました（詳細は、第3章P.72参照）。

また、当日は、航空自衛隊のアクロバットチームであるブルーインパルスが聖火の到着を祝い、オリンピックスタジアム上空などでオリンピックシンボルを描きました。



都民広場における点火セレモニー

(2) 東京2020パラリンピック聖火リレー

東京2020パラリンピック聖火リレーは、「Share Your Light／あなたは、きっと、誰かの光だ。」のコンセプトのもと、令和3年8月12日から8月24日の日程で開催されました。

パラリンピック聖火は、イギリスのストーク・マンデビルと開催国内各地の複数箇所ですべて採火される炎から生み出されます。東京都においては、8月20日に都内62区市町村で採火された火の集火式が行われ、8月24日までの5日間で聖火リレーが実施されました。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の延長により公道走行は中止となりましたが、各セレブレーション会場での点火セレモニーや、各区市町村における聖火ビジットなどが行われました。

新宿区では、区役所本庁舎の平和の灯から採火を行いました。また、区内では、障害者福祉センターをはじめとする福祉施設4所で聖火ビジット（聖火の訪問・展示）を行いました。なお、新宿区を走行予定だった聖火ランナーは、東京都障害者総合スポーツセンターで行われた点火セレモニーにおいて、トーチキスを行いました。（詳細は、第3章P.73参照）。



区役所本庁舎前で行われた採火式



障害者福祉センターにおける聖火ビジット

～オリンピック・パラリンピックとは～

◆ オリンピック

オリンピック（近代オリンピック）は、1896年のアテネ大会から始まった世界的なスポーツの祭典です。スポーツを通して心身を向上させ、文化・国籍などさまざまな違いを乗り越え、友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって、平和でより良い世界の実現に貢献することを目的としています。

これまでに32回の夏季大会（うち3回が中止）、22回の冬季大会が行われています。日本では、1964年の東京大会（夏季）、1972年の札幌大会（冬季）、1998年の長野大会（冬季）に続き、今回の東京2020大会（夏季）が4回目の開催となりました。



オリンピックシンボルのモニュメント

◆ パラリンピック

パラリンピックは、障害者を対象とした、もうひとつ（Parallel）のオリンピックです。1960年のローマ大会に始まり、これまでに16回の夏季大会、11回の冬季大会が行われています。日本では、1964年の東京大会（夏季）、1998年の長野大会（冬季）に続き、今回の東京2020大会（夏季）が3回目の開催となりました。

～東京1964オリンピック・パラリンピック～

前回、東京にオリンピック・パラリンピックがやってきたのは1964年のことでした。大会の開催に合わせて、東京には首都高速道路や東海道新幹線が開通、都市機能が飛躍的に発展するとともに、日本は高度経済成長の足がかりをつかみ、世界に戦後の復興をアピールしました。

東京1964オリンピックは、93か国から5,152名の選手が参加し、日本人選手は、金メダル16個、銀メダル5個、銅メダル8個、計29個のメダルを獲得しました。なかでも“東洋の魔女”と呼ばれた女子バレーボールチームは、決勝で強豪ソビエト（現ロシア）と対戦し、ストレート勝ちで金メダルを獲得。国民を熱狂させました。

東京オリンピックの功績は都市の発展や経済成長のみならず、日本にスポーツを普及させた点にあると言われていています。日本サッカーリーグの誕生、スポーツクラブの一般化など、日本でスポーツが生活の一部となるきっかけとなりました。

一方、アジア初の開催となった東京1964パラリンピックは、21か国から378名の選手が参加し、日本人選手は、金メダル1個、銀メダル5個、銅メダル4個、計10個のメダルを獲得しました。

◆ 第18回オリンピック競技大会(東京)

昭和39年10月10日～10月24日

20競技163種目、93の国と地域から5,152名が参加※

◆ 東京1964パラリンピック(東京)

(正式名称 第13回国際ストーク・マンデビル競技大会)

昭和39年11月8日～11月12日

9競技144種目、21の国から378名が参加※

※日本オリンピック委員会HP、日本パラリンピック委員会HPをもとに作成

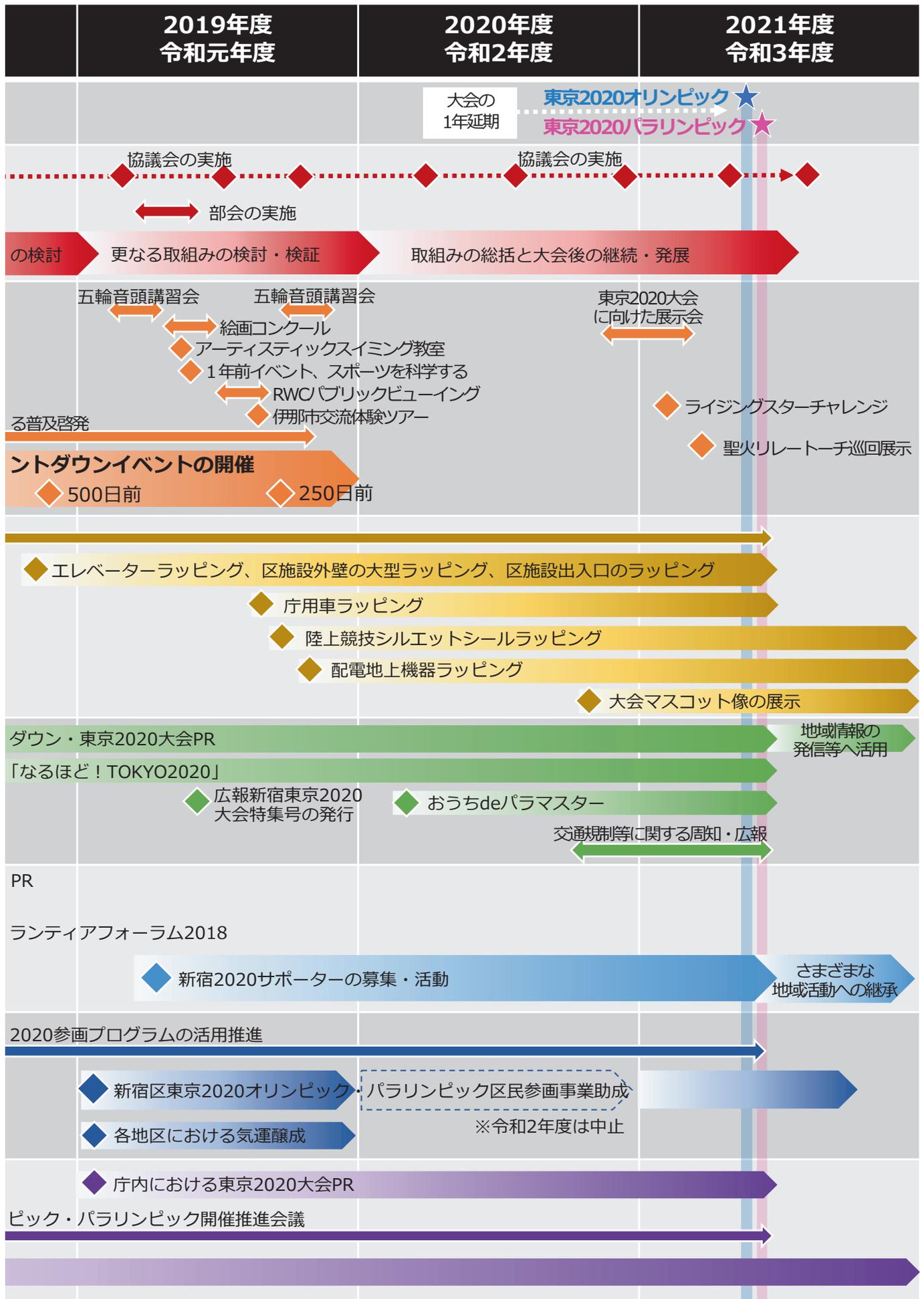
第2章

新宿区における 東京2020大会に向けた取組み

第2章 新宿区における東京2020大会に向けた取組み

◇ 新宿区における東京2020大会の開催に向けた取組み（年表）

～2016年度 ～平成28年度	2017年度 平成29年度	2018年度 平成30年度
<p>H25.9開催都市決定</p> <p>大会招致を求める署名活動</p>		
<p>東京2020大会の動き</p> <p>1 新宿区東京2020大会区民協議会 P.15</p>	<p>設置 ◆ 協議会の実施</p> <p>■ 部会の実施</p> <p>情報交換・課題抽出</p>	<p>◆ 協議会の実施</p> <p>⇔ 部会の実施</p> <p>論点整理・具体的取組み</p>
<p>2 気運醸成イベントの開催 P.16</p>	<p>◆ フラッグツアー</p> <p>◆ パラスポーツフェスタ</p> <p>◆ 全校フラッグメモリアルツアー</p> <p>◆ 映画「東京オリンピック」上映会</p>	<p>五輪音頭講習会</p> <p>⇔ 聖火トーチ展</p> <p>地域イベントにおけ</p> <p>◆ オリ1000日前 東京2020大会カウ</p> <p>◆ パラ1000日前 ◆ 777日前</p>
<p>3 シティドレッシング P.40</p>	<p>大会エンブレムポスター等の掲出</p>	
<p>4 広報・PR P.49</p>	<p>◆ デジタルサイネージによるカウント</p>	<p>◆ 広報新宿連載</p>
<p>5 ボランティア P.53</p>		<p>大会ボランティア</p> <p>⇔ ボ</p>
<p>H28.8 三井選手を応援する会</p> <p>6 地域における取組み P.55</p>	<p>東京</p>	
<p>新宿区スポーツ栄誉賞の制定</p> <p>7 全庁における取組み P.61</p>	<p>H26.10～</p> <p>◆ 庁内各部における取組み</p>	<p>東京オリ</p>



◇ 2020年大会の開催都市決定まで

平成24年10月、2020年大会の招致にあたり、東京都町会連合会は東京招致を求める署名活動を行いました。新宿区町会連合会は、全200町会（当時）から約3万4千人もの署名を集めました。東京都全体では82万人を超える署名が集まり、大会招致への原動力となりました。



東京2020オリンピック・パラリンピック東京招致都民決起集会（平成24年12月27日開催）にて挨拶を行う大崎秀夫新宿区町会連合会常任相談役（元東京都町会連合会会長・元新宿区町会連合会会長）。

<参考>開催都市決定までの流れ

年月日	内容
平成24年5月23日	IOC理事会が立候補都市として、東京・イスタンブール・マドリードを選定
10月	東京都町会連合会による東京招致を求める都町連100万人署名活動開始
12月27日	東京2020オリンピック・パラリンピック東京招致都民決起集会開催
3月4日～3月7日	IOC評価委員会の東京都現地視察
8月23日	2020年東京オリンピック・パラリンピック招致出陣式開催
9月8日	IOC総会にて開催都市が東京に決定

◇ 新宿区スポーツ栄誉賞

平成28年11月、スポーツ分野において顕著な功績を収め、区のスポーツ振興に寄与したアスリートを表彰する「新宿区スポーツ栄誉賞」を制定しました。国際大会等で活躍した、区にゆかりがあるアスリート4名に授与しています（令和3年12月現在）。

■ 三井 梨紗子 さん（平成28年11月19日受賞）

区立落合第一小学校卒業。小学校3年生の時からシンクロナイズドスイミング（現・アーティスティックスイミング）を始める。ロンドン2012オリンピックでは、チーム最年少の18歳で出場し5位入賞。

2度目のオリンピックとなるリオデジャネイロ2016オリンピックでは、デュエットとチームの2種目で銅メダルを獲得。



■ 古賀 淳也 さん（平成29年12月9日受賞）

早稲田大学卒業。新宿区在住。

2009年の世界水泳ローマ大会では、100m背泳ぎで優勝。

リオデジャネイロ2016オリンピックでは、4×100mフリーレーンに出場し8位入賞。

翌2017年の世界水泳ブダペスト大会では、50m背泳ぎで準優勝という好成績を収める。



■ ト部 蘭 さん（令和3年12月10日受賞）

区立早稲田小学校、西戸山中学校卒業。幼少期から中距離走の道を志す。

2019年の日本選手権では、女子800m、1500mの2冠を達成。

東京2020オリンピックでは、陸上女子1500mに出場し、同種目で日本人初のオリンピックとなる。予選敗退となったが、日本歴代3位となる好記録をマークした。



■ 高桑 早生 さん（令和3年12月21日受賞）

新宿区在住。3大会連続して夏季パラリンピックに出場。

ロンドン2012パラリンピックでは、T44クラスで100m、200mに出場し、それぞれ7位入賞。

リオデジャネイロ2016パラリンピックでは、T44クラスで3種目に出場し、走幅跳は5位、200mは7位、100mは8位とそれぞれ入賞。

東京2020パラリンピックでは、T64クラスで2種目に出場し、100mと走幅跳に出場。走幅跳では、8位入賞と好成績を収める。



1 新宿区東京2020大会区民協議会

区民や区内関係団体、区が東京2020大会に向けて一体となって取り組むため、平成29年5月に「新宿区東京2020大会区民協議会」を設置しました。

協議会では、関係者間における大会に関連する情報の共有及び連絡調整を行うとともに、協議会の下部組織として「東京2020大会普及啓発部会」及び「ボランティア部会」を設置し、大会の気運醸成に資する区民及び団体等の自主的な取組みの促進や区の事業推進の方向性等について、具体的な検討を行いました。

令和3年10月までに協議会を13回（うち2回は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書面開催）、部会を各7回開催しました。

協議会における検討結果の多くが、区の気運醸成事業に反映されています。特に、区主催の気運醸成イベントでは、協議会での意見や提案を踏まえて区民が主体となって参画できるプログラムづくりを進めたほか、各構成団体がイベント当日の出展や周知の協力を行うなど、区民、区内関係団体、区が力を結集させることにより、魅力のあるイベントづくりに繋がりました。

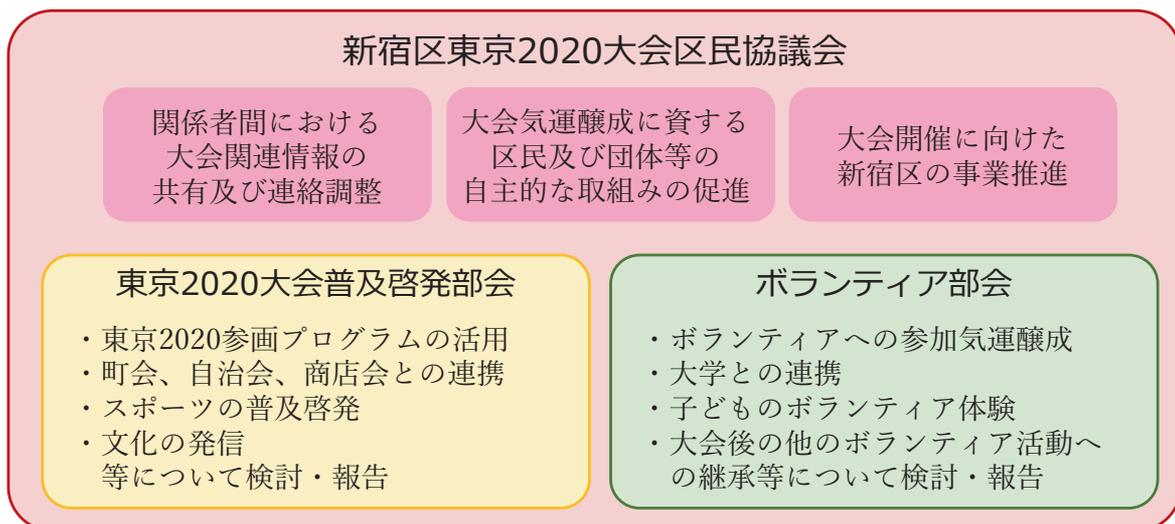


令和3年度第1回協議会の様子

【協議会の検討結果を反映して実施した事業】

- ・大会に向けた気運醸成イベント（P.16参照）
- ・地域センターまつり等の地域イベントにおける大会PR（P.55～60参照）
- ・大会ボランティアや都市ボランティアのPRイベント（P.53～54参照）
- ・新宿区スポーツ施設整備基金の創設 ほか

【体制及び所掌事項】



【構成員】 ※ 詳細は資料集P.94「新宿区東京2020大会区民協議会委員名簿」参照

- ・学識経験者 3名
- ・関係団体（町会、商工観光、スポーツ、福祉、教育等の分野）13名
- ・各種審議会等の委員（産業振興、文化芸術、多文化共生、スポーツの分野）4名
- ・区議会議員 2名
- ・新宿区 4名
- ・特別アドバイザー 1名〔計27名〕

2 気運醸成イベントの開催

平成29年度から、東京2020大会に向けた気運醸成を目的としたさまざまなイベントを展開しました。

スポーツ体験イベントでは、子どもたちに「スポーツの魅力」を伝えるべく、各競技の第一線で活躍したアスリートにご参加いただきました。そのほか、歴代のトーチの展示や東京五輪音頭-2020-の振付講習、絵画コンクール等、多彩なイベントにより大会気運の醸成を推進しました。

【東京2020大会の開催に向けた気運醸成実施イベント一覧表】

イベント名	開催日	参加者数	詳細
東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー	平成29年6月3日(土)・4日(日)	約300名	P.17
パラスポーツフェスタin新宿コズミックセンター	平成29年6月3日(土)・4日(日)	340名	P.18
全校フラッグメモリアルツアー	平成29年6月5日(月)～9日(金)	約12,000名	P.19
映画「東京オリンピック」上映会	平成29年8月3日(木)	約200名	P.20
東京2020オリンピックに向けた1000日前記念イベント 今日からみんなアスリート★子どもスポーツデーin新宿コズミックセンター	平成29年10月28日(土)	約800名	P.21
東京2020パラリンピックに向けた1000日前記念イベント パラスポーツチャレンジin新宿	平成29年11月19日(日)	312名	P.22
地域のイベントにおける東京2020大会普及啓発ブースの出展	平成29年12月～令和2年1月	4,763名	P.23
東京2020大会に向けた777日前記念イベント～新宿から世界へ～ ベストをめざして 夢・チャレンジ!	平成30年6月9日(土)	約2,700名	P.24
東京五輪音頭-2020-講習会	平成30年度(計5回)・令和元年度(計20回)	1,401名	P.26
古代オリンピアから日本へ 想いをつなぐトーチ展	平成30年8月29日(水)～9月9日(日)	2,244名	P.27
東京2020大会に向けた500日前記念イベント～新宿から世界へ～ キミがかがやく 夢・チャレンジ!	平成31年3月3日(日)	約2,000名	P.28
やってみよう!アーティスティックスイミング	令和元年7月15日(月・祝)	47名	P.30
「その応援から感動がはじまる!チャレンジ!2020」絵画コンクール	令和元年7月上旬～9月6日(金)(募集) 令和元年12月1日(日)(表彰式)	1,206名	P.31
東京2020オリンピック・パラリンピック開催まであと1年!記念イベントin新宿～アスリートのスゴさを体感!～	令和元年7月27日(土)・28日(日)	2,275名	P.32
スポーツを科学する	令和元年7月27日(土)・28日(日)	1,063名	P.33
ラグビーワールドカップ2019™ パブリックビューイング	令和元年9月20日(金)～11月2日(土)	4,060名	P.34
新宿区・伊那市のこどもたちによるオリンピック・パラリンピックに向けた!体験交流ツアー	令和元年11月3日(日)～4日(月・祝)	62名	P.35
東京2020大会に向けた250日前記念イベント～新宿から世界へ～ひろがる未来に 夢・チャレンジ!	令和元年12月1日(日)	約3,100名	P.36
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた展示会	令和3年3月20日(土・祝)～5月23日(日)	1,446名	P.38
READY STEADY TOKYO-陸上競技ライジングスターチャレンジ	令和3年5月8日(土)	42名	P.39
東京オリンピック・パラリンピック聖火リレートーチ巡回展示	令和3年7月3日(土)・4日(日)	約700名	P.39

東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー

日時	【フラッグ歓迎セレモニー】 平成29年6月3日(土)10時～10時30分 【フラッグ展示】 平成29年6月3日(土)13時～21時・4日(日)9時～17時
会場	新宿コズミックセンター2階 大体育室(大久保3-1-2)
参加者数	約300名(フラッグ歓迎セレモニー)

内 容

東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー（主催：東京都、東京2020組織委員会、JOC、JPC）は、リオデジャネイロ2016オリンピック・パラリンピックの閉会式で東京都に引き継がれたオリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグを多くの方に見ていただくための取組みとして、平成28年10月～平成31年3月の間に東京都内62区市町村及び日本全国を巡回しました。新宿区には、平成29年6月3日に到着し、フラッグ歓迎セレモニーとフラッグの展示を行いました。

【フラッグ歓迎セレモニー】

- ・フラッグツアーアンバサダーの釜本邦茂氏（メキシコシティ1968オリンピックサッカー銅メダリスト）より各フラッグの引継ぎ
- ・釜本氏によるトークショー及び小学生からの質問タイム

【フラッグ展示】

- ・各フラッグの展示
- ・東京2020大会PR映像の放映
- ・フラッグツアーの紹介パネルの掲出

※上記イベント終了後、平成29年6月5日～9日の間、各フラッグは、「全校フラッグメモリアルツアー」（P.19参照）として、新宿区内の小・中・特別支援学校を巡回しました（各校巡回後、新宿区役所本庁舎1階ロビーに展示）。



釜本氏(中央)から吉住区長(左)、酒井教育長(右)がフラッグを引き継ぎました。



区民の皆さんとともにフラッグを歓迎しました。

パラスポーツフェスタin新宿コズミックセンター

日 時	平成29年6月3日(土)11時～14時15分 6月4日(日)13時30分～15時30分
会 場	新宿コズミックセンター(大久保3-1-2)
参加者数	計340名(1日目：160名、2日目：180名)

内 容

パラスポーツ（障害者スポーツ）の体験を通じて、子どもたちにパラスポーツの楽しさや奥深さを知ってもらうことを目的として、3歳児～小・中学生を対象に開催しました。

- ・体験教室（車いすバスケットボール、ボッチャ、ブラインドサッカー、体操）
- ・パラリンピアンやパラアスリートによるトークショー
- ・写真家・清水一二氏撮影のパラスポーツ写真及びパラスポーツ競技紹介パネルの展示



車いすバスケットボール教室



ブラインドサッカー教室



ボッチャ教室



【運営協力】（順不同）

東京ガス(株)中央支店、(公財)新宿未来創造財団、新宿区スポーツ推進委員

全校フラッグメモリアルツアー

日 時	平成29年6月5日(月)～9日(金)
会 場	新宿区立小・中・特別支援学校 全40校
参加者数	約12,000名(区立学校全校児童・生徒)
内 容	

東京2020大会への子どもたちの期待感を高めるとともに、思い出として形に残るよう、区立学校をオリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグが巡回し、フラッグと児童・生徒との記念撮影を行いました。

撮影した写真で下敷きを作成し記念品として各校の児童・生徒に配布したほか、B1サイズのパネルに印刷して各校で掲出しました。



フラッグを実際に見て、一緒に記念撮影ができる貴重な機会になりました。



各校を巡回後、新宿区役所本庁舎1階で展示を行い、来庁者の方々にもご覧いただきました。

【各校の子どもたちに配布した記念品】

下敷きの表面は子どもたちとフラッグの記念撮影の写真、裏面は各校の校舎と校歌を載せています。

表面



裏面



映画「東京オリンピック」上映会

日 時	平成29年8月3日(木)12時30分～16時20分
会 場	四谷区民ホール(内藤町87)
参加者数	約200名
内 容	

1964年の東京オリンピックを振り返りつつ、東京2020大会に向けた自分たちの役割や、大会を成功させるためにできることを考えるきっかけとしてもらうことを目的として開催しました。近代オリンピックをテーマとした講演と映画上映の2部構成で行いました。

【第一部：講演「東京2020大会に向けて」】

前半は、早稲田大学スポーツ科学学術院教授（当時）であり、新宿区東京2020大会区民協議会座長の村岡功氏（写真左）を講師に迎え、講演「東京2020大会に向けて」を行いました。

村岡氏には、近代オリンピックの誕生から、現在抱えている諸問題、1964年の東京大会と2020年の東京大会の比較など、学術的な視点からオリンピックについて分析、解説を行っていただきました。

【第二部：映画「東京オリンピック」上映】

後半は、市川崑監督の映画「東京オリンピック」（1965年・2時間50分）を上映しました。

映画の中には、旧国立競技場やその周辺の様子、開会式で演奏する牛込仲之小学校の鼓隊の児童たちの姿など、東京1964オリンピックと新宿区とのつながりを感じさせるものも多くありました。



参加者は村岡氏の講演により、オリンピックに対する理解を深めた上で、後半の映画上映に臨むことができました。



区立幼稚園・小・中・特別支援学校の教職員の選択研修の一つとしても位置付けて実施したことから、多くの先生方が参加されました。

東京2020オリンピックに向けた1000日前記念イベント 今日からみんなアスリート★子どもスポーツデーin新宿コズミックセンター

日 時	平成29年10月28日(土)11時30分～15時40分
会 場	新宿コズミックセンター(大久保3-1-2)
参加者数	約800名
内 容	

東京2020オリンピックの開催1000日前を記念して、子どもたちが様々なスポーツを体験できるイベントとして開催しました。

- ・体験教室（サッカー、走り方、シンクロ、チアリーディング）
- ・スポーツライミングコーナー
- ・トリックアート撮影

（スポーツをテーマとしたトリックアートフォトコーナーを設置。撮影した写真は記念品としてプレゼントしました。）



三井梨紗子氏のシンクロ教室では、教室でシンクロの動きを体験しました。



トリックアートフォトコーナー。北澤豪氏にも力強いポーズで参加していただきました。



早稲田大学FALCONSによるチア教室



大会に向けて期待感が高まる一日となりました。

【出演団体】

NPO法人日本コカリナ協会

【運営協力】（順不同）

新宿区教育委員会、早稲田大学チアリーダーズFALCONS、宝塚大学、新宿区空手道連盟

東京2020パラリンピックに向けた1000日前記念イベント パラスポーツチャレンジin新宿

日 時	平成29年11月19日(日)11時～15時
会 場	新宿コズミックセンター(大久保3-1-2)
参加者数	312名
内 容	

東京2020パラリンピックの開催1000日前を記念して、区民の方が、さまざまなパラスポーツにチャレンジできるイベント（主催：新宿区及び（公財）新宿未来創造財団）として開催しました。アスリートが講師となりパラスポーツの魅力を教えてくれたほか、お笑い芸人のみなさんが教室を盛り上げました。

- ・パラスポーツ体験（車いすバスケットボール、ウィルチェアーラグビー、陸上競技用義足体験、ボッチャ）、コーディネーショントレーニング、車いすレーサー試乗



ボッチャ体験。ボッチャの奥深さ・面白さに参加者は夢中になって楽しんでいました。



車いすバスケットボール体験。参加者たちは汗を流して楽しんでいました。

地域のイベントにおける 東京2020大会普及啓発ブースの出展

日 時	平成29年12月～令和2年1月 延べ37回
会 場	各地域センターほか区内各所
参加者数	4,763名 (平成29年度：330名、平成30年度：2,022名、令和元年度：2,411名)
内 容	

地域センターまつり、レガスまつり、ふれあいフェスタ、はたちのつどい、若者のつどい、ここ・からまつりなど、区内各地域で行われるイベントで、東京2020大会の普及啓発を行いました。

【平成29年度】

「トリックアートの写真撮影コーナー」を展開しました。楽しみながら大会への期待感を高めてもらえるよう、トリックアートは表彰台や聖火台、重量挙げをモチーフとして制作しました。なお、撮影した画像は、区内14か所に設置したデジタルサイネージ(P.50参照)での放映を通じて大会気運醸成に活用しました。



表彰台をモチーフにしたトリックアート

【平成30年度】

新たに床面と背景の2面構成のトリックアートを制作しました。モチーフはサッカーと走り高跳びで、漫画風の作品です。絵の上に立って写真を撮り、角度を変えて見ると、サッカーではオーバーヘッドキックをする姿に、走り高跳びでは背面跳びの瞬間に見えるため、参加者はとても盛り上がっていました。また、参加者には、その場で印刷した写真を記念品としてプレゼントしました。



漫画の世界に入り込んだような写真の撮影が楽しめました。

【令和元年度】

トリックアートに加え「オリジナルメダルづくり」を開始しました。参加者自身の名前と好きなオリンピック・パラリンピック競技の絵柄等を組み合わせてメダルのデザインをつくり、丸いコルクボードに印刷して世界に一つだけのメダルを制作しました。



オリジナルメダルづくりは毎回長蛇の列ができる人気のプログラムでした。

参加者は、オリジナルメダルを首にかけて、東京2020マスコットのデザインが入った表彰台パネルの前に立って記念撮影を楽しみました。



毎年10月の四谷大好きまつりではポッチャ体験などを通じて大会PRを行いました。
(協力:東京ガス(株)、新宿区スポーツ推進委員)

【コンテンツ制作・運営協力】

宝塚大学(東京メディア芸術学部)

東京2020大会に向けた777日前記念イベント ～新宿から世界へ～ ベストをめざして 夢・チャレンジ!

日 時	平成30年6月9日(土)9時50分～16時30分
会 場	愛日小学校(北町26)、牛込筆筒区民ホール(筆筒町15)
参加者数	約2,700名
内 容	

東京2020大会に向けて開催した777日前、500日前、250日前の各イベントは、東京2020大会の大会ビジョンに掲げられた3つの基本コンセプトをもとにイベント内容を企画しました。

777日前記念イベントは「全員が自己ベスト」をテーマに、子どもから大人まで多彩な体験へのチャレンジを楽しめるイベントとなりました。



体験教室

エスコートキッズ体験



イベントオープニングでは、アスリートたちを子どもたちが笑顔でエスコートしました。

運動会で役に立つ走り方教室



子どもたちは、オリンピックである塚原直貴氏(4×100mリレー銀メダリスト)から速く走るための練習方法のアドバイスをいただきました。

プレスキッズ体験



子どもたちが新聞記者になりきってアスリートに取材。新聞も作成しました。

つよいカラダをつくる食育プログラム



オリンピックの実際の食事を通じて、成長に必要なバランスの良い食事について学びました。

体験コーナー

来場者は、パラスポーツ体験（ボッチャ・車いすカーリング）のほか、バスボム作りや似顔絵カード作りなど多彩な体験を思い思いに楽しんでいました。

サイバーボッチャ体験



ボッチャのルールはそのままに、映像によるゲーム演出が楽しめました。

バスボム（固形入浴剤）作り



新宿養護学校の児童・生徒がイベントの参加者と一緒に制作しました。

講演会・コンサート

オリンピックである中村真衣氏（競泳銀メダリスト）、パラリンピアンである斉藤あや子氏（アーチェリー・車いすカーリング）による講演会や小・中学生によるコンサートをを行いました。

夢・未来講演会



斉藤あや子氏は「パラスポーツの挑戦」について講演しました。

夢・未来コンサート



演奏前に児童・生徒たちが東京2020大会に向けた抱負を語るなど、熱い内容の演奏となりました。

【出演団体】（順不同）

江戸川小、鶴巻小、四谷小、四谷中、新宿西戸山中

【出展団体】（順不同）

新宿養護学校、「目の見えない、見えにくい方と楽しむ折り紙研究会おりっこ」、(株)アシックス、ENEOS(株)、富士通(株)、(株)明治、総合警備保障(株)、大日本印刷(株)、(株)朝日新聞社

【運営協力】（順不同）

新宿区教育委員会、愛日小、あいじつ子ども園、(一社)日本車いすカーリング協会、(一社)日本ボッチャ協会、早稲田大学チアリーダーズFALCONS、(福)新宿区社会福祉協議会、日本生命保険相互会社、日本郵便(株)

東京五輪音頭-2020-講習会

日 時	平成30年度：平成30年6月22日(金)～7月11日(水)(計5回) 令和元年度前期：令和元年5月16日(木)～6月7日(金)(計10回) 令和元年度後期：令和2年1月20日(月)～2月16日(日)(計10回)
会 場	平成30年度：区立小学校5所(愛日・戸塚第二・四谷・柏木・落合第五) 令和元年度：地域センター10所
参加者数	計1,401名(平成30年度：324名、令和元年度前期：507名、令和元年度後期570名)

内 容

「東京五輪音頭-2020-」は、1964年に流行した「東京五輪音頭」を東京2020組織委員会が現代風にリメイクして制作したものであり、地域の盆踊りやお祭り、イベント等で広く歌い、踊ってもらおうと、平成29年7月に発表されました。

新宿区では「東京五輪音頭-2020-」の振付DVDやCDの貸出を行うとともに、振付を習得していただくための講習会を行いました。

【平成30年度】

区立小学校5所を会場として開催しました。講師は区職員が務め、サポートとして信濃町シニア活動館を拠点に活動している踊りのグループである「しなの会」にご協力いただきました。

【令和元年度】

地域センター10所を会場に、前期10回・後期10回の計20回開催しました。講師は新宿区主催の東京2020大会気運醸成イベントにも出演したNPO法人舞はんど舞らいふが務めました。



全ての会場に参加された方もいらっしゃるなど、リピーターが多い講習会でした。



参加者は、振付を講師に確認しながら楽しく踊っていました。



振付を楽しく習得していただくためにスタンプカードを導入。講習会に5回参加した方に記念品をプレゼントしました。

古代オリンピックから日本へ 想いをつなぐトーチ展

日 時	平成30年8月29日(水)～9月9日(日)各日10時30分～20時
会 場	伊勢丹新宿店(新宿3-14-1)
参加者数	2,244名
共 催	新宿クリエイターズ・フェスタ実行委員会
後 援	ギリシャ共和国オリンピック市、ギリシャ文化・スポーツ省スポーツ事務局

内 容

聖火が採火されるギリシャと聖火リレーの最終地点となるオリンピックスタジアム（国立競技場）がある新宿区とをつなぐ特別展として、新宿区及び駐日ギリシャ大使館、在日ギリシャ商工会議所の主催で、伊勢丹新宿店内の特設会場で実施しました。本展示会では、ギリシャ在住のストラトス・クリム氏所蔵のコレクションから、聖火リレーが始まった1936年のベルリン大会から2016年のリオデジャネイロ大会までの夏季オリンピック全19大会で実際に使用されたトーチ24本をはじめ、冬季オリンピックから6本、パラリンピックから6本を含む計36本の貴重なトーチを展示しました。

このほか、採火式の巫女の衣装や、採火式の様子を収めた映像なども展示しました。

オープニングセレモニー



聖火トーチ所有者 ストラトス・クリム氏(左端)、駐日ギリシャ共和国経済商務部 イリニ・カマー等書記官(左から3番目)、吉住区長(中央)、在日ギリシャ商工会議所 トニー・アンドリオティス会頭(右から3番目)らによるテープカットが行われました。

トーチなど所蔵品の展示



トーチは当時の最先端の技術で大会を象徴するデザインとして制作されたもの。いずれも歴史的価値の高いものです。

報道写真展



歴代の聖火リレーを振り返る写真展。来場者からは当時に懐かしむ声もありました。

【運営協力】(順不同)

ストラトス・クリム氏(聖火トーチ所有者)、日本ギリシャ協会、新宿区スポーツ推進委員

【同時開催】朝日新聞報道写真展

東京2020大会に向けた500日前記念イベント ～新宿から世界へ～ キミがかがやく 夢・チャレンジ!

日 時	平成31年3月3日(日)10時～16時30分
会 場	西新宿小学校、旧淀橋第二中学校、西新宿子ども園(西新宿4-35-5)
参加者数	約2,000名
内 容	

東京2020大会の開催まで500日前を記念して開催した本イベントは「多様性と調和」をテーマに、文化体験やスポーツ体験などの多彩な体験を通じて、さまざまな人々が集い、交流し、互いに楽しむ場をコンセプトとして実施しました。



当日は、あいにくの雨となったため、一部のスポーツ体験を屋外から屋内に変更するなど臨機応変な対応を行いました。

体験コーナー、交流コーナー

乳幼児から高齢者、外国人まで多くの来場者が、スポーツ体験をはじめとした多彩な体験を思い思いに楽しんでいました。

おひるねアート体験



サッカーなどをテーマにした絵柄を用意。多くの親子連れが写真を撮って楽しみました。

異文化体験



世界の民族衣装を着てみたり、世界各地のゲームで遊ぶ体験ができました。

染色体験（コースター作り）



美しいコースターができあがりました。

新宿の伝統産業である染色の体験。染物職人が綺麗に作るコツをアドバイスしてくれました。

障害者制作作品の展示・販売



作品の展示・販売などを通じて、来場者との交流を楽しみました。

体験教室

野球の投げ方教室、ソフトバレーボール教室、サッカー教室、走り方教室、体幹教室、体操教室など、子どもたちがアスリートの技に間近に触れる貴重な経験となりました。

野球の投げ方教室



東京ヤクルトスワローズの元プロ野球選手たちから楽しく丁寧に野球ボールの投げ方を学びました。

ソフトバレーボール教室



オリンピックである山本隆弘氏(バレーボール)が楽しくできるバレーボールのコツを丁寧にアドバイスしてくださいました。

ステージショー・講演会・コンサート

手話ダンスショーやチアダンスショーなどの迫力あるステージイベントや、オリンピックである星奈津美氏(競泳銅メダリスト)による講演会、小・中学生によるコンサート等を行いました。

手話ダンスショー



聴覚障害のある方も見て、踊って、楽しめるダンスショーに、会場は盛り上がりました。

夢・未来コンサート



西新宿中学校E組(特別支援学級)の生徒たちが活気のある和太鼓パフォーマンスを披露しました。

【出演団体】(順不同)

淀橋第四小、四谷第六小、西戸山小、西新宿中、落合中、NPO法人舞はんど舞らいふ、西戸山トワラーズ

【出展団体】(順不同)

日本コカ・コーラ(株)、アサヒビール(株)、ENEOS(株)、富士通(株)、(株)明治、KNT-CTホールディングス(株)、総合警備保障(株)、東京ガス(株)、東武トップツアーズ(株)、(株)朝日新聞社、丸大食品(株)、(一社)新宿区サッカー協会、新宿区グラウンド・ゴルフ協会、新宿区スポーツチャンバラ協会、新宿区民踊連盟、十二社商店親睦会、新宿区小学校PTA連合会、(福)新宿区社会福祉協議会、新宿区障害者福祉協会、(福)南風会、シャロームみなみ風、NPO法人ひまわりProjectTeam、(一社)伊那市観光協会、愛媛県松山市

【運営協力】(順不同)

新宿区教育委員会、西新宿小学校、西新宿子ども園、東日本旅客鉄道(株)、(公財)日本陸上競技連盟、東京ヤクルトスワローズ、早稲田大学チアリーダーズFALCONS、宝塚大学、桜美林大学、日本おひるねアート協会、新宿区体育協会、千和多染工、新宿区東京2020区民協議会

やってみよう！アーティスティックスイミング

日 時	令和元年7月15日(月・祝)10時～12時
会 場	新宿スポーツセンター(大久保3-5-1)
参加者数	47名

内 容

講師は、新宿区出身であり、リオデジャネイロ2016オリンピックでアーティスティックスイミングのデュエットとチームの2種目で銅メダルを獲得した三井梨紗子氏と、世界トップレベルのラスベガスの水中ショーで唯一の日本人パフォーマーとして活躍している宮崎夏実氏が務めました。

- ・アーティスティックスイミングのトレーニング
- ・アーティスティックスイミング体験
- ・三井氏と宮崎氏のパフォーマンス見学



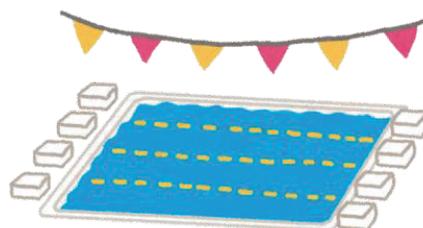
まずは、体育室でアーティスティックスイミングのトレーニングからスタート。



次は、プールに移動し、水中での演技を体験。子どもたちは演技の難しさを実感していました。



三井氏(右)と宮崎氏(左)のパフォーマンス見学。参加者は、2人の息の合った迫力の演技に圧倒されました。



「その応援から感動がはじまる！チャレンジ！2020」 絵画コンクール

日 時	募集期間：令和元年7月上旬～9月6日(金) 表彰式：令和元年12月1日(日)
会 場	表彰式：落合第二中学校(西落合1-6-5)
参加者数	1,206名

内 容

2020年に応援したいことやチャレンジしたいことをテーマに、子どもたちの視点で2020年への大きな夢を描く絵画コンクールを実施しました。区内在住の小・中学校、特別支援学校の児童・生徒を対象に募集し、1,206点の応募がありました。入賞18作品については、受賞者への表彰式を行ったほか、作品展示も行いました。

また、応募作品を活用して日めくりカレンダーを制作したほか、配電地上機器への装飾(P.46参照)を行いました。

絵画コンクール表彰式 (250日前記念イベント内で実施)



入賞者は緊張しながらも晴れ晴れとした表情で吉住区長から賞状を受け取りました。

作品展示



【250日前記念イベント】



【本庁舎1階】
令和2年1月31日(金)～2月14日(金)

日めくりカレンダー

絵画コンクールの応募作品をすべて掲載した日めくりカレンダーを作成し、区立学校全40校の児童・生徒及び絵画コンクール応募者に配布しました。



東京 2020 オリンピックまであと5日

学ぼう! オリンピック競技
水泳
Aquatics
(競泳/リレー)
メドレーリレーは、
個人メドレーの順番とは違って、
背泳ぎ→平泳ぎ→
バタフライ→自由形の順で泳ぐよ。

大会開催までの日数や、大会に関する豆知識も掲載しました。



保護者・学校関係者からの感想

- ・「自分の息子の作品が掲載されていて驚きました。記念になります。」(保護者)
- ・「賞に選ばれた児童は大変喜び、これを機に意欲的に活動しています。」(小学校副校長)
- ・「子どもたちの温かい作品が掲載されていて、毎日めくるのを楽しみにしています。」(中学校校長)

【共催】新宿区教育委員会、新宿区立小学校PTA連合会、新宿区立中学校PTA協議会

東京2020オリンピック・パラリンピック開催まであと1年！ 記念イベントin新宿～アスリートのスゴさを体感！～

日 時	令和元年7月27日(土)10時～20時・28日(日)10時～16時
会 場	新宿コズミックセンター(大久保3-1-2)
後 援	一般社団法人新宿区体育協会
参加者数	2,275名

内 容

各種スポーツの体験だけでなく、アスリートによる競技のデモンストレーションを通じて、アスリートの「スゴさ」が間近で実感できました（主催：新宿区及び（公財）新宿未来創造財団）。

- ・体験教室とデモンストレーション（空手道、バスケットボール、投げ方、走り方）
- ・東京2020大会パートナー企業による展示や体験ブース（VR体験）ほか



空手道教室では親子で実践的な護身術も教わりました。



リオオリンピックで8位入賞に貢献した吉田亜沙美氏からも熱のこもった指導をいただきました。



アスリートのパフォーマンスを間近で見た子どもたちは大興奮！



アスリートの皆さんとの貴重な時間は子どもたちにとってもかけがえのないものになりました。

【運営協力】（順不同）

新宿区空手道連盟、新宿区中学校体育連盟(野球・バスケットボール・陸上競技)、新宿区少年軟式野球連盟、東京ヤクルトスワローズ、アルバルク東京、ALSOK空手道部、城西大学陸上競技部、ENEOS(株)、富士通(株)、(株)朝日新聞社、総合警備保障(株)

【参加アスリート等】（順不同）

空手道 三苦雄太氏、守屋武蔵氏、中澤弘輝氏
 バスケットボール 吉田亜沙美JBAアンバサダー(元日本代表)、アルバルク東京アカデミーコーチ
 投げ方(野球) 河端龍氏、徳山武陽氏
 走り方 塚原直貴氏(4×100mリレー銀メダリスト)、城西大学陸上競技部

スポーツを科学する

日 時	令和元年7月27日(土)10時～18時・28日(日)10時～16時
会 場	新宿コズミックセンター(大久保3-1-2)
参加者数	1,063名
内 容	

スポーツの起源や歴史を学びながら、各種スポーツが持つ科学的な要素である原理原則を解き明かし、人間の能力や機能との関わりを探りつつスポーツと健康を身近なものとして捉える参加体験型展示を行いました。

【展示】

- ・スポーツの起源とルールの変遷
- ・数字で見る記録/人間の能力はすごい！ ほか

【体験】

- ・「エアーカーリング」“ハウスの中心を狙おう”
- ・「ボルダリング」“フリークライミングに挑戦”
- ・「バスケットボール」“シュートを決めよう”
- ・「ボールスピード」“ボールの速さを計ろう！” ほか



走り幅跳びやハンマー投げなど各種目の世界記録が等身大パネルで実感できました。



バスケットボールのシュートで制限時間内に何点取れるかに挑戦しました。



フリークライミングは、手を置く場所や足をかける場所をよく考えながら登ります。

【運営協力】

(公財)日本科学技術振興財団・科学技術館

ラグビーワールドカップ2019™パブリックビューイング

期 間	令和元年9月20日(金)～11月2日(土)計14日間
会 場	歌舞伎町シネシティ広場(歌舞伎町1-19) 伊勢丹新宿店 本館屋上(新宿3-14-1)
参加者数	計4,060名
内 容	

東京2020大会開催の前年となる2019年、ラグビーの世界王者決定戦であるワールドカップが、アジア初開催として日本にやってきました。

区では、区民や来街者がともにスポーツを楽しむ機会を提供するとともに、観戦を目的に来日した外国人観光客に向け、安心して楽しめるまち新宿を広くPRすることを目的にパブリックビューイングを行いました。

パブリックビューイングは、延べ14日間実施。なかでも9月28日の日本対アイルランド戦は大変な盛り上がりでした。試合開始前に行ったルール解説映像の放映や対戦国の紹介等のステージプログラム中に満員となり、客席にはアイルランドのファンの姿も。試合が始まると大きな声援が送られました。対戦相手のアイルランドは当時世界ランキング2位の格上で、優勝候補の一角でしたが、そのアイルランドに日本は劇的な勝利を取めました。ノーサイドのあとは両国のファンが讃え合う姿もみられるなど、目立った混乱もなく、応援の熱気冷めやまぬままに終了しました。



新宿2020サポーターの皆さんも体験ブースなどで活躍していました。



9月28日の日本対アイルランド戦。勝利を取めた瞬間、その日一番の大歓声に包まれました。



伊勢丹新宿店本館屋上の会場も盛り上がりました。

【会場別日程】

歌舞伎町シネシティ広場	9/28(土)、29(日)
伊勢丹新宿店 本館屋上	9/20(金)～26(木)、 10/5(土)、13(日)、19(土)、20(日)、11/2(土)

新宿区・伊那市の子どもたちによる オリンピック・パラリンピックに向けた！体験交流ツアー

期 間	令和元年11月3日(日)～4日(月・祝)
会 場	長野県伊那市
参加者数	62名(新宿区の小学生(4～6年生)：36名、伊那市の小学生：26名)
内 容	

新宿区と友好提携を結んでいる長野県伊那市に新宿区の小学生が訪問し、一泊二日のパラスポーツ体験等を通じた交流を行いました。新宿区の子どもたちは、ボッチャ体験で伊那市の子どもたちにどこにボールを投げたら良いか説明するなど楽しみながら交流しました。

- ・ボッチャ体験
- ・東京五輪音頭-2020-
- ・草木染め体験 ほか



草木染めしたオリジナルの模様のハンカチ

ボッチャ体験



新宿区の子どもたち(黄ビブス)と伊那市の子どもたちが一緒になってボッチャを楽しみました。

記念撮影



ボッチャ体験や東京五輪音頭-2020-で汗を流した後、記念撮影をしました。

草木染め体験



模様が出るように輪ゴムで布を結び、草木を煮出した染料に布を浸して、オリジナルの模様のハンカチを作りました。

※東京2020大会開催期間中に伊那市の子どもたちが新宿区を訪問し、交流事業を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため中止としました。

東京2020大会に向けた250日前記念イベント ～新宿から世界へ～ ひろがる未来に 夢・チャレンジ!

日 時	令和元年12月1日(日)10時～15時
会 場	落合第二中学校(西落合1-6-5)、落合第三小学校(西落合1-12-20)
参加者数	約3,100名
内 容	

250日前記念イベントは「未来への継承」をテーマに、多くの団体の参画のもと、子どもから高齢者、障害者、外国人の方など、誰もが楽しめるコンテンツを充実して展開しました。これまでのカウントダウンイベントの集大成として、スポーツ体験、文化体験、来場者みんなで踊る東京五輪音頭-2020-、講演会、コンサートなど、盛りだくさんの内容で実施しました。



体験教室

シッティングバレー教室、柔道教室、サッカー教室、走り方教室、体操教室など、子どもたちがオリンピック・パラリンピアンの方の技に間近に触れる貴重な経験となりました。

シッティングバレー教室



真野嘉久氏(元日本代表監督)らが、座ってプレーするコツを分かりやすくアドバイスしました。

柔道教室



オリンピックである谷本歩実氏(63kg級金メダリスト)による直接の指導に子どもたちは大興奮でした。

体験コーナー

子どもから大人まで多くの来場者が、スポーツ体験やパラ陸上・義肢体験などの多彩な体験を、思い思いに楽しんでいました。

パラ陸上・義肢体験



義足での歩行は難しくもあり、フワフワした感覚を体験しました。

ダイバーシティ ウォールパズルアート体験



来場者みんなで色を塗ったり、メッセージを書いたりして一つの大きな作品を作りました。

コンサート・みんなで踊る東京五輪音頭-2020-

中学生によるコンサートやダンス、「みんなで踊る東京五輪音頭-2020-」に、多くの子どもたちが参加しました。

コンサート



落合中学校や落合第二中学校の演奏が、会場を賑やかに盛り上げました。

東京五輪音頭-2020-



子どもから大人まで、東京五輪音頭-2020-を笑顔で踊り、会場が活気に溢れていました。

ボランティア

新宿2020サポーター21名が当日のイベント運営を担ったほか、落合中学校、落合第二中学校の生徒や目白大学の学生にもボランティアとしてイベントを支えていただきました。

イベント前日(チラシ配布)



落合第二中学校の生徒が溢れる笑顔でイベント周知を行いました。

イベント当日(受付)



受付や、ステージ運営で活躍していました。

新宿2020サポーターPRコーナー



活動紹介や登録受付を行いました。

【出演団体】(順不同)

落合中、落合第二中、NPO法人舞はんど舞らいふ

【出展団体】(順不同)

日本コカ・コーラ(株)、トヨタ自動車(株)、ENEOS(株)、富士通(株)、(株)明治、総合警備保障(株)、東京ガス(株)、(株)朝日新聞社、丸大食品(株)、(福)新宿区社会福祉協議会、(福)新宿区障害者福祉協会、新宿区立小学校PTA連合会、愛媛県松山市、(一社)伊那市観光協会、NPO法人ひまわりProjectTeam、(福)南風会シャロームみなみ風、東京デザインテクノロジー専門学校

【運営協力】(順不同)

新宿区教育委員会、落合第三小、(公財)新宿未来創造財団、(一社)新宿区体育協会、(公財)日本陸上競技連盟、NHK(日本放送協会)、早稲田大学チアリーダーズFALCONS、宝塚大学、目白大学、(公財)鉄道弘済会、(一社)日本パラバレーボール協会、新宿区スポーツチャンバラ協会、千和多染工、新宿区東京2020区民協議会

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた展示会

期 間	令和3年3月20日(土・祝)～5月23日(日) (4月25日～5月23日は新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言に伴い休館)
会 場	新宿歴史博物館(四谷三栄町12-16)
参加者数	1,446名
内 容	

1年延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への気運を高めるため、令和元年度に実施した区内小・中学生を対象とする絵画コンクール受賞作品のパネル展示を中心に、大会に向けた区の実情や、東京2020大会の競技紹介パネルなどを展示しました。

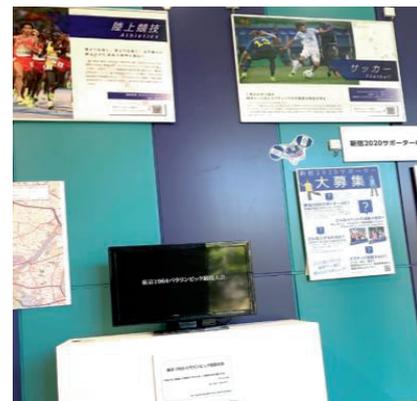
※新宿歴史博物館所蔵資料展「1964 オリンピックと新宿」との同時開催。

【展示内容】

- ・「その応援から感動が始まる！チャレンジ！2020絵画コンクール受賞作品」パネル
- ・「新宿2020サポーター紹介」パネル
- ・「東京2020大会区内開催競技紹介」パネル
- ・「気運醸成の取組み」動画放映



絵画コンクール受賞作品のパネル展示



気運醸成の取組みを動画で紹介

新宿歴史博物館所蔵資料展「1964オリンピックと新宿」



1964年東京オリンピック前後の関連資料や写真など80点余りを展示しました。

READY STEADY TOKYO – 陸上競技 ライジングスターチャレンジ

日 時	令和3年5月8日(土)8時30分～10時30分
会 場	国立競技場(霞ヶ丘町10-1)
参加者数	42名

内 容

東京2020大会に向けたテストイベントに伴う子ども向けの体験会を開催しました（主催：新宿区、渋谷区）。参加した子どもたちは、東京2020大会で実際に選手たちが走るトラックを使い、北京2008オリンピック陸上競技4×100mリレー銀メダリストの塚原直貴氏と一緒に50m走などを行いました。

※参加者の事前の健康観察や、同伴者の制限（保護者1名まで）など、徹底した感染予防対策のもと開催しました。



子どもたちは思いきりトラックを駆け抜けて楽しんでいました。



東京2020大会に向けて準備が進む国立競技場での貴重な体験をみんなで共有しました。

東京オリンピック・パラリンピック聖火リレートーチ巡回展示

日 時	令和3年7月3日(土)・4日(日)各日9時～17時
会 場	新宿スポーツセンター(大久保3-5-1)
参加者数	約700名

内 容

令和2年11月2日から令和3年7月9日の期間、東京都による東京2020大会聖火リレートーチの巡回展示が都内全62区市町村で行われました。

新宿区では、新宿スポーツセンターで展示を行い、多くの方にご覧いただきました。



聖火リレートーチの前で家族で記念撮影



オリンピック聖火リレートーチ(左)
パラリンピック聖火リレートーチ(右)

3 シティドレッシング（区内装飾）

東京2020エンブレム（平成28年4月25日発表）や東京2020マスコット（平成30年2月28日発表）、東京2020スポーツピクトグラム（オリンピックは平成31年3月12日発表・パラリンピックは平成31年4月13日発表）などのポスターやのぼり等を活用し、区役所本庁舎をはじめとした区施設を彩りました。

平成28年度からは、未就学児が東京2020大会に親しみが持てるよう、エンブレムや読みがなを入れた区独自の普及啓発ポスターを作成し、区内保育園・子ども園・幼稚園で掲出しました（令和2年度まで）。

また、株式会社ロッテ旧新宿工場跡地（百人町二丁目、戸山小学校裏門前）では、パラスポーツイラスト「Be The HERO」の展示（平成29年3月29日～7月末）を行うなど、区独自の取組みを行いました。



新宿区役所本庁舎内での東京2020大会PRポスターの掲出



株式会社ロッテ旧新宿工場の建屋解体の際の仮囲いに展示したパラスポーツイラスト「Be The HERO」



区内保育園・こども園・幼稚園に掲出した読みがな入りの普及啓発ポスター

そして、平成30年度からは、区施設等への本格的な装飾により東京2020大会の開催気運を盛り上げ、区民や来街者等へ広くPRする取組み「新宿シティドレッシング」をスタートしました。

【東京2020大会の気運醸成及び大会PRのための装飾「新宿シティドレッシング」】

装飾名	実施期間	詳細
エレベーターラッピング	平成31年2月～令和3年12月	P.41
区施設外壁の大型ラッピング	平成31年2月～令和3年12月	P.42
区施設出入口の東京2020エンブレム・マスコットラッピング	平成31年2月～令和3年12月	P.43
庁用車ラッピング	令和元年11月～令和3年9月	P.44
陸上競技シルエットシールラッピング	令和元年12月～	P.45
「その応援から感動がはじまる！チャレンジ！2020」絵画コンクール配電地上機器へのラッピング	令和2年1月～(令和6年度まで掲出予定)	P.46
大会マスコット像の展示	令和3年2月～	P.47

エレベーターラッピング

日 時	平成31年2月～令和3年12月
場 所	区施設13施設 (新宿区役所本庁舎、新宿区役所第一分庁舎、特別出張所(10所)、産業会館)
内 容	

東京2020大会関連の装飾を通じて区民や来街者等へ広くPRし、大会の開催気運を盛り上げる取組み「新宿シティドレッシング」の第1弾として、区施設(13施設)のエレベーター扉を東京2020オリンピック・パラリンピック競技のイラストでラッピング(装飾)しました。

エレベーター扉のデザイン制作は、東京2020大会の気運醸成に関する連携協定を締結した宝塚大学(東京メディア芸術学部・大学院メディア芸術研究科)の学生が行いました。

デザインは、「競技シルエットデザイン」と「漫画風デザイン」の2種類を制作。「競技シルエットデザイン」は、選手の一連の動作を3扉(3カット)で表現したり、3扉で一枚の競技風景とするなど、競技の躍動感がダイナミックに表現されたデザイン。また、「漫画風デザイン」は、日本ならではの漫画の技法を活用して、競技の迫力や魅力を分かりやすく表現した親しみやすいデザインでした。



デザインを担当した宝塚大学(東京メディア芸術学部・大学院メディア芸術研究科)の学生の制作風景です。



新宿区役所本庁舎2階「陸上競技(パラリンピック)」
デザイン：各競技のシルエット



新宿区役所第一分庁舎1階「サッカー及び5人制サッカー」 デザイン：漫画風

※デザインの一覧は、資料集(P.108～110)参照。

区施設外壁の大型ラッピング

日 時

平成31年2月～令和3年12月

場 所

区施設6施設(新宿区役所本庁舎、新宿区役所第一分庁舎、四谷区民センター、新宿コスミックセンター、新宿スポーツセンター、新宿文化センター)

内 容

「新宿シティドレッシング」の第2弾として、区施設(6施設)に、東京2020エンブレムや東京2020マスコット等を活用した大規模な壁面ラッピングを実施しました。

新宿区役所第一分庁舎では、オリンピックカラーを模した5色の光でのライトアップも実施しました(令和2年4月から新型コロナウイルス感染症と向き合いながら奮闘する医療従事者への感謝の気持ちを表すべく、青色の光でのライトアップを行いました)。

なお、ラッピングに共通して用いている「みんなの歓声 みんなが輝く」は、東京2020大会に向けた新宿区独自のスローガンです。区内の中学生が考えたフレーズを集約して制作したもので、生徒たちの「みんな選手たちにあたたかい声援をおくりたい」「東京2020大会はみんなが主役になる」という思いが込められています。



第一分庁舎では、5色の光が壁面を照らしました。

新宿区役所本庁舎 (1階正面玄関)

鮮やかな競技シルエットが来庁者を出迎えました。

その隣には、大会デザイン自販機を令和3年12月まで設置。売上の一部は、未来のアスリート育成・強化などに活用されます。



新宿コスミックセンター



遠くからでも多くの人々から見える明治通りに面した壁面に掲出しました。

新宿スポーツセンター



都立戸山公園を行き交う人々から見える位置に掲出しました。

【デザイン協力】宝塚大学(東京メディア芸術学部)

区施設出入口の東京2020エンブレム・マスコットラッピング

日時 平成31年2月～令和3年12月

場所 区施設164施設

内容

「新宿シティドレッシング」の第3弾として、区施設（164施設）の出入口に、表側には東京2020マスコットの「ミライトワ」「ソメイティ」、裏側には東京2020エンブレムの装飾を実施しました。



外扉デザイン(東新宿保健センター)



内扉デザイン(新宿区役所本庁舎)



外扉デザイン(障害者生活支援センター)

庁用車ラッピング

日 時 令和元年11月～令和3年9月

対 象 庁用車74台

内 容

区が業務で使用する庁用車に、大会PRのためのラッピングを行いました。庁用車のうち清掃車両（18台）は、大きいサイズの競技シルエットで装飾。これは、本庁舎や第一分庁舎の外壁に設置した大型ラッピングのデザインを用いて制作したものです。



清掃車両のラッピング

また、清掃車両以外の庁用車（56台）には、東京2020マスコットのミライトワ・ソメイティをデザインした小さいサイズのマグネットシートを制作し、各車体の両側に装飾しました。



清掃車両以外の庁用車のラッピング

陸上競技シルエットシールラッピング

日 時 令和元年12月～

場 所 区施設44施設(区立学校(40校)、四谷区民センター、四谷保健センター、四谷ひろば、角筈特別出張所)

内 容

区内にある国立競技場での実施競技である「陸上競技」。陸上競技のアスリートのスピードや跳躍力がどれほどすごいかを実感できる原寸大シルエットシールを、区立学校及び区施設に設置しました。

シルエットシールのデザインは、エレベーターラッピングなどのデザインに続き、宝塚大学（東京メディア芸術学部・大学院メディア芸術研究科）の学生が制作したものです。

各学校に設置したシルエットシールは、東京2020大会のレガシーとして、大会終了後もオリパラ教育で活用していきます。



戸塚第二小では、走り高跳びの世界記録を自分の身長と比べる児童の姿も。



戸塚第三小では、選手のシルエットを通じてハードルの跳び方を学びました。



オリンピック陸上の走り幅跳び(西新宿小)。世界記録8.95mの凄まじさが実感できます。



パラリンピック陸上の走り高跳び(東戸山小)。最高点に到達した選手の動きを表しています。

「その応援から感動がはじまる！チャレンジ！2020」 絵画コンクール 配電地上機器へのラッピング

期 間 令和2年1月～(令和6年度まで掲出予定)

場 所 区内主要駅周辺やパラリンピックマラソンコース沿道などの歩道上
(配電地上機器320基)

内 容

歩道上に設置されている「配電地上機器」のうち、主要駅周辺や東京2020パラリンピックのマラソンコース沿道の320基に、子どもたちの絵をラッピングしました。

ラッピングした作品は、令和元年夏に募集した「その応援から感動がはじまる！チャレンジ！2020」絵画コンクール（P.31参照）の作品から選定した320点です。

東京2020大会で行われたオリンピック競技やパラリンピック競技を応援する気持ちのこもった作品のほか、子どもたち自身ががんばりたいこと（サッカーや柔道などのスポーツ、外国語での道案内、身近な地域の清掃など）を描いた作品など多彩な作品が街なかに彩りを与えています。

なお、本装飾は、東京2020大会のレガシーとして、令和6年度まで継続する予定です。



アスリートの方からも「子どもたちの絵から元気をもらえた。」などの声がありました。



除幕式には中学生の部の金賞受賞者も参加しました。

🔊 除幕式に参加した金賞受賞者の感想



「大会を支えるボランティアを手で、観客の期待と選手の情熱を炎で表現した。見た人が開催を楽しみに思ってくれたらうれしいです。」

大会マスコット像の展示

期 間	令和3年2月～
場 所	新宿スポーツセンター、区役所第一分庁舎、四谷スポーツスクエア、新宿歴史博物館
内 容	

大会への気運を高めるため、東京2020パラリンピック開催200日前（令和3年2月5日）を契機に、区内の4施設に大会マスコット像を設置しました。

特に、高さ約150cmほどのLサイズのマスコット像を設置した新宿スポーツセンターでは、訪れた子どもたちが、マスコット像にかけ寄ったり、家族連れと一緒に写真を撮ったりする姿もあり、来館者からも好評です。

今後も、東京2020大会のレガシーとして、多くの区民の方にご覧いただけるよう、各施設での展示を行ってまいります。



オリンピック大会マスコット像(左)、パラリンピック大会マスコット像(右)

【数量、大きさ、展示場所等】

	Lサイズ	Sサイズ
数量	1セット(計2体)	3セット(計6体)
大きさ	W約90cm×H約150cm	W約18cm×H約20cm
重量	約22kg	約2kg
展示場所 (大会終了まで)	新宿スポーツセンター (1階 ロビー)	<ul style="list-style-type: none"> 区役所第一分庁舎(地下2階) 四谷スポーツスクエア(地下2階) 新宿歴史博物館(1階)
展示場所(※1) (大会終了後)	新宿スポーツセンター (1階 ロビー)	<ul style="list-style-type: none"> 四谷スポーツスクエア(地下2階) 新宿コズミックセンター(1階) 新宿養護学校(※2)

※1 今後の展示場所については、変更の可能性があります。

※2 新宿養護学校に展示しているマスコット像については、一般の方はご覧いただけません。

～商店街フラッグがオリンピック・パラリンピック仕様に～

東京都は、令和元年度から東京2020エンブレムなどがあしらわれた5色展開のフラッグの掲出を進め、新宿区内でも48商店街で計1,838枚（令和3年6月時点）のフラッグが掲出され、街を彩りました。

フラッグに用いられたのは、「藍、紅、桜、藤、松葉」の5色で、日本らしい色彩を世界の人々に印象づけるために、「かさねの色目」など平安時代から続く日本の伝統色が用いられました。

区内フラッグ掲出の様子

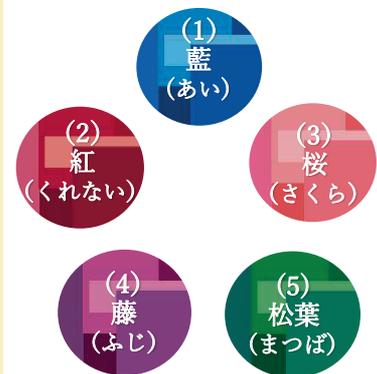


目白通り商いの会



花園町親交会

フラッグに用いられている5色



- (1) 日本人に古くから親しまれてきた青色です。世界でも日本を表す色として広く知られ、東京2020エンブレムの色も藍色のひとつです。
- (2) 赤色は古来より祝事などでよく使われ、日本を象徴する色です。
- (3) 平安時代から日本人に広く親しまれているだけでなく、世界の人々からも知られている桜の花の色です。
- (4) 「藤（ふじ）」 枕草子に登場するなど、古来より日本の美しい花として知られる藤の花の紫色です。
- (5) 「松葉（まつば）」 枕草子に登場する縁起が良い樹として祝事に用いられる松の葉の色です。

4 広報・PR

多くの方に東京2020大会に関する情報をお伝えすべく、さまざまな媒体を通じた情報発信を行いました。

平成29年度には、デジタルサイネージによる東京2020大会開催までの日数のカウントダウンをスタート、平成30年度からは区広報紙での連載記事の掲載を開始しました。また、令和2年度には新型コロナウイルスの感染拡大を受け、自宅学習を支援するためのワークシート「おうちdeパラマスター」を公開しました。

【東京2020大会の気運醸成及び大会PRのための情報発信】

内容	実施期間	詳細
区ホームページによる情報発信	平成29年度～	P.49
デジタルサイネージによるカウントダウン・東京2020大会PR	平成29年10月～令和3年9月	P.50
区広報紙による情報発信	平成30年6月～令和3年8月	P.51
おうちdeパラマスター	令和2年5月～	P.52
交通規制等に関する周知・広報	令和3年6月～9月	P.52

区ホームページによる情報発信

期 間 平成29年度～

内 容

区公式ホームページを通じてさまざまな情報発信を行いました。

- ・大会開催までの日数のカウントダウン
- ・気運醸成イベントの募集、開催した主なイベントの紹介
- ・新宿区東京2020大会区民協議会の開催実績
- ・東京2020参画プログラム
- ・新宿シティドレッシングの紹介
- ・ボランティアに関する情報（新宿2020サポーター、大会ボランティア、都市ボランティア）
- ・大会期間中の交通対策等の情報発信ほか



ホームページによる情報発信

デジタルサイネージによるカウントダウン ・東京2020大会PR

日 時 平成29年10月～令和3年9月

場 所 区内14か所(新宿区役所本庁舎、新宿コズミックセンター、新宿スポーツセンター、特別出張所(10所)、JR信濃町駅)

内 容

東京2020大会開催1000日前となる平成29年10月28日から、区内14か所にデジタルサイネージを順次設置し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催までの日数のカウントダウンをスタートしました。

このデジタルサイネージでは、東京2020大会に向けた各種イベントの様子や、地域センターまつりのトリックアートフォトコーナーで撮影した写真などさまざまな画像をスライドショー形式で順次放映することで、多くの区民の方々に登場していただきました。

また、桐生祥秀選手(リオデジャネイロ2016オリンピック男子4×100mリレー銀メダリスト)や前川楓選手(リオデジャネイロ2016パラリンピック女子走り幅跳び(T63クラス)4位入賞)など、東京2020大会での活躍が期待される選手たちにもデジタルサイネージに登場していただき、東京2020大会の気運醸成に貢献していただきました。

なお、オリンピックスタジアム(国立競技場)の玄関口であるJR信濃町駅に設置したデジタルサイネージは、信濃町町会や信濃町商店振興会、東日本旅客鉄道株式会社の協力のもと、平成30年3月3日にお披露目式を開催するなど、地域の方々から熱烈な歓迎をいただきました。



デジタルサイネージ(新宿区役所本庁舎1階)



JR信濃町駅デジタルサイネージお披露目式



デジタルサイネージ(若松町特別出張所)

区広報紙による情報発信

期 間

平成30年6月～令和3年8月

内 容

◆なるほど！TOKYO2020（広報新宿連載）

平成30年6月から、毎月1回、広報新宿にて東京2020大会に関する情報発信を行いました。全31回の連載の中では、聖火リレーや大会マスコットなどの大会に関する情報のPRのほか、地域で大会の盛り上げに取り組む区民の方の活動の紹介など、さまざまな情報を掲載しました。

また、連載第22回（令和2年3月25日号）では、前川楓選手（右写真）に大会への意気込み等を語っていただきました。



前川楓選手。東京2020パラリンピック女子走り幅跳び(T63クラス)では、5位に入賞されました。

◆東京2020オリンピック・パラリンピック特集号

【発行】令和元年8月5日

【内容】東京2020大会に向けた特集

- ・桐生祥秀選手の独占インタビュー
- ・野老朝雄（ところあさお）氏
（大会エンブレム制作者・新宿区出身）と
区長との対談
- ・新宿区内の開催競技紹介

広報新宿 8・5号
令和元年(2019年)
〒160-8586 新宿区西新宿1-4-1
発行所: 広報新宿 電話: 03-3209-1111
編集: 広報新宿編集課/広報新宿編集課
http://www.city.shinjuku.lg.jp/

しんじゅくコール 03-3209-9999
区長室: 03-3209-9900
区民センター: 03-3209-9900

東京2020
オリンピック・
パラリンピック
特集

応援を力に東京オリンピックを走りたい!

日本選手で初めて100mB秒台に到達した桐生祥秀選手。2020年、新宿区の新国立競技場での大活躍が期待される桐生選手にオリンピックに向けた想いを伺いました。

桐生祥秀
2019年、東京マラソンで日本人選手初の100mB秒台を記録した。

テレビで見た憧れの大会
リオデジャネイロ2016年オリンピックでは、男子4x100mリレーで銅メダルと、大活躍されましたね。オリンピック出場を夢見たのはいつ頃からですか?
桐生: 高校3年生の頃からです。オリンピックで活躍する選手の姿をテレビで見て、自分も陸上をやっているからには、あのような大きな舞台に出たいという思いがずっとあります。

誰もが楽しめる大会に
東京2020オリンピックへの期待は?
桐生: 7月までは、レース後にトラックをまわった時に日本語の応援が聞こえてうれしかったです。今度こそは東京ですから、より盛り上がるでしょう。新宿区は人口も多いので、たくさんの方が応援に来てくれると思います。オリンピックをきっかけに、より多くの人が陸上に興味を持ってもらえると思います。そして、スロークロウをさらに楽しめようという思いです。ぜひ、応援してください。

新国立競技場を走りたい
2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは、現在、新宿区に建設中の新国立競技場が陸上競技の会場になります。新しい競技場についてはいかがでしょうか?
桐生: 以前は、陸上の日本選手権は国立競技場で開かれていました。僕は、前の国立競技場を試合で走ったのは11歳だけで、あまり思い出がないんです。だからこそ、新しい国立競技場

※本誌は印刷の都合で掲載している場合があります。また、印刷の都合で掲載していない場合があります。掲載の都合で掲載していない場合はご了承ください。

広報新宿令和元年8月5日号

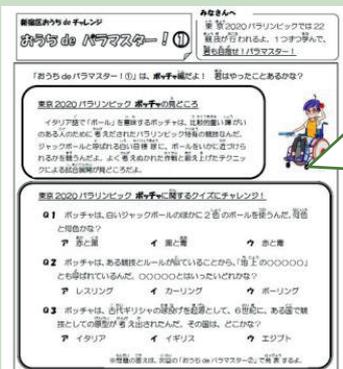
おうちdeパラマスター

期 間 令和2年5月～

内 容

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い学校が臨時休校となった際、児童・生徒が充実した時間を過ごせるよう、新宿区教育委員会が各教科のワークシートを掲載した「新宿区おうちdeチャレンジ応援サイト」を令和2年3月から開設しています。

このサイトに、パラ競技特有のルールや競技の魅力が楽しみながら学べるワークシート「おうちdeパラマスター」を掲載しました。このワークシートは、子どもたちがパラ競技を楽しく観戦できるよう、東京2020パラリンピック22競技のルールなどをクイズ形式で紹介したもので、全23回（競技別のワークシートとまとめのワークシート）を公開しています。



東京2020パラリンピック ポッチャの見どころ

イタリア語で「ボール」を意味するポッチャは、比較的重い障がいのある人のために考えだされたパラリンピック特有の競技なんだ。ジャックボールと呼ばれる白い目標球に、ボールをいかに近づけられるかを競うんだよ。よく考えぬかれた作戦と鍛え上げたテクニックによる試合展開が見どころだよ。

東京2020パラリンピック ポッチャに関するクイズにチャレンジ!

Q1 ポッチャは、白いジャックボールのほかに2色のボールを使うんだ。何色と何色かな?
 ア 赤と黒 イ 黒と青 ウ 赤と青



競技の見どころをワンポイントで説明。
楽しみながらパラ競技が学べます。

交通規制等に関する周知・広報

期 間 令和3年6月～9月

内 容

東京2020大会の開催に伴い、競技会場周辺の道路では交通規制が行われたほか、都内の交通混雑緩和のためのさまざまな交通対策が実施されました。

こうした交通規制、交通対策が混乱なく円滑に行われるよう、東京2020組織委員会や東京都と協力し、事前周知を行いました。周知は広報新宿への掲載や町会・自治会、商店会等への説明のほか、競技会場周辺地域へのチラシ配布等により行いました。

【広報新宿掲載実績】

- ・ 令和3年6月5日号 「東京2020大会の交通対策」
- ・ 令和3年8月15日号 「テレビ中継用ヘリコプター飛行について」



5 ボランティア

(1) 新宿区の独自ボランティア「新宿2020サポーター」

新宿区では、新宿区東京2020大会区民協議会ボランティア部会の提言を踏まえ、区民の皆さんが、東京2020大会に関連するイベントでの活動に気軽に参加していただくための区独自のボランティア登録制度「新宿2020サポーター」制度を令和元年5月に創設しました。



新宿オリジナルキャップ。「SHINJUKU」の文字と東京2020エンブレム付き。



サポーターとしてイベントに参加するとスタンプ。3つ集めた方には記念品をプレゼントしました。

【活動内容】

新宿区や公益財団法人新宿未来創造財団が主催する、東京2020大会を盛り上げるためのイベントの運営サポートなど。

【活動実績（登録者数500名）】

イベント名	開催日	参加者数 (延べ人数)
東京五輪音頭-2020-講習会	令和元年6月5日(水)・7日(金)	2名
やってみよう！アーティスティックスイミング	令和元年7月15日(月・祝)	2名
東京2020オリンピック・パラリンピック開催まであと1年！記念イベントin新宿～アスリートのスゴさを体感！～	令和元年7月27日(土)・28日(日)	17名
ラグビーワールドカップ2019™パブリックビューイング	令和元年9月28日(土)・29日(日)	23名
ふれあいフェスタ	令和元年10月20日(日)	12名
しんじゅくシティウォーク	令和元年10月26日(土)	9名
踊りの祭典2019	令和元年11月9日(土)	13名
若者のつどい	令和元年11月16日(土)	8名
東京2020大会に向けた250日前記念イベント～新宿から世界へ～ひろがる未来に 夢・チャレンジ！	令和元年12月1日(日)	21名
はたちのつどい	令和2年1月13日(月・祝)	2名
東京五輪音頭-2020-講習会	令和2年1月20日(月)～2月16日(日)	17名

次のイベント・研修は、新宿2020サポーターの皆さんに参加していただく予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため中止となりました。

イベント名	開催予定日
オリンピック・パラリンピックに向けた英会話交流体験講座	令和2年3月1日(日)・4日(水)・8日(日)
東京2020オリンピックコミュニティライブサイト 東京2020パラリンピックコミュニティライブサイト	令和3年7月21日(水)～8月8日(日・祝) 8月24日(火)～9月5日(日)
新宿2020サポーター研修～人生を豊かにするボランティアの極意～	令和3年7月23日(金・祝)
東京2020オリンピック聖火リレー セレモニー	令和3年7月23日(金・祝)
東京2020パラリンピック聖火リレーセレモニー	令和3年8月20日(金)

【活動の様子】

ラグビーワールドカップ2019™ パブリックビューイング



ミニラグビーボールでの的あて体験コーナーを運営しました。

東京2020大会250日前記念イベント



明るく丁寧に来場者の受付対応をしました。

【ボランティアフォーラム2018】

ボランティア活動に関心のある方が実際の活動に参加する契機となるよう、オリンピックボランティア経験者等によるトークディスカッションなどを行いました。

【日時】平成30年11月3日(土・祝) 13時30分～15時

【会場】東京都健康プラザハイジア4階(歌舞伎町2-44-1)

【内容】・東京2020大会の大会ボランティア・都市ボランティアの活動内容等の紹介

・トークディスカッション

鈴木章生目白大学教授をファシリテーターとして、平昌オリンピックボランティアの経験者や東京都観光ボランティアの方が、具体的な活動内容や活動をする上での心構え、ボランティア活動の魅力などを、自身の経験をもとに紹介しました。

・ボランティア活動PRブース

(福)新宿区福祉協議会(視野狭窄体験等)、(公財)新宿未来創造財団(各種ボランティア制度の案内)が出展しました。



参加者からは「積極的に関わる姿勢が大切だと分かった」などの感想が寄せられました。



出演者の皆さん

(2) 東京2020大会のボランティア

東京2020大会のボランティアは、東京2020組織委員会が募集し、競技会場や選手村などの大会関係施設において大会運営に直接携わるボランティアである「フィールドキャスト(大会ボランティア)」と、東京都を含め競技会場が所在する自治体が募集し、空港・主要駅・観光地などで観客や観光客の案内をするボランティアである「シティキャスト(都市ボランティア)」がありました。

【東京2020大会のボランティア】

フィールドキャスト (大会ボランティア)		シティキャスト (都市ボランティア)
東京2020組織委員会	運営主体	東京都
競技会場や選手村などの大会関係施設で、競技運営のサポート、メディアのサポートなど大会運営を支えるボランティア	活動内容	空港・主要駅・観光地等での国内外の旅行者に対する観光・交通案内や、競技会場の最寄駅周辺の案内等を行うボランティア
8万人	募集人数	3万人(うち一般公募2万人)

新宿区では、地域のイベント等でフィールドキャストやシティキャストのPRを行ったほか、シティキャストについては、東京都による一般募集(2万人)とは別に都内区市町村からの推薦枠があり、新宿区においても推薦候補者(150名)の募集を行いました。

6 地域における取組み

東京2020大会に向けては、新宿区内の地域団体の皆さんによる主体的な気運醸成の取組みも数多く行われました。区では、さまざまな形で地域の皆さんによる活動への支援を行いました。

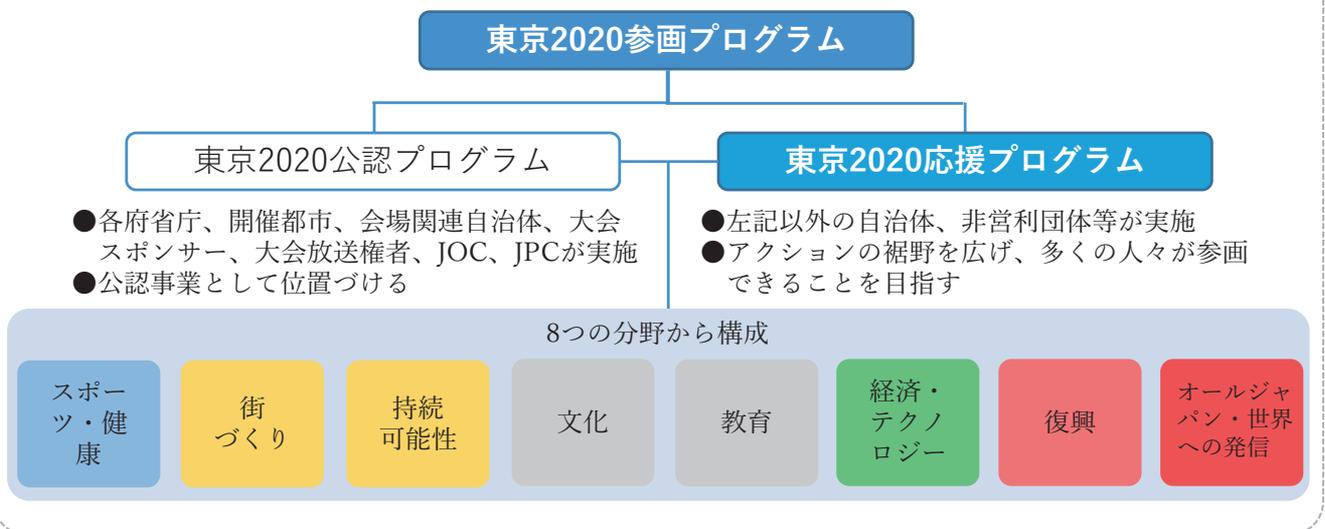
(1) 東京2020参画プログラム活用の促進

東京2020組織委員会は、東京2020大会の大会ビジョンのもと、スポーツに限らず文化芸術や地域での世代を越えた活動、被災地への支援など、参加者自らが体験・行動し、未来につなぐプログラムとして、「東京2020参画プログラム」を平成29年度から開始しました。

区でも、町会・自治会、商店会等へ「東京2020応援プログラム」の周知を図り、制度の活用を促進しました。

【プログラムの概要】

より多くの団体が多くの取組みを通じて、東京2020大会とつながる仕組み



～三井選手を応援する会～

リオデジャネイロ2016オリンピック シンクロナイズドスイミングパブリックビューイング

三井梨紗子選手（落合第一小学校卒業）のリオデジャネイロ2016オリンピック出場にあわせて、落合第一地区町会連合会がパブリックビューイングを行いました。地域が一体となって熱い声援を送りました。

- 【主催】 落合第一地区町会連合会
- 【後援】 新宿区
- 【協力】 宝塚大学（東京メディア芸術学部）
- 【日時】 平成28年8月20日（土）
午前0時～1時45分
- 【会場】 落合第一地域センター
（下落合4-6-7）
- 【参加者数】 約100名



深夜にもかかわらず多くの人が駆けつけ、銅メダル獲得の瞬間は歓声が上がりました。

(2) 東京2020大会に向けた地域活動の支援

東京2020大会に向けた地域活動を支援するために、町会・自治会、商店会等の区内地域団体に東京2020はっぴや東京五輪音頭-2020-のCD・DVDの貸出を行ったほか、東京2020うちわを配布し、地域の祭りやイベント等でご活用いただきました。



令和元年度の神楽坂夏まつりでも東京2020はっぴを活用していただきました。

(3) 新宿区東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画事業助成

東京2020大会が将来にわたって区民の記憶に残るものとするために、大会の気運醸成又は継承に資する自主的な活動に助成することを目的として、平成30年度末に創設した「新宿区東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画基金」を原資とした事業助成を行いました。

令和元年度及び令和3年度に、区内の団体が実施する38事業に助成しました。

【区民参画事業助成実績】

※詳細は資料集P.102参照

- ・令和元年度 22事業
- ・令和3年度 16事業 (計38事業)

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い助成事業を中止しました。

【助成事業の一例】

ゆげじい五輪祭り (申請団体：東京都公衆浴場業生活衛生同業組合新宿支部)

提灯を聖火に見立て、区内各地域の名所を巡りながら区内21軒の銭湯間を聖火リレーならぬ提灯リレーするウォーキングイベントを行いました。

各銭湯にオリンピック競技の顔出しパネルを設置したり、ポッチャのルール説明チラシを配布し、東京2020大会のPRを行いました。

また、提灯リレー最終日には、東京五輪音頭-2020-の振付講習会を行いました。



提灯リレー最終日は新宿スポーツセンターにゴールしました。

うちわでおもてなしプロジェクト (申請団体：新宿区立西新宿小学校PTA)

西新宿小学校の小学校6年生 (令和元年度) が東京2020大会への期待や西新宿のまちの伝統をテーマにデザインしました。

西新宿エリアの商店街や区内施設、新宿中央公園などで配布し、大会に向けた気運醸成につなげました。



外国人にも魅力が伝わるよう英語の説明文も工夫しました。

(4) 各地区における取組み

令和元年度には、新宿区内10地区において、各地区の特色を生かした大会気運醸成事業を行いました。

※なお、令和元年台風19号の接近に伴い「落一町連大運動会」が中止となったほか、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため「戸塚ふれあいポッチャ大会」及び「東京2020オリンピック・パラリンピックを盛り上げよう！in落合さくらまつり」が中止となりました。

四谷

◆陸上競技シルエットシールをめぐる四谷スタンプラリー

四谷地域の3施設の壁面に、世界記録が体感できる陸上競技シルエットシールを展示しました。

また、3会場をめぐるスタンプラリーを実施し参加者200名に東京2020マスコットのボールペンやミニタオルをプレゼントしました。

【期間】令和元年9月中旬～

※スタンプラリーは10月1日～31日

【会場】四谷区民センター（内藤町87）

四谷ひろば（四谷4-20）

四谷保健センター（四谷三栄町10-16）

【参加者数】約1,000名



四谷区民センター正面入口の陸上競技シルエットシール

◆「新国立競技場をもっと知って東京2020大会を楽しもう！」

国立競技場を管理する独立行政法人日本スポーツ振興センターの職員による講演と、三井梨紗子氏を交えたトークセッションを行いました。

第2部では、チェンバー・フィルハーモニック東京（指揮者：木村康人氏）による音楽会を開催し、さまざまな国の音楽やオリンピックに関係の深い曲が演奏されました。

音楽会の終盤は、四谷第六小学校5年生の児童がコカリナ演奏で共演しました。

【日程】令和2年2月1日(土)

【会場】四谷区民ホール（内藤町87）

【参加者数】約300名



(第一部)トークセッション



(第二部)出演者全員での記念撮影

筆筍町

◆筆筍deダンス！～2020応援ソングパブリカに合わせて筆筍で東京2020マスコットと踊ろう～

東京2020マスコットによるダンスや握手会、パラリンピック競技紹介パネル展示を行いました。

【日程】令和元年9月29日(日)

【会場】牛込筆筍地域センター（筆筍町15）

【参加者数】455名



大会マスコットの登場に会場は大興奮！来場者はマスコットと一緒に「パブリカ」を踊り盛り上がりました。

◆大型サイネージによる情報発信

65インチデジタルサイネージを設置し、大会開催までのカウントダウンのほか、筆筍町PR動画を作成し、放映しました。

榎町

◆オリジナルPR扇子作成事業「人にやさしいまち えのき」

榎町地域の特性や魅力をPRする内容の扇子を作成し、東京2020マスコットのクリアファイルとともに、榎町特別出張所で転入の手続きをした方々に配布しました。

扇子の盤面には、穴八幡宮の流鏝馬や漱石山房記念館等、榎町の豊かな文化資源が載っています。

【期間】令和元年7月1日～令和2年3月末



榎町地域の特性や魅力をPRした扇子

若松町

◆2020夏にメッセージを届けよう♪「わかまつポスト」

東京2020大会開会式の日（大会延期前の日程）の自分に宛てて、メッセージを書いていたイベントを開催しました。お預かりしたはがきは、1年後の2020年夏に配達されました。

【期間】令和元年7月24日(水)～9月30日(月)

【会場】若松町特別出張所（若松町12-6）

【参加者数】673名



大切な思いを乗せて投函したはがきは、1年後に届けられました。

また、8月31日に若松地域センターで、新宿未来特使鉄腕アトムとの記念撮影や絵手紙教室等のイベントを行いました。

大久保

◆東京2020大会に向けた清潔できれいなまちづくり支援事業

大久保・百人町地区クリーン活動協議会の主催で行われている清掃活動の参加者が、東京2020エンブレム入りのビブスを着用して清掃活動を実施しました。

【日程】令和元年7月以降の毎月第四木曜日

【会場】大久保通りほか



地域住民や留学生ボランティア等による活動を通じて、より一層地域の結束が強まりました。

戸塚

◆東京染小紋風呂敷クロス展示

令和元年7月から東京2020パラリンピック大会終了まで、戸塚地域センター1階で、東京染小紋風呂敷（東京2020エンブレムに用いられた市松模様の風呂敷クロス）を展示し、大会と地場産業である染色業をPRしました。

◆戸塚地域センターまつりにおけるクイズラリー

戸塚地域センターまつりでオリンピック・パラリンピックに関するクイズラリーを実施。参加者には東京2020マスコットのキーホルダーをプレゼントしました。

【日程】令和元年9月22日(日)

【会場】戸塚地域センター（高田馬場2-18-1）

【参加者数】約300名



戸塚地域センターの側を流れる神田川沿いでは染色業が盛んであり、現在でも染工房が点在しています。

落合第二

◆ボッチャdeバリフリ

〇2（落二地域クラブ、地区スポーツ交流推進委員会、落二中地区居場所事業協議会）によるボッチャ体験会を行いました。

【日程】令和元年9月21日(土)

【会場】落合第五小学校体育館（上落合3-1-6）

【参加者数】38名

◆落合第二地域センターまつりでの大会PR

来場者した子どもたちへ、東京2020マスコットのなわとびのプレゼントを通じた大会PRを行いました。

【日程】令和元年11月10日(日)

【会場】落合第二地域センター（中落合4-17-13）



ボッチャdeバリフリでは幅広い世代の方々がボッチャを楽しみました。

柏木

◆パラスポーツ体験 in フレンドカフェ

柏木地域センターのフレンドカフェにスポーツコーナーを設け、ボッチャや競技用車いすの体験イベントを行いました。

【日程】令和元年8月21日(水)

【会場】柏木地域センター（北新宿2-3-7）

【参加者数】137名

◆柏木地区コミュニティスポーツ大会

ビーチボールバレー、ユニカール、輪投げ、玉入れ、ボッチャ等のスポーツ大会を行いました。オリンピックの星奈津美氏が、準備体操の指導、ユニカールやボッチャへの参加、賞品のプレゼンターなど1日を通し参加しました。

【日程】令和元年11月10日(日)

【会場】西新宿中学校（西新宿8-2-44）

【参加者数】335名

◆新宿かしわまつり

オリンピックの星奈津美氏と司会の井上優氏（声優）による競泳やスポーツに関するトークショーを行いました。小・中学生による東京五輪音頭-2020-のダンス披露なども行いました。

【日程】令和元年11月17日(日)

【会場】柏木地域センター（北新宿2-3-7）

【参加者数】182名



オリンピックの星奈津美氏も参加者と一緒に競技に参加しました。

角筈

◆ミライトワ・ソメイティと踊ろうatつのはず

角筈わいわいまつりにおいて、東京2020マスコットによるダンスや握手会を実施しました。

【日程】令和元年12月1日(日)

【会場】角筈区民ホール（西新宿4-33-7）

【参加者数】230名

◆大型サイネージによる情報発信

65インチデジタルサイネージを設置し、大会開催までのカウントダウンのほか、角筈PR動画を作成し、放映しました。

◆陸上競技シルエットシールの掲出

令和元年9月から角筈地域センターに競技の記録を体感できる陸上競技棒高跳びのシルエットシールを設置しました。大会後も引き続き掲出しています。



イベント当日の様子は、65インチデジタルサイネージにて放映しました。

7 全庁における取組み

東京2020大会に向けて、新宿区の庁内各課においてもさまざまな取組みを行いました。

(1) 庁内における大会PR

各課の窓口にて東京2020エンブレムや東京2020マスコット等の卓上フラッグを設置したほか、全職員が東京2020エンブレム入りのネクストラップを着用しました。

また、各種証明書の裏面や窓口用封筒への東京2020エンブレム等の表示や、窓口での接客が多い地域振興部職員によるエンブレム付きウエア（写真右下）の着用（毎週火・金曜日）など、職員が業務の中でできることを工夫しながら大会に向けた気運醸成に取り組みました。



本庁舎フォトブースにも東京2020エンブレム等をデザインしました。



窓口用封筒



証明書類(裏面下部)



卓上フラッグ



エンブレム付きウエアを着用した職員

(2) 東京オリンピック・パラリンピック開催推進会議

東京2020大会の開催に伴う課題及び対策等を検討し、新宿区における施策を総合的に推進するため、東京オリンピック・パラリンピック開催推進会議を設置し、大会の開催に伴う課題及び対策等に係る以下の事項について、総合的な施策の検討を行いました。

- ・観光情報発信施策の推進に関する事
- ・ユニバーサルデザイン及びバリアフリーに関する事
- ・ボランティアの育成に関する事
- ・環境保全及びごみ対策等に関する事
- ・観客、会場スタッフ等の輸送に関する事
- ・スポーツの振興に関する事
- ・多言語表示に関する事
- ・安全・安心に関する事
- ・道路標識、案内板等に関する事

なお、施策の検討にあたっては、部会（文化観光産業情報発信部会、スポーツ振興事業推進部会、ユニバーサルデザイン・バリアフリー検討部会、多言語表示検討部会、ボランティア育成部会、災害等有事対応検討部会、環境保全等推進部会、競技大会輸送方針検討部会）を設置して行いました。

(3) 総合政策部における取組み

◆記録映像「東京2020オリンピック・パラリンピックに関連する区の実践」制作

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で東京2020大会コミュニティライブサイトin新宿や聖火リレーの出発式等が中止になり、大会に関わる機会が限られるなか、選手応援の取組みを通じて、子どもたちに何が残ったのか、何がレガシーとなったのか、子どもたちの思いを未来に向けて発信する記録映像を制作しました。

【取材期間】

令和3年7月～11月下旬

【取材内容】

- ① 東京2020大会応援タペストリーの制作
- ② 東京2020大会コミュニティライブサイトin新宿区のステージに出演予定だった団体の大会への応援映像
- ③ 区立小学校の児童や園児から早稲田大学滞在中の難民チームへのプレゼント
- ④ 区立小・中学校児童・生徒のパラリンピック観戦
- ⑤ オリンピック聖火リレー（点火セレモニー）
- ⑥ パラリンピック聖火リレー（採火式・集火式）



記録映像撮影の様子

(4) 総務部における取組み

◆中学生被爆体験講話

世界最大のスポーツと平和の祭典である「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」開催を契機とし、区立中学校・養護学校中学部の2年生全員を対象に、平和について考えるきっかけにしておうと、実際に被爆された方のお話を伺う「被爆体験講話」を開催しました。

生徒たちは、被爆体験の話を通じ、平和な世界の実現のためにできる身近な取組みについて考えることができました。

【日時】 令和3年7月16日(金)10時50分～12時20分

【講師】 田川博康氏（被爆体験者）

【開催方法】 講師のいる長崎市と、区内の各中学校とをオンラインで結び、生徒は各教室等で視聴。



被爆体験講話を聴く牛込第一中学校の生徒



被爆体験講話では、長崎市での被爆体験を話して下さった田川博康氏に区立中学校の生徒3名が代表して質問をしました。



被爆体験講話前に原子爆弾や長崎市の被害について事前学習しました。

(5) 地域振興部における取組み

◆スポーツの普及啓発（子ども・成人向けスポーツ体験イベント）

子どもから高齢者まで、区民誰もが年齢や障害の有無に関わらず、個々の目的やライフステージに応じて多様なスポーツに親しめる機会を創出すべく、年間を通じて子ども・成人向けスポーツ体験イベントを実施しています。

オリンピック・パラリンピアンや元プロ選手が講師となってスポーツの実技指導を行ったほか、お笑い芸人がイベントを盛り上げました。

【平成30年度実績】 10回開催、計402名参加

【令和元年度実績】 8回開催、計275名参加

【令和2年度実績】 6回開催、計230名参加



バスケットボール教室の様子。皆さん楽しみながら真剣に取り組みました。

◆フットサル交流会「新宿グローバルカップ」

さまざまな国の人たちに楽しく交流する場を提供すべく、フットサル大会や子ども向けサッカー教室、ブラインドサッカー体験等を実施しました。

日本、中国、韓国、ネパール、カナダ、セネガル、ブラジルの7か国のチームが参加し、スポーツを通じた国際交流ができました。

【日時】 令和元年5月12日(日) 10時～15時30分

【会場】 落合中央公園野球場（上落合1-2）

【参加者数】 350名



真剣勝負の試合を通じて互いに交流を深めました。

(6) 文化観光産業部における取組み

◆新宿フィールドミュージアムの充実

新宿の文化資源を活用した多様な主体による文化芸術イベントを集約し、音楽・美術・演劇・伝統芸能・パフォーマンス・まち歩き・歴史探訪など、幅広いジャンルのイベントからなる「新宿フィールドミュージアム」。

大会の開催に向けて実施プログラムの拡充や開催期間の拡大、情報発信の拡大に取り組みました（新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の一部を中止しました）。

◆新宿フリーWi-Fi

利用者が多く見込まれる駅周辺等に、新たにWi-Fiアクセスポイントを設置し、運用を開始しました。また、利用者のスマートフォンやタブレット等の端末に、新宿観光特使「ゴジラ」を表示するAR機能を構築しました。



新宿フリーWi-Fiの利用が可能であることを示す路面ステッカーを設置し、周知を行いました。

◆観光案内標識の整備促進

来街者が気軽に安心してまち歩きができるように、観光案内標識の整備（駅周辺への新規設置、既存の観光案内標識の盤面の更新等）を行いました。

(7) 福祉部における取組み

◆福祉部PT

福祉部内にパラリンピック・ムーブメントPT（部内プロジェクトチーム）を立ち上げ、地域に根差したパラスポーツの推進に向け、高齢者福祉施設等でのポッチャ体験会を企画、開催するとともに、各施設で開催されているさまざまなパラスポーツ体験会に参加しました。

また、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会と連携し、区内の道路の幅や傾斜、段差、スロープの有無などのバリアフリー状況の確認を行いました。

◆サービス介助基礎研修

障害理解の促進を図るとともに、パラリンピック関連イベントや障害者団体が主催するイベント等におけるボランティア活動への動機付けを行うことを目的として、車いす操作や視覚障害体験等障害者や高齢者への介助の基礎を学ぶことのできるサービス介助基礎研修会を開催しました。

【日時】令和元年6月27日(木)・29日(土)

各日14時～16時・19時～21時

【会場】新宿区役所本庁舎、新宿区役所第二分庁舎

【参加者数】95名



体験型のセミナーで障害のある方や高齢者とのコミュニケーションのきっかけを新たに学ぶことができました。

◆障害者スポーツ講演会

「障害者スポーツの充実と東京2020パラリンピックの成功にむけて」と題し、(公財)日本障がい者スポーツ協会（現・日本パラスポーツ協会）常務理事の高橋秀文氏（東京ガス(株)アドバイザー）が、障害者スポーツを取り巻く状況、パラリンピックの歴史・魅力・意義、心のバリアフリーへの取組みについて、映像によるパラリンピック競技の紹介を含めた講演を行いました。

【日時】令和元年11月2日(土)14時～16時

【会場】新宿文化センター（新宿6-14-1）

【参加者数】135名



障害者スポーツ講演会

(8) みどり土木部における取組み

◆バリアフリーの道づくり

大会に向け、主要駅周辺の区道のバリアフリー化整備として、歩道の段差の解消や視覚障害者誘導用ブロックの設置、カラー舗装化等を行いました。

◆環境に配慮した道づくり

大会を観戦する方々が快適に通行できるよう、新宿駅周辺や国立競技場周辺、東京2020パラリンピックのマラソンコース周辺道路について、遮熱性舗装の整備を行いました。

◆自転車通行空間の整備

大会に向け、歩行者・自転車・自動車のそれぞれが安全に、安心して通行できる道路空間を創出するため、主要駅周辺や国立競技場周辺等について、自転車通行空間の整備を行いました。

◆道路標識等の改修

大会に向け、訪日外国人旅行者などにわかりやすい案内ができるよう道路標識等にピクトグラムを活用するなどの改善を行いました。

◆新宿中央公園の魅力向上

平成29年度策定の「新宿中央公園魅力向上推進プラン」に基づき、約8,500㎡の広大な「芝生広場」や、カフェやレストランが入る交流拠点施設「SHUKNOVA」の整備を行いました。



Photo ©2020 Nacasa & Partners Inc.
飲食などが楽しめる交流拠点施設「SHUKNOVA」と開放的な「芝生広場」(新宿中央公園)

◆清潔できれいなトイレづくり

東京2020大会の開催に向けて、東京2020パラリンピックマラソンコース沿道や国立競技場、主要駅等、多くの方々が訪れる場所の周辺にあるトイレを多機能トイレや洋式トイレに優先的に改修しました。



多機能トイレの設置(富久町公衆便所)



洋式トイレの設置(市谷見附公衆便所)

(9) 環境清掃部における取組み

◆「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」への協力

このプロジェクトは、東京2020組織委員会が全国展開した公認プログラムであり、回収した使用済小型電子機器等に含まれる貴金属から入賞メダル約5,000個が製作されました。

新宿区は、平成29年2月から平成31年3月末までこのプロジェクトに協力し、新宿リサイクル活動センター等における「窓口回収」や、新宿区役所本庁舎や各特別出張所での「ボックス回収」(右写真)、区主催の大会気運醸成イベント等で回収を行う「イベント回収」等を行いました。その結果、小型電子機器を約199,460kg回収し、そのうち資源化量としては金約6kg、銀約31kg、銅約8,187.3kgとなりました。



(10) 都市計画部における取組み

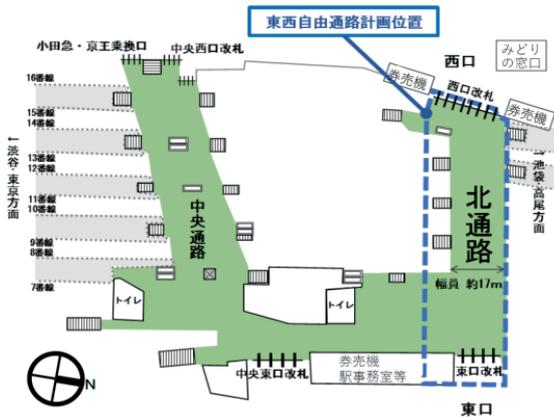
◆新宿区ユニバーサルデザインまちづくり条例の制定

新宿区では、都市施設（建築物、道路、公園等）に関し、年齢、性別、国籍、個人の能力等にかかわらず、全ての人が安全に、安心して、かつ、快適に暮らし、又は訪れることができるまちの実現を図るための取組みとして令和2年3月に「新宿ユニバーサルデザインまちづくり条例」を制定しました。

◆新宿駅東西自由通路の整備

新宿駅東西自由通路の整備は、JR新宿駅構内の北通路を17mから25mに拡幅するとともに、改札を移設して自由通路化を行ったものです。令和2年7月19日の開通により、新宿駅周辺における歩行者の回遊性や来街者の利便性が向上しました。

整備前



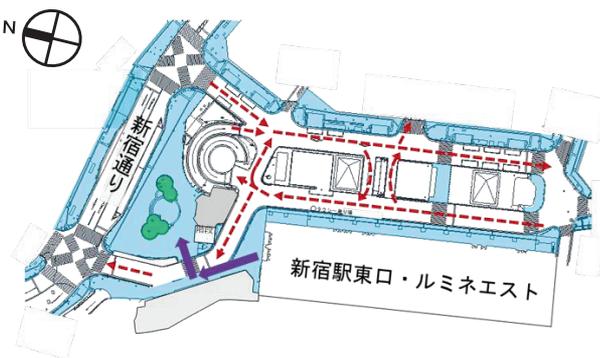
東西自由通路開通時点（令和2年7月）



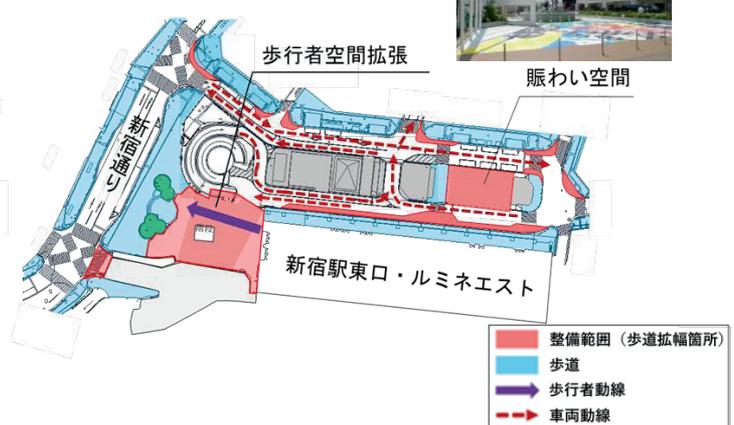
◆東口駅前広場の緊急整備

新宿駅東西自由通路の開通にあわせて、管理者である東京都及び東日本旅客鉄道株式会社が東口駅前広場の歩道拡幅等整備を行い、来街者にとって安全で快適な歩行者空間が創出されました。

整備前



整備後



整備完了写真



《新宿駅東西自由通路》



《歩行者空間拡張後(ALTA前)の状況》

撮影協力・画像提供：東日本旅客鉄道株式会社

(11) 教育委員会事務局における取組み

◆小・中学生フォーラムin新宿西戸山中学校

例年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」。平成29年度は、「未来を語る～夢を語り、今を考える～」というテーマのもと、東京2020オリンピック・パラリンピックに焦点を当て、区長と生徒たちで意見交換を行いました。生徒たちは「現在」、「3年後」、「オリンピック・パラリンピック開催後」のそれぞれの姿について、国際化や経済情勢、バリアフリーなどさまざまな視点から意見を発表しました。活発な意見交換が行われ、有意義なフォーラムとなりました。



生徒たちは、多様なテーマについて区長と活発な意見交換を行いました。

【日程】平成29年6月30日(金)

【会場】新宿西戸山中学校

【参加者数】3年生 135名

◆伝統文化理解教育の推進

学校における伝統文化理解教育を充実させるとともに、児童・生徒が郷土である新宿に愛着をもち、伝統文化の継承や地域の発展に寄与したいと思う気持ちを育むため、小学校では講師を招き、日本舞踊・落語・和妻・能楽（狂言）等の伝統文化の体験教室を行い、中学校では染色業に関する講演や体験、箏・三味線等の和楽器体験を行いました。

◆スポーツギネス新宿の推進

児童・生徒が運動の楽しさに触れ、自ら運動に親しむことができるよう、子どもたちが記録向上等への挑戦を通じてスポーツへの関心と体力の向上を図る「スポーツギネス新宿」を各小・中学校で行いました。

◆創意工夫によるオリパラ教育の推進

区立学校・幼稚園・子ども園での学習内容や活動とオリンピック・パラリンピックを関連付けた取組みを展開しました。

オリンピック・パラリンピックによる講話など、学習指導要領の目的達成を目指し、各教科等の学習内容・活動とオリンピックやパラリンピックを関連付け、4つのテーマ「①オリンピック・パラリンピックの精神、②スポーツ、③文化、④環境」と4つのアクション「学ぶ（知る）、観る、する（体験、交流）、支える」を組み合わせた取組みを展開しました。特に、「ボランティアマインド」「障害者理解」「スポーツ志向」「日本人としての自覚と誇り」「豊かな国際感覚」の5つの資質の育成を重点的に推進しました。

◆英語キャンプの実施

英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験し、外国人へのおもてなしや異文化・国際理解を深めるとともに、ボランティアとしての関わりを含めたさまざまな活動に取り組む基礎を養うため、子どもたちが英語だけの環境に身を置く2泊3日の宿泊体験を行いました。

また、参加者がキャンプの成果を発揮する場として、新宿区内の外国人観光客が集まるスポットで、英語でのインタビューや観光ガイドを行いました。

【日程】・英語キャンプ

令和元年8月14日(水)～16日(金) (中学生の部)

令和元年12月26日(木)～28日(土) (小学生の部)

・リフレクションセミナー(ボランティア体験)

令和元年10月6日(日) (中学生の部)

令和2年2月1日(土) (小学生の部)

【会場】・英語キャンプ

女神湖高原学園「ヴィレッジ女神湖」(長野県立科町)

・リフレクションセミナー(ボランティア体験)

四谷地域センター及び新宿御苑周辺

花園小学校及び新宿御苑周辺

【参加者数】134名



大会に向けて英語を身につけ、ボランティアとして活躍したいという参加者も多くいました。

◆東京2020おもてなしボランティア体験 in新宿

新宿区内の外国人観光客が多く集まるスポットや大会が開催される国立競技場の周辺で、外国人英語指導員のレクチャーのもと、ボランティア体験として、英語を使った観光案内や街頭インタビューなどを行いました。

また、あわせてインタビューを受けてくださった観光客に東京2020大会グッズを配るなど大会のPR活動を行いました。

【日時】令和元年10月6日(日)、11月24日(日)

【会場】四谷区民センター及び新宿御苑周辺、四谷第六小学校及び国立競技場周辺

【参加者数】57名(生徒45名 保護者12名)



「ボランティアに参加して大会をサポートしたい」と話す参加者も。

◆東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業【新宿区立図書館】

新宿区立図書館では、国立競技場の所在自治体の図書館として、利用者の東京2020大会への期待や理解を広めるとともに、図書館の利用促進を図るため、全館で関連資料の収集及び特設コーナーの設置を行いました。

また、中央図書館での「オリンピック・パラリンピックの歴史」と題した企画展示をはじめ、地域図書館においても、日中卓球交流の歴史についての講演会、ポッチャや伴走体験といった関連イベントを開催しました。



中央図書館のオリンピック・パラリンピックコーナー

(12) SDGsの推進

東京2020大会は、「Be better, together／より良い未来へ、ともに進もう。」をコンセプトとし、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」に貢献するとともに、持続可能な社会の実現に向けたさまざまな課題解決のモデルを国内外に発信しました。

- (例) ・都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト
・日本の木材活用リレー（全国の木材を活用する選手村ビレッジプラザ）
・聖火台及び聖火リレートーチにおける水素エネルギーの活用 など

新宿区においても、SDGsの目標達成につながるよう、東京2020大会に向けた各種取組みを推進してきました。

～SDGsとは～

SDGsとは、持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことで、2015年9月、ニューヨーク国連本部において、193の加盟国の全会一致で採択されました。

SDGsでは、社会が抱える問題を解決し、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すために、17分野にわたる国際目標を掲げています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 貧困をなくそう | 10 人や国の不平等をなくそう |
| 2 飢餓をゼロに | 11 住み続けられるまちづくりを |
| 3 すべての人に健康と福祉を | 12 つくる責任 つかう責任 |
| 4 質の高い教育をみんなに | 13 気候変動に具体的な対策を |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 14 海の豊かさを守ろう |
| 6 安全な水とトイレを世界中に | 15 陸の豊かさも守ろう |
| 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 16 平和と公正をすべての人に |
| 8 働きがいも経済成長も | 17 パートナーシップで目標を達成しよう |
| 9 産業と技術革新の基盤をつくろう | |

～スポーツ推進委員とオリパラ～

◆スポーツ推進委員とは？

「スポーツ基本法」に基づき、区長が委嘱しているスポーツ推進委員は、地域コミュニティの醸成に向けた区の地域スポーツ推進の役割を担い、行政と地域住民とのコーディネート役として活動しています。



スポーツ推進委員の活動の様子

◆誰もが知っている・やったことがある競技「ボッチャ」へ

区では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたスポーツ振興と大会後のスポーツレガシー継承という視点で、誰もが知っている・やってみたい・やったことがある「ボッチャ」を目指し、体験イベントの実施やボッチャセットの貸出等、身近でボッチャを楽しめる環境づくりを工夫してきました。

スポーツ推進委員は、競技の普及啓発として「レガスまつり」「スポレク」「ここ・からまつり」等の体験コーナーの実施、区立幼稚園等での「親子deボッチャ」を通し、ボッチャのルールや楽しさを知ってもらうための活動を積極的に行ってきました。

スポーツ推進委員の中には、さらに、公式C級審判員の資格を取得した人や、東京2020パラリンピック大会で、ボッチャの競技ボランティアとして参加した人もおり、委員一人一人がさまざまな形でボッチャを通じた活動の場を広げています。

スポーツ推進委員インタビュー！
～“わたし”とオリパラ～

◆桑島 恵美子（くわじま えみこ）さん

平成8年から現在まで、活動から離れた時期がありながらも、21年以上新宿区スポーツ推進委員として活動しています。介護予防運動指導士、中高年運動指導士の資格をもち、高齢者向けのスポーツ指導等、区内で活躍されています。

今回のオリンピック・パラリンピックは、テレビの中でしか観戦できませんでしたが、だからこそ各選手の発言や表情を細かく見ることができ、その努力と思いが強く伝わってきました。障害を持っていても、あの前向きな気持ちと挑戦の凄さ。私たちは、様々なことを学び、理解することができたと思います。

突然のコロナパンデミックが世界を襲い、私たちがかつて経験したことがない状況となりました。そして、生活も仕事も考え方も一変する事態となりました。そのような中、オリパラの開催に対する意見も「中止」「開催」の2極化が進み、私自身も“賛成”の発言をすることを控えるようになりました。晴れない気持ちの中での体力・筋力維持に励むことになった1年半でしたが、私にとっては大変貴重な時間をいただいたと思っています。真摯に“スポーツ”を考え・向き合い、何が大切か、今後何をすればよいのか等々いろいろ考えることができました。

このように、「スポーツ」や「オリパラ」について考えられたのは、単に私がスポーツを好きというだけでなく、長期間「スポーツ推進委員」をしてきた中で得た、スポーツの意義を感じ取っていたからだと思いました。

これからは、このスポーツの力を、オリパラのレガシーを、多様な人々と共に、地域の中で、どの様に活かすことができるか、考えたいものです。

スポーツ推進委員が、みんなで考えることができれば、ワンランクアップの存在になりえるのではと思っています。



聖火ランナーも体験した桑島さん

第3章

新宿区における 東京2020大会期間中の取組み

第3章 新宿区における東京2020大会期間中の取組み

1 聖火リレー

(1) 東京2020オリンピック聖火リレー

東京都内の聖火リレーは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴うまん延防止等重点措置及び緊急事態宣言により公道走行は中止となりました（大島町以外の島しょ地域除く）。新宿区では、7月23日に東京都庁都民広場で無観客での点火セレモニーが開催されました。

東京2020オリンピック聖火リレー 点火セレモニー(東京都15日目)

主催	東京2020組織委員会、東京都聖火リレー実行委員会
日時	令和3年7月23日(金・祝) 11時10分～13時
会場	東京都庁都民広場(新宿区西新宿2-8-1) ※無観客開催
主なプログラム	自治体代表挨拶(新宿区長)、トーチ点火、トーチキス、フォトセッション、ブルーインパルス飛行 ほか



トーチキスの様子
(星奈津美氏(左)、古賀淳也氏(右))



フォトセッション

～東京2020オリンピック聖火ランナーインタビュー～

聖火ランナーに参加された感想や、聖火リレーの経験を今後どのように活かしたいかなどについて、インタビューしました。

岡村 享一（おかむら きょういち）さん

区立新宿西戸山中学校 令和3年3月卒業

令和2年8月 第66回全日本中学校通信陸上競技東京都大会3,000m 第4位

令和2年12月 第1回東京クロスカントリー大会3,000m 第3位

大河ドラマ「いだてん」で聖火リレーのすばらしさを知り、その2年後に、まさか自分が聖火ランナーになるとは思っていませんでした。7月23日の聖火リレー当日は、本当に夢のような時間で、今まで自分が生きてきた中で一番の緊張をしました。新宿区の代表として聖火リレーに参加できたことを大変光栄に思います。

今回の聖火リレーでの経験を今後の陸上競技への励みとして、支え合う心とは、認め合う心とは、高め合う心とは、何かを考えながら競技に活かしていきたいです。将来、聖火リレーで参加したオリンピックに、今度は、選手として出場できるように励みます。そして、マラソンで金メダルを獲得できるよう、精進していきます。



(2) 東京2020パラリンピック聖火リレー

東京都では、都内62全区市町村において採火式が行われ、8月20日に東京都庁都民広場で行われた都内集火式で、パラリンピック聖火の東京都の火となりました。

緊急事態宣言により都内の公道走行は中止となりましたが、点火セレモニーや聖火ビジットが都内各所で行われました。

新宿区では、8月20日に採火式、聖火ビジットを実施しました。また、東京都障害者総合スポーツセンター（北区）で行われた点火セレモニーでは、新宿区内を走行予定だった聖火ランナーがトーチキスをつなぎました。

① 採火式

新宿区の採火式では、新宿区役所で灯り続けている「平和の灯」から採火を行いました。「平和の灯」は、昭和63年に広島市平和記念公園内にある「平和の灯（ともしび）」と長崎市平和公園内にある「誓いの火」から分火した火を合わせたものです。

採火式には、新宿区障害者団体連絡協議会、(福)新宿区障害者福祉協会の方々や、新宿区の平和啓発事業で、被爆地である広島市・長崎市へ毎年交互に派遣を行っている「親と子の平和派遣」に参加した子どもたちにも出席していただきました。

東京2020パラリンピックを契機として、未来を担う若い世代の方々とともに、誰もがいきいきと活躍できる共生社会の実現を目指していくという思いを「新宿区の火」に込めました。

新宿区の採火式	
主催	新宿区
日時	令和3年8月20日(金) 9時30分～9時50分
会場	新宿区役所本庁舎1階 平和の灯前
出演者	新宿区障害者団体連絡協議会、(福)新宿区障害者福祉協会、平和派遣事業に参加の子どもたち
主なプログラム	区長挨拶、平和の灯から採火及びランタンへの点火、子ども代表挨拶、フォトセッション



平和の灯から採火した火をランタンに点火しました。



新宿区の火。東京2020パラリンピック聖火の一部となりました。

② 聖火ビジット

聖火ビジットは、採火された聖火をランタンなどに灯し、地域のゆかりの地などを訪問、展示するものです。新宿区では、東京都の火から分火した聖火が、区内の4つの福祉施設（あゆみの家、高田馬場福祉作業所、新宿生活実習所、障害者福祉センター）を巡りました。

当日は、各施設をライブ映像でつなぎ、一斉に聖火をランタンに灯しました。その後、ランタンに灯った聖火の展示やセレモニーが各施設で行われ、施設に通所されている方々やスタッフなどが聖火の到着を盛大に祝いました。

障害者福祉センターでは、オリジナルの聖火台を設けました。聖火台の周りは、センター屋上の養蜂事業をPRするハチミツの瓶詰めのほか、ウォールアート作品や新宿福祉作業所の等身大アートで華やかに彩られました。

新宿区の聖火ビジット	
主催	新宿区
日時	令和3年8月20日(金) 14時頃～17時頃
会場	あゆみの家、高田馬場福祉作業所、新宿生活実習所、障害者福祉センター
主なプログラム	すべての施設で15時に一斉にランタンに聖火を点火、セレモニー、作品展示



あゆみの家では、独自の衣装とトーチで聖火の到着を盛り上げました。



障害者福祉センターでのセレモニーでは、聖火の到着を会場の皆で楽しく祝いました。



障害者福祉センターのセレモニー会場には、福祉作業所の等身大アートが飾られました。



各施設をリモートでつなぎ、ランタンに灯った様子を生中継で一緒に楽しみました。

③ 点火セレモニー

東京都内の聖火リレーは、オリンピックと同様に公道走行が中止となり、都内各所で点火セレモニーが開催されました。新宿区内で聖火リレーが行われる予定だった8月20日には、東京都障害者総合スポーツセンターで点火セレモニーが開催され、新宿区を走行予定だったランナーがトーチキスをつなぎました。

東京2020パラリンピック聖火リレー 点火セレモニー(東京都1日目)	
主催	東京2020組織委員会、東京都聖火リレー実行委員会
日時	令和3年8月20日(金) 14時50分頃～15時15分頃
会場	東京都障害者総合スポーツセンター(北区十条台1-2-2) ※無観客開催
主なプログラム	自治体代表挨拶(新宿区長)、トーチ点火、トーチキス、フォトセッション ほか



聖火リレーは、3人1組で行われました。



トーチキスの様子

～東京2020パラリンピック聖火ランナーインタビュー～

聖火ランナーに参加された感想や、所属しているランニングクラブでの今後の目標などについて、インタビューしました。

酒井 悠真(さかい ゆうま)さん

区立高田馬場福祉作業所 在籍

平成25年、27年～令和元年 ねりま光が丘ロードレース10kmの部 出場

平成30年、令和元年 中野ランニングフェスタ10kmラン 出場

当日、朝起きた時の気持ちは(緊張せずに)ふつうでした。聖火リレーの会場を見た時は、気持ちが良かったです。走る前に家族からは、「楽しく頑張ってね」と言葉をかけてもらいました。

(聖火リレー本番で)トーチを持った時は、わくわくした気持ちになり、(一緒のグループになった方達と)3人で一緒に走れて良かったです。

今後も永く(現在所属している)ランニングクラブで走り続けたいと思っています。そして、今までは10キロのロードレースに参加していたので、いつの日かハーフマラソンに出場してみたいです。

【聖火リレーで伴走した区立高田馬場福祉作業所 安藤支援員より】

走る前までは、いつもの酒井さんで冷静でした。トーチを持って走っている時は、楽しそうな表情で、充実した一日を過ごせたと思います。途中のポーズも周りの方が、酒井さんが決めたピースポーズを取り入れてくれて、本人も嬉しそうでした。



2 子どもたちに東京2020大会との関わりを創出

(1) 子どもたちによる応援タペストリー

区立小学校・中学校・特別支援学校全40校の児童・生徒が、東京2020オリンピック・パラリンピックに出場する選手をはじめ大会に関わる人々を応援する気持ちを込めて熱心にデザインを考え、タペストリーを制作しました。各校でオリンピック応援タペストリーとパラリンピック応援タペストリーを1点ずつ制作し、全80作品となりました。

大会期間中に開催を予定していたコミュニティライブサイト（競技中継のパブリックビューイングを主とするイベント）において一斉に展示する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のためイベントが中止となったことから、新宿スポーツセンターや特別出張所等の区施設で展示を行いました。

さらに、観光案内所等のデジタルサイネージでの放映や広報新宿への掲載を通じて、多くの方々に子どもたちの想いがこもった作品をご覧いただきました。

① 新宿スポーツセンターにおける作品展示

【展示期間】 令和3年7月21日(水)～9月5日(日)

【展示作品】 東京2020オリンピック応援タペストリー 40作品



② 各特別出張所等区民施設における作品展示

【展示期間】 令和3年7月21日(水)～9月5日(日)

【展示作品】 東京2020パラリンピック応援タペストリー 40作品
(各所2～6作品を展示)



四谷特別出張所(1階)



榎町地域センター(2階)

③ 新宿観光案内所屋外サイネージ「K-vision」における作品放映

【放映期間】 令和3年7月23日(金)～9月30日(木)

【放映作品】 東京2020オリンピック及びパラリンピック応援タペストリー
全80作品(5分に1回程度)



④ 新宿駅東西自由通路デジタルサイネージにおける作品放映

【放映期間】 オリンピック応援40作品：令和3年7月19日(月)～8月8日(日・祝)

パラリンピック応援40作品：令和3年8月23日(月)～9月5日(日)

【放映作品】 東京2020オリンピック及びパラリンピック応援タペストリー
全80作品 (1時間に4回程度)



撮影協力：東日本旅客鉄道(株)

⑤ 広報新宿への記事掲載

【掲載号】 オリンピック応援40作品：令和3年7月25日号

パラリンピック応援40作品：令和3年8月25日号



広報新宿7月25日号 7面



広報新宿8月25日号 4面

(2) デジタルサイネージを活用したパフォーマンス動画の放映

区内の学校や団体から東京2020オリンピック・パラリンピックを応援する動画を募集し、区施設のデジタルサイネージを活用して放映することにより、大会期間中のさらなる気運の盛り上げを図りました。

大会期間中に開催予定だったコミュニティライブサイトでは、競技中継の合間に、区内の学校や団体によるステージ発表でイベントを盛り上げる予定でした。イベントは中止となりましたが、デジタルサイネージでの放映を通じて、ステージ出演を予定していた団体の皆さんによる発表の機会の創出につながりました。

【動画放映の概要】

放映日程	令和3年7月21日(水)～9月30日(木)
放映場所	区役所本庁舎、新宿コズミックセンター、新宿スポーツセンター、特別出張所10所〔計13施設〕
参加団体 (作品内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・新宿西戸山中学校（書道パフォーマンス、吹奏楽演奏） ・目白大学QUAKES（チアリーディング） ・桜美林大学沖縄エイサー部桜風エイサー琉球風車（沖縄エイサー演舞） ・慶應義塾大学チアリーダーズUNICORNS（チアリーディング） ・牛込一輪車クラブ（一輪車パフォーマンス） ・西戸山トワラーズ（バトントワーリング演技） ・NPO法人カポエイラ・テンポ（カポエイラ演武） ・東京消防庁音楽隊（金管バンド演奏及びフラッグパフォーマンス） 〔計9作品〕



吹奏楽演奏



書道パフォーマンス



バトントワーリング演技



チアリーディング

(3) 新宿オリジナルクールネックタオルの製作・配布

東京2020大会の競技を観戦する子どもたちの暑さ対策等として、新宿オリジナルクールネックタオルを製作しました。大会後のレガシーとなるよう、デザインには、新宿区出身の東京2020エンブレムを制作した野老朝雄（ところ あさお）氏による「新宿小寄紋」を使用しました。

タオルは、区内の保育園、幼稚園、子ども園や区立小・中・特別支援学校等の子ども達に配布しました。子どもたちには、パラリンピックの競技観戦時や学校などでの観戦時に活用していただきました。



「新宿小寄紋」デザインを使用しました。



子どもたちは国立競技場にクールネックタオルを持参して応援しました。

(4) 学校連携観戦プログラム

区立小学校（第4学年～第6学年）、中学校（全学年）のうち、参加を希望した児童・生徒（計4,389名）が国立競技場での観戦に参加しました。

観戦に際しては、会場までの貸切バスによる移動、競技観戦時の座席間隔を十分に取るなど、感染症対策を徹底しました。また、遮光ボードや熱中症対策グッズなど、熱中症対策も十分に講じたうえで観戦を行いました。

徹底した感染症対策の中、声援の代わりに大きな拍手を送ったり、事前に選手に向けて準備した応援メッセージを記入したボードを掲げたりと、子どもたちは熱心に競技を観戦し、選手を応援しました。わずかな時間でもパラリンピックを会場で観戦できたことは、子どもたちにとって大きな財産となりました。



競技を集中して観戦していました。(津久戸小学校)



英語で応援メッセージ(落合第四小学校)



中学生は、参加できなかった生徒のためにタブレットで画像を撮り、後日学校でプレゼンテーションしました。(落合中学校)



参加した子どもたちの感想

選手がすごくかっこいい！
見に来るのを楽しみにしていたよ。

直接選手を応援できるから競技場に入れて嬉しい。とても良い思い出になりました。

選手に見えるように英語で応援メッセージを書いたよ。来られてすごく嬉しい。

テレビでは見るのができない、スタッフやボランティアにより大会運営が支えられていることが実感できた。

3 難民チーム事前キャンプ

新宿区は、区内にある早稲田大学と協力して東京2020オリンピック競技大会に出場した難民チームの事前キャンプ受入れを行いました。難民チームは、紛争や迫害により故郷を追われた難民アスリートで構成された選手団です。

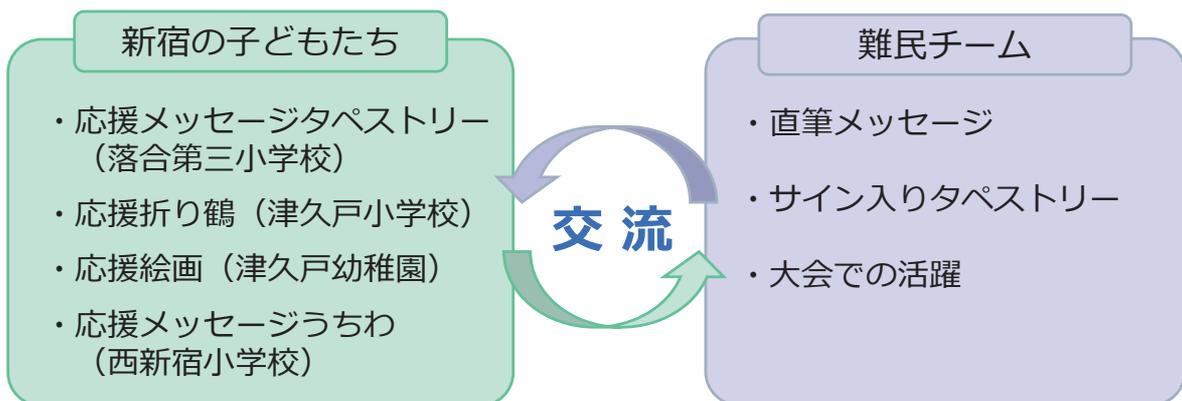
受入れにあたっては、区民の安心・安全に配慮し、区民や大学関係者と選手団との動線の分離、練習場や宿泊施設などからの外出禁止、アテンドスタッフの帯同、練習会場等への移動時の専用車両の使用など、選手団側が新型コロナウイルス感染症対策を徹底するよう調整を図りました。

また、感染の拡大防止の観点から、区民と選手団との直接の交流は叶いませんでしたが、出身国を離れた先で夢に向かって努力し、大会への参加を勝ち取った選手たちを応援するため、区立小学校の児童や幼稚園の園児から応援メッセージなどを寄せていただきました。選手団からは、直筆のメッセージやサインをいただくなど間接的な交流が実現しました。この交流を通じて、子どもたちが難民について興味を持ち、学ぶきっかけとなりました。

【受入れの概要】

実施場所	早稲田大学早稲田キャンパス・戸山キャンパス
実施期間	令和3年7月12日(月)～7月27日(火)
来日選手	13名(コーチ・スタッフ14名) 陸上、柔道、テコンドー、カヌー(スプリント)、空手(組手)、レスリング

【子どもたちと難民チームとの交流】



児童による応援折り鶴(津久戸小学校)



Ahmad Yamen Alikaj選手(柔道)(左)と
Saeid Fazloulou選手(カヌー)(右)

新型コロナウイルスの感染拡大による事業の縮小・中止

◆ 東京2020大会コミュニティライブサイト in 新宿区 (中止)

- ▶ 東京2020大会期間中、新宿駅周辺で大型スクリーンを活用した競技中継をメインとする「コミュニティライブサイト」の実施に向けて準備を進めてきましたが、令和3年6月下旬、東京都が都内で実施を予定していたライブサイトの中止を決定したことを受け、区主催の同イベントも中止としました。
- ▶ このイベントは、区民と一緒に観戦・応援して大会の感動と興奮を共有するとともに、スポーツ体験や区民団体によるステージ発表、子どもたちの作品展示、地域の魅力の発信、障害理解の推進など、これまで区が大会に向けて取り組んできた気運醸成の集大成となるものでした。
- ▶ イベントを一緒に盛り上げていただく予定だったパフォーマンスや作品は、大会期間中に区施設での放映・展示を通じて、大会気運の盛り上げにつなげました。



コミュニティライブサイトのイメージ

◆ 東京五輪音頭-2020-踊りの発表 (中止)

- ▶ 平成30年度から開催してきた東京五輪音頭-2020-講習会には、多くの区民の方に参加していただきました。講習会を通じて習得した東京五輪音頭-2020-をコミュニティライブサイトで披露していただく予定でしたが、イベントの中止により実現に至りませんでした。

◆ 聖火リレーの公道走行 (中止)

- ▶ オリンピック聖火リレーでは、新宿住友ビル三角広場での盛大なセレモニーでスタートし、新宿駅周辺約8.6kmと神楽坂の一部区間を聖火ランナーが走行する計画でした。公道走行の中止により、ゴール地点となっていた東京都庁都民広場での点火セレモニーのみの実施となりました。



中止となったオリンピック聖火リレーのルート (新宿駅周辺) ▶

- ▶ パラリンピック聖火リレーでは、東京都庁都民広場をスタートし、歌舞伎町までの約1.5kmを聖火ランナーが走行する予定でした。ゴール地点のシネシティ広場ではセレモニーも予定していましたが、公道での実施は中止となりました。

◆ 新宿2020サポーターの活動 (縮小)

- ▶ コミュニティライブサイトでの会場運営や、聖火リレーセレモニーの運営など、多くの新宿2020サポーターの方々にご活躍いただく予定でしたが、イベントの中止等により、活動の機会は大幅に縮小することとなりました。

◆ 新宿パレード2020〔主催：新宿パレード2020実行委員会〕 (中止)

- ▶ 令和2年3月29日、新宿通りで、新宿ゆかりの著名人やアスリート、区内のみこし等が集結し、スポーツや音楽、踊り等により、盛大に東京2020大会の気運を盛り上げ、開催地である新宿の魅力を広く発信するイベント、「新宿パレード2020」の開催を予定していましたが、中止となりました。



第4章

新宿区における 東京2020大会のレガシー

第4章 新宿区における東京2020大会のレガシー

◇大会を契機とした取組みを通じたレガシーの創出

IOCが定めるオリンピック憲章において「有益なレガシーを開催都市と開催国に残す」ことが求められているように、東京2020オリンピック・パラリンピックを一過性のイベントとすることなく、有形、無形のレガシーを数多く残していくための取組みが非常に重要です。

このため、第2章及び第3章でご紹介したとおり、新宿区においても大会後を見据えつつ、ハード・ソフトの両面にわたる多様な取組みを、大会開催を契機として推進してきました。また、これらの取組みの推進にあたっては、区民の皆さん、地域団体、学校、事業者など多くの主体の参画を得ながら「オール新宿」で取り組んできました。

こうして構築してきた取組みやつながりが新宿区における東京2020大会のレガシーとなるよう、今後のさらなる区政の発展につなげていくとともに、次世代へ継承していきます。



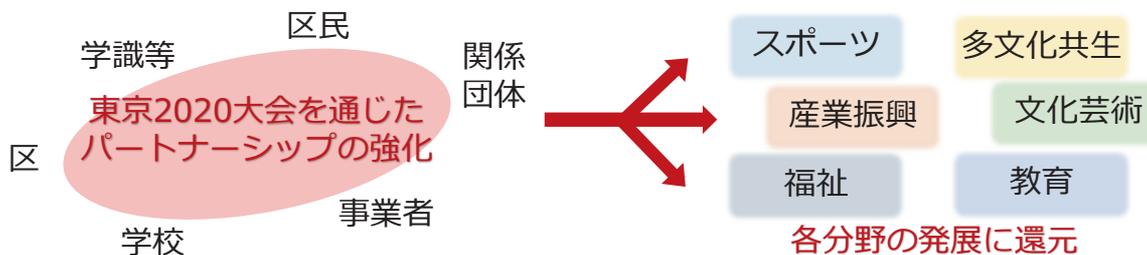
1 各主体間の連携

大会を契機とした取組み（まとめ）

- 「新宿区東京2020大会区民協議会」を設置し、区民・関係団体・区における情報の共有及び連絡調整を行ったほか、スポーツの普及、ボランティア意識の醸成、文化芸術の振興、障害理解などさまざまな視点から、大会の気運醸成に向けた検討を行いました。
- 区主催のカウントダウンイベントでは、多くの団体、学校、企業が主体的に参画したことにより、主体間の連携が生まれ、効果的な事業推進につながりました。

レガシーと今後の取組み

東京2020大会に関する取組みを通じて、多くの主体の参画・連携につなげることができました。今後は、このパートナーシップやノウハウをスポーツ、福祉、教育、産業振興、文化芸術、多文化共生など、各分野における発展に還元していきます。



2 参加・体験

大会を契機とした取組み（まとめ）

- スポーツ体験などの各種取組みを通じて、子どもたちを中心に多くの区民の皆さんがオリンピック・パラリンピアン等のトップアスリートと交流しました。特に、パラスポーツの体験の機会の創出や普及への取組みを通じて、パラスポーツの認知度向上や障害理解の促進を図りました。
- 学校連携観戦プログラムによるパラリンピック競技観戦などを通じて、多くの子どもたちに大会と関わる機会を創出しました。また、パラリンピック聖火の採火式や聖火ビジットなど、将来にわたり記憶に残る催しを実施しました。

レガシーと今後の取組み

次世代を担う子どもたちにオリンピック・パラリンピックの精神を継承

子どもたちがアスリートとの交流を通して得た気づきや、大会の観戦を通じて得た学びは、子どもたちにとってかけがえのないものです。こうした記憶をレガシーとして、次世代に継承していきます。



将来にわたって区民の記憶に

東京2020大会をテーマとした写真展のほか、大会で使用されたボッチャの床シートの活用などを通じて、大会の記憶や感動を共有していきます。



写真展イメージ

スポーツ体験イベントの継続

今後も子どもたちや区民の皆さんを対象としたスポーツ体験教室を実施し、スポーツの普及に取り組みます。



3 装飾・展示

大会を契機とした取組み（まとめ）

- 大会気運を盛り上げるため、区役所本庁舎をはじめとする区施設の壁面や出入口等を、大会エンブレムなどを活用してラッピングしました。
- 子どもたちを対象に募集した絵画コンクールの作品を活用し、配電地上機器のラッピングを行いました。また、区立学校等には、陸上競技のスピードや跳躍力を実感できるように、陸上競技シルエットシールを設置しました。
- 東京2020マスコット像や東京2020聖火リレートーチなど東京2020大会を象徴する物品の展示を行っています。

レガシーと今後の取組み

子どもたちの取組みや学びを有形のレガシーとして

区立学校等の陸上競技シルエットシールは、引き続き有形のレガシーとして残し、各学校等で活用します。配電地上機器のラッピングは、令和6年度まで掲出を続け、子どもたちの熱い想いを発信し続けます。



大会の感動と記憶を街に刻み、次世代へ引き継ぐ

東京2020マスコット像や東京2020聖火リレートーチ等の展示を通じて、大会の記憶と感動を引き継いでいきます。

また、パラリンピック聖火の採火式の記憶を伝える銘板を制作し、区役所本庁舎に設置します。



聖火リレートーチの展示



銘板（イメージ）

4 情報発信

大会を契機とした取組み（まとめ）

- 区内14か所にデジタルサイネージを設置し、東京2020大会開催までのカウントダウンや、気運醸成イベントの写真等の放映を通じて、大会のPRを行いました。
- ホームページや広報新宿などを通じて、東京2020大会の公式情報や、大会の開催に向けた区の取組みなどを広く周知しました。

レガシーと今後の取組み

デジタルサイネージを地域情報の発信等に活用

東京2020大会のPRを行ってきたデジタルサイネージは、特別出張所における地域情報の発信や、スポーツセンター等における施設の利用案内に活用します。



5 ボランティア

大会を契機とした取組み（まとめ）

- 平成31年5月に新宿区の独自ボランティア「新宿2020サポーター」を創設し、500名の方に登録していただきました。
- 感染症の影響による事業の中止等に伴い、活躍の機会を十分に創出できませんでした。のべ126名の方に気運醸成イベント等で活動していただきました。
- 東京2020組織委員会が募集する「フィールドキャスト」及び東京都が募集する「シティキャスト」の制度周知を図りました。

レガシーと今後の取組み

大会に向けたボランティアマインドを活かして地域での活躍へ

区内には、身近な地域で手軽に始められるさまざまな地域活動やボランティア活動があります。新宿2020サポーターで培ったボランティアマインドを、新宿区や新宿未来創造財団、新宿区社会福祉協議会が募集する地域活動の中で活かしていただけよう促していきます。



6 地域

大会を契機とした取組み（まとめ）

- 平成31年3月に設立した「新宿区東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画基金」を原資とした助成事業により、東京2020大会の気運醸成に資する区民の皆さんの自主的な活動の実現につながりました。
- 令和元年度には、区内10地区において、各地区の特色を生かした大会気運醸成事業を実施しました。

レガシーと今後の取組み

大会への想いを地域全体で共有し、一体感を創出

大会後も東京五輪音頭-2020-を地域の祭りで活用して、大会のレガシーを地域全体で共有していただくため、東京五輪音頭-2020-のCDをすべての町会・自治会に配布しました。

また、大会後における地域の自主的な取組みについては、地域コミュニティ事業助成を通じて支援します。



区民参画基金の残額はスポーツ施設の整備に活用

大会の終了に伴い、令和3年度で東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画基金は役目を終えます。基金の残額は「新宿区スポーツ施設整備基金」への移行を予定しており、スポーツ施設の整備に役立てられます。

7 区の事業推進

大会を契機とした取組み（まとめ）

- 新宿区第一次実行計画（平成30年度～令和2年度）及び第二次実行計画（令和3年度～令和5年度）において、スポーツ、健康、福祉、文化、まちづくり、教育等の各分野における関連事業を、東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業と位置付けて推進しています。
- 平成29年度～令和3年度で延べ97の区の事業について東京2020参画プログラム（公認プログラム）の認証を取得し、大会の気運醸成を推進しました。

レガシーと今後の取組み



SDGsの推進

第二次実行計画に基づく
取組みの継続・発展

スポーツ

東京2020大会によるスポーツへの関心の高まりを活かし、さらなるスポーツ環境の整備に取り組みます。スポーツコミュニティの推進や、新宿区スポーツ施設整備基金を活用したスポーツ施設の整備等を実施します。



健康

生涯にわたり心身ともに健康で暮らせる健康寿命の延伸のために、地域社会全体で健康づくりへの意識を高めます。



しんじゆく
健康フレンズ

文化・観光

新宿フィールドミュージアム等を引き続き開催し、新宿のまちの魅力を創造・発信します。

また、新宿の持つ多様な魅力を提供して回遊性を高め、何度も訪れたいくなる国際観光都市・新宿を目指します。



福祉

共生社会の実現に向けて、障害の特性に応じたコミュニケーション支援等の推進や区民への啓発活動等を行い、障害を理由とする差別の解消を推進します。



まちづくり

主要駅や国立競技場周辺等に続き、道路のバリアフリー化や環境に配慮した整備を進めます。

また、区民等のユニバーサルデザインまちづくりに対する理解を深めていきます。新宿中央公園の魅力向上等についても、引き続き取り組みます。

教育

令和4年度以降も大会後のレガシーとして、以下を経常事業にて実施します。

- ・ 伝統文化・芸術等を学ぶ機会の充実
- ・ 障害者理解教育の推進
- ・ スポーツギネス新宿の推進
- ・ 英語キャンプの実施

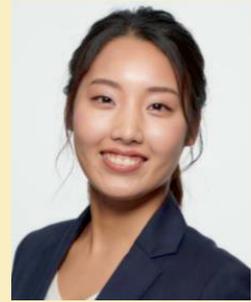


※新宿区第二次実行計画（令和3年1月策定）をもとに作成

～東京2020大会に向けた取組みを振り返って～

三井 梨紗子（みつい りさこ）さん

リオデジャネイロ2016オリンピック シンクロナイズドスイミング銅メダリスト
新宿区スポーツ栄誉賞第1号
新宿区東京2020大会区民協議会特別アドバイザー



リオデジャネイロ2016大会には、選手として出場しました。新宿区の皆さんにもさまざまなサポートや応援をしていただき、オリンピックの舞台に立てたことは、私にとって大きな財産となっています。

そうした経験を活かし、現役引退後は、新宿区東京2020大会区民協議会の特別アドバイザーを務めさせていただくとともに、東京2020大会に向けた区主催の気運醸成イベント等に積極的に参加させていただきました。こうした取組みを通じて、区民の皆さんや子どもたちの思いに触れ、改めてスポーツのすばらしさを実感することができました。

東京2020大会に向けては、新型コロナウイルス感染症の影響により様々なイベントが中止になるなど、うまくいかないことの方が多かったかも知れません。また、コロナ禍で大会そのものが開催できないのでは、という声も数多くありました。

しかし、そういった困難な状況においても、多くの人々の支えあい、助け合いにより、大会が無事に開催されたことを本当に嬉しく思います。この大会の感動や人々の絆は、区民の皆さんの生涯の記憶に残るとともに、子どもたちを中心に、将来にわたってレガシーとして継承されていくと思います。

これからも、スポーツを通して、喜びや感動を伝えていきたいです。

～東京2020大会のその先へ～

新宿区内で事前キャンプを行い、東京2020オリンピック競技大会に出場する難民選手団の選手たちを応援するため、落合第三小学校の子どもたちから応援メッセージタペストリーをプレゼントしました。

**新宿区立落合第三小学校
清水 仁（しみず ひとし）校長**



悩んでいた。大会延期、開催さえ危ぶまれる中、オリパラ教育展開への葛藤。大会直前の難民選手団への応援依頼に「これこそレガシーになる」と直感した。限られた時間で1年生から6年生まで全員が本気で応援に参加できるよう、難民や選手団についてのプレゼン資料と展開計画を作成し、教職員、子どもたちにそれぞれ説明をした。全員、快く協力してくれた。一人一台のタブレット端末が、ここで効果を発揮した。5年生は、難民や難民選手団について自発的に調べ、「選手の母国語、アラビア語で応援しよう」「難民の人たちに服を送ろう」と、行動を起こした。応援のフラッグに書かれたアラビア語のエール。服を集めて送る方法を考え、寄付を募り、自分たちでやり遂げた子どもたち。難民選手団やIOCから感謝のメッセージをいただいたことは、子どもたちの自信と誇りになった。「参加することに意義がある」子どもたちの心に火が灯った。

資料集

■ 新宿区東京 2020 大会区民協議会設置要綱・委員名簿・開催実績

新宿区東京 2020 大会区民協議会設置要綱

(設置)

第1条 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「大会」という。）に向けて、区民、関係団体・機関及び新宿区（以下「区」という。）の間の情報の共有及び連絡調整を強化するとともに、地域の自主的な取組を促進することにより、これらのものが一体となって地域の発展に取り組んでいくため、新宿区東京 2020 大会区民協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(協議事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について協議を行うものとする。

- (1) 関係者間における大会に関連する情報の共有及び連絡調整に関すること。
- (2) 大会の開催に向けた気運の醸成に資する区民及び団体等の取組に関すること。
- (3) 大会の開催に向けた区の事業の推進に関すること。

(構成)

第3条 協議会は、区長及び次に掲げる者につき区長が委嘱し又は任命する者をもって構成する。

- (1) 学識経験を有する者
 - (2) 区内各種団体の構成員
 - (3) 区の審議会等の構成員
 - (4) 区議会議員
 - (5) 区の職員
 - (6) 前各号に掲げるもののほか、協議会の運営に必要と認められる者
- 2 区長は前条に定める協議事項に知見を有する者を委嘱することができる。

(座長及び副座長)

第4条 協議会に座長及び副座長を置く。

- 2 座長及び副座長は、協議会の構成員（以下単に「構成員」という。）の互選により定める。
- 3 座長は、協議会を主宰する。
- 4 副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるとき又は座長が欠けたときは、その職務を代行する。

(会議)

第5条 協議会は、座長が招集する。

- 2 協議会は、公開を原則とする。ただし、座長が必要と認めるときは、非公開とすることができる。

(構成員以外の者の出席等)

第6条 座長は、必要があると認めるときは、構成員以外の者の出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は構成員以外の者に必要な書類の提出を求めることができる。

(部会)

第7条 協議会は、部会を置くことができる。

2 部会は、座長の指名する構成員をもって構成する。

3 部会に部会長を置き、当該部会に属すべき構成員のうちから座長がこれを指名する。

4 部会長は、部会を主宰し、並びに部会の検討の経過及び結果を協議会に報告する。

5 第5条及び前条の規定は、部会について準用する。

(庶務)

第8条 協議会の庶務は、地域振興部東京オリンピック・パラリンピック開催等担当部東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課が担当する。

(協議会の廃止)

第9条 協議会は、令和4年3月31日までに廃止するものとする。

(委任)

第10条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会が別に定める。

附 則

この要綱は、平成29年5月2日から施行する。

附 則 (令和3年3月5日 2新地東東第290号)

この要綱は、令和3年3月8日から施行する。

新宿区東京2020大会区民協議会委員名簿（平成29年度～令和3年度）

団体名等	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1 委員					
早稲田大学	村岡 功				
目白大学	鈴木 章生				
宝塚大学	渡邊 哲意				
新宿区町会連合会	山田 和男				
新宿区町会連合会	田中 稔				
新宿区商店会連合会	武山 昭英				
東京商工会議所新宿支部	馬場 章夫				
東京青年会議所新宿区委員会	久保田 悠介	有村 尚樹	清水 紘武	小勝 雄太	
新宿観光振興協会	島田 治	古川 哲也			
新宿未来創造財団	佐藤 陽一	青山 豊			
新宿区体育協会	安齋 正義				
新宿区社会福祉協議会	吉田 淳子	丸山 由美子			
新宿区障害者団体連絡協議会	今井 康之				
新宿区立幼稚園PTA連合会	金谷 ゆか	渥美 淳子	小林 優子	宮守 美幸	ひがし 東 紗輝
新宿区立小学校PTA連合会	海東 和貴	小川 定弘		西村 大空	あずま 東 章司
新宿区立中学校PTA協議会	早川 美奈子	勝部 和彦	鈴木 和成	野口 卓也	山室 由実
産業振興会議委員	太田 正一				
文化芸術振興会議委員	的場 美規子				
多文化共生まちづくり会議委員	李 承珉				安藤 博子
スポーツ環境会議委員	山本 芳裕			金子 和子	
新宿区議会議長	佐原 たけし	吉住 はるお			桑原 ようへい
新宿区議会オリンピック・パラリンピック・文化観光等特別委員会委員長	久保 広介	鈴木 ひろみ			
新宿区長	吉住 健一				
新宿区副区長	寺田 好孝				
新宿区副区長	鈴木 昭利				
新宿区教育長	酒井 敏男				
2 特別アドバイザー					
リオデジャネイロ2016大会 シンクロナイズドスイミング銅メダリスト、新宿区スポーツ栄誉賞第1号	三井 梨紗子				

新宿区東京2020大会区民協議会開催実績（平成29年度～令和3年度）

平成29年度

回数	第1回
日時	平成29年7月18日(火) 15時~17時
会場	新宿区役所本庁舎 5階大会議室
出席者	23名
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 新宿区東京2020大会区民協議会委員の委嘱 2 新宿区東京2020大会区民協議会座長及び副座長の選出 3 部会の設置及び部会長の指名 4 これまでの区の実績 5 今後の事業展開

回数	第2回
日時	平成29年11月21日(火) 10時~12時10分
会場	新宿区役所本庁舎 5階大会議室
出席者	24名
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 新宿区東京2020大会区民協議会合同部会の報告 2 東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成に関する区の実績 3 アンケート結果

平成30年度

回数	第1回
日時	平成30年5月14日(月) 10時~11時
会場	新宿区役所本庁舎 5階大会議室
出席者	25名
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 新委員の紹介 2 区からの情報提供 3 今後の会議の進め方

回数	第2回
日時	平成30年9月11日(火) 10時~11時55分
会場	新宿区役所本庁舎 5階大会議室
出席者	24名
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 部会における検討結果の報告 2 区からの情報提供

回数	第3回
日時	平成30年12月27日(木) 10時~11時20分
会場	新宿区役所本庁舎 5階大会議室
出席者	24名
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 大会500日前記念イベントについて 2 大会気運の醸成に関する新宿区の実績 3 区からの情報提供

令和元年度（平成31年度）

回数	第1回
日時	令和元年5月21日(火) 10時～11時50分
会場	新宿区役所本庁舎 5階大会議室
出席者	22名
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 新委員の紹介 2 大会500日前記念イベント（報告） 3 大会気運の醸成に関する区の実践 4 部会での検討 5 区からの情報提供

回数	第2回
日時	令和元年9月12日(木) 10時～11時20分
会場	新宿区役所本庁舎 5階大会議室
出席者	21名
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 部会の報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 東京2020大会普及啓発部会 (2) ボランティア部会 (3) 総括 2 区からの情報提供

回数	第3回
日時	令和2年1月27日(月) 14時30分～15時50分
会場	新宿区役所本庁舎 5階大会議室
出席者	24名
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 大会250日前記念イベント 2 新宿パレード2020 3 大会気運の醸成に関する新宿区の実践 4 区からの情報提供

令和2年度

回数	第1回 ※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書面開催
日時	令和2年6月11日(木)
議題	1 東京2020大会の延期等に伴う区の実践気運醸成に向けた実践の変更

回数	第2回 ※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書面開催
日時	令和2年10月30日(金)
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和2年度新宿区東京2020大会区民協議会委員の紹介 2 区からの情報提供

回数	第3回
日時	令和3年3月29日(月) 14時～15時
会場	新宿歴史博物館 2階講堂
出席者	22名
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 新委員の紹介 2 大会気運の醸成に関する新宿区の実践 3 区からの情報提供
備考	会議後、新宿歴史博物館所蔵資料展「1964オリンピックと新宿」を見学

令和3年度

回数	第1回
日時	令和3年7月9日(金) 10時～11時
会場	新宿区役所本庁舎 5階大会議室
出席者	22名
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 新委員の紹介 2 大会気運の醸成に関する区の実組み 3 区からの情報提供 4 その他

回数	第2回
日時	令和3年10月25日(月) 13時30分～15時
会場	新宿コズミックセンター 3階大会議室
出席者	23名
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 東京2020大会期間中及び終了後の区の実組みについて 2 東京2020大会に係る区の実組みの総括について 3 区からの情報提供

■ 東京2020公認プログラム認証取得事業 実施状況一覧（平成29年度～令和3年度）

平成29年度

No.	アクション名	分野	担当課
1	新宿区パラスポーツフェスタ in 新宿コズミックセンター	スポーツ・健康	オリパラ担当課
2	東京2020大会に向けて 映画「東京オリンピック」上映会	教育	オリパラ担当課
3	新宿フィールドミュージアム2017	文化	文化観光課
4	和を伝えるプログラム2017	文化	文化観光課
5	新宿区東京2020大会区民協議会	オールジャパン・世界への発信	オリパラ担当課
6	新宿クリエイターズ・フェスタ2017 アーティスト展	文化	オリパラ担当課
7	ボッチャを楽しもう！in 新宿	スポーツ・健康	生涯学習スポーツ課
8	しんじゅくシティウォーク2017	スポーツ・健康	健康づくり課
9	シンポジウム「新宿サンクチュアリ2020 ～2020年に向けて発信したい文化芸術の魅力～」	文化	文化観光課
10	新宿区立漱石山房記念館開館記念イベント 「漱石と日本、そして子どもたちへ」	文化	文化観光課
11	秋の文化体験プログラム	文化	文化観光課
12	東京2020オリンピックに向けた1000日前記念イベント 今日からみんなアスリート★子どもスポーツデーin新宿コズミックセンター	スポーツ・健康	オリパラ担当課
13	パラスポーツチャレンジ in 新宿	スポーツ・健康	生涯学習スポーツ課
14	フレッシュ名曲コンサート	文化	文化観光課
15	新春名作狂言の会	文化	文化観光課
16	区民合唱団演奏会	文化	文化観光課
17	初めてのバレエ鑑賞	文化	文化観光課
18	区内在住芸術家演奏会	文化	文化観光課
19	エルワン・ル・ブラド クリスマスコンサート	文化	文化観光課
20	パイプオルガンはヒミツ基地	文化	文化観光課
21	はじめてのおんがくかい	文化	文化観光課
22	新宿歴史博物館所蔵資料展「色ガラス芸術のパイオニア 岩田藤七・久利」	文化	文化観光課
23	新宿歴史博物館所蔵資料展「写真展 天空から見た新宿」	文化	文化観光課
24	林芙美子記念館内部公開	文化	文化観光課
25	新宿歴史博物館 春のお茶会	文化	文化観光課
26	新宿区民総合体育大会	スポーツ・健康	生涯学習スポーツ課
27	【投票宣言】新宿区は、投票に参加します（※）	教育	オリパラ担当課
28	春の文化体験プログラム	文化	文化観光課

※ 小学生による東京2020マスコットの投票

平成30年度

No.	アクション名	分野	担当課
1	沖縄音楽フェスティバル	文化	文化観光課
2	はじめてのおんがくかい	文化	文化観光課
3	新宿フィールドミュージアム2018	文化	文化観光課
4	東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた777日前記念イベント ～新宿から世界へ～ ベストをめざして 夢・チャレンジ!	スポーツ・健康	オリパラ担当課
5	和を伝えるプログラム	文化	文化観光課
6	東京五輪音頭-2020-講習会	文化	オリパラ担当課
7	新宿区東京2020大会区民協議会	オールジャパン・世界への発信	生涯学習スポーツ課
8	新宿フィールドミュージアム・アクション2020の制定	文化	文化観光課
9	新宿区民総合体育大会	スポーツ・健康	生涯学習スポーツ課
10	夏の文化体験プログラム	文化	文化観光課
11	古代オリンピアから日本へ 想いをつなぐトーチ展	文化	オリパラ担当課
12	新宿打ち水大作戦	持続可能性	環境対策課
13	新宿クリエイターズ・フェスタ2018 アーティスト展	文化	オリパラ担当課
14	ポイ捨て防止・路上喫煙禁止キャンペーン	街づくり	ごみ減量リサイクル課
15	新宿年末クリーン大作戦	街づくり	ごみ減量リサイクル課
16	新宿区立漱石山房記念館1日館長及び1周年記念イベント	文化	文化観光課
17	しんじゅく若者会議	文化	区政情報課
18	秋の文化体験プログラム	文化	文化観光課
19	ボランティアフォーラム2018	オールジャパン・世界への発信	オリパラ担当課
20	新宿区ゆめじぎょう ～ボクたち私たちのオリンピック・パラリンピック～	教育	教育支援課
21	東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた500日前記念イベント ～新宿から世界へ～ キミがかがやく 夢・チャレンジ!	スポーツ・健康	オリパラ担当課
22	春の文化体験プログラム	文化	文化観光課

令和元年度（平成31年度）

No.	アクション名	分野	担当課
1	フットサル交流会「新宿グローバルカップ」	スポーツ・健康	多文化共生推進課
2	新宿「みどりのカーテン」プロジェクト	持続可能性	環境対策課
3	ポイ捨て防止・路上喫煙禁止キャンペーン	街づくり	ごみ減量リサイクル課
4	新宿年末クリーン大作戦	街づくり	ごみ減量リサイクル課
5	東京五輪音頭-2020-講習会	文化	オリパラ担当課
6	サービス介助基礎研修	教育	障害者福祉課
7	障害者スポーツ講演会	教育	障害者福祉課
8	和を伝えるプログラム	文化	文化観光課
9	新宿2020サポーター	教育	オリパラ担当課
10	沖縄音楽フェスティバル	文化	文化観光課
11	はじめてのおんがくかい	文化	文化観光課
12	ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団	文化	文化観光課
13	新宿フィールドミュージアム2019	文化	文化観光課
14	大久保・百人町地区クリーン活動	街づくり	大久保特別出張所
15	人にやさしいまち えのき	文化	榎町特別出張所
16	新宿区民総合体育大会	スポーツ・健康	生涯学習スポーツ課
17	東京2020オリンピック・パラリンピックあと1年！ 記念イベント	スポーツ・健康	生涯学習スポーツ課
18	スポーツを科学する	スポーツ・健康	生涯学習スポーツ課
19	新宿打ち水大作戦	持続可能性	環境対策課
20	夏休みこども文化体験プログラム	文化	文化観光課
21	やってみよう！アーティスティックスイミング	スポーツ・健康	オリパラ担当課
22	地域イベントで東京2020大会を盛り上げよう	文化	落合第二特別出張所
23	新宿クリエイターズ・フェスタ2019 アーティスト展	文化	文化観光課
24	新宿区東京2020大会区民協議会	オールジャパン・世 界への発信	オリパラ担当課
25	東京2020に向けたおもてなしボランティア体験 in新宿	教育	教育支援課
26	英語キャンプ	教育	教育支援課
27	生徒会×東京2020 @新宿 ～中学生が考える私たちのオリン ピック・パラリンピック～	教育	教育支援課
28	パラスポーツ体験 in フレンドカフェ	スポーツ・健康	柏木特別出張所
29	箏箏deダンス！～箏箏で東京2020マスコットと踊ろう～	街づくり	箏箏町特別出張所
30	四谷特別出張所外2施設の壁面装飾及びスタンプラリー	街づくり	四谷特別出張所
31	榎町2019・ポッチャでGO	スポーツ・健康	榎町特別出張所
32	新宿シティドレッシング	街づくり	オリパラ担当課

No.	アクション名	分野	担当課
33	新宿区・伊那市のこどもたちによるオリンピック・パラリンピックに向けた体験交流ツアー	教育	オリパラ担当課
34	東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたクイズラリー in 新宿	教育	戸塚特別出張所
35	東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた250日前記念イベント ～新宿から世界へ～ ひろがる未来に 夢・チャレンジ!	スポーツ・健康	オリパラ担当課
36	秋の文化体験プログラム	文化	文化観光課
37	柏木地区コミュニティスポーツ大会 オリンピック星奈津美さんが一緒に競技するよ!	スポーツ・健康	柏木特別出張所
38	第25回 新宿かしわまつり オリンピック星奈津美さんトークショー	スポーツ・健康	柏木特別出張所
39	ミライトワ・ソメイティと踊ろう at つのはず	街づくり	角筈特別出張所
40	東京五輪音頭-2020-講習会	文化	オリパラ担当課
41	国立競技場をもっと知って東京2020大会を楽しもう!	街づくり	四谷特別出張所
42	コミュニティスポーツ大会	スポーツ・健康	生涯学習スポーツ課

令和2年度

No.	アクション名	分野	担当課
1	新宿「みどりのカーテン」プロジェクト	持続可能性	環境対策課
2	新宿歴史博物館所蔵資料展 「1964オリンピックと新宿」	文化	文化観光課
3	新宿区東京2020大会区民協議会	オールジャパン・世界への発信	オリパラ担当課

令和3年度

No.	アクション名	分野	担当課
1	新宿「みどりのカーテン」プロジェクト	持続可能性	環境対策課
2	新宿フィールドミュージアム2021	文化	文化観光課

■ 新宿区東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画事業助成実績

①令和元年度交付決定事業の概要

No.	申請団体名	事業内容
1	笹筒地域スポーツ文化協議会	小学生のバドミントン普及のため、アスリート（実業団選手）によるバドミントン教室や交流大会を実施する。また、イベントではパラリンピックのバドミントン種目を紹介し、パラリンピックに対する興味関心を呼び起こす。
2	新宿区立西新宿小学校PTA	西新宿小学校の児童が描いた絵（【表面】角筈・淀橋地域を紹介する絵【裏面】2020年に応援したいことやチャレンジしたいことをテーマに描いた絵）を掲載したうちわを制作し、西新宿地域の商店街やホテル等で配布し、来街者等に対して西新宿地域や東京2020大会をPRする。
3	神楽坂商店街振興組合	夏祭りにて東京2020はっぴを着用し、地域の小学校や一般参加者とともに東京五輪音頭（2020年版・1964年版）を踊る。他にもポッチャ体験コーナーを設けたり、リフティングの世界チャンピオンによるリフティングの実技披露等を行い、オリンピック・パラリンピック競技のPRを行う。
4	西落合町会	東京五輪音頭の講習会を行い、盆踊り大会参加者で踊る。また、オリンピックに関連するクイズ大会やポッチャ体験コーナー設けたり、落合第二中学校吹奏楽部によるオリンピック関連曲目の演奏で、参加者の大会気運を盛り上げる。
5	早稲田商店会	商店街の街路灯に、東京2020大会や早稲田スポーツを応援する様々なメッセージの入ったフラッグを掲揚する。また、様々な種類のフラッグを巡るフラッグラリーを行い、来街者に向けての気運醸成を行う。
6	大隈通り商店会	大学生から小学生までの子どもたちがグループとなり、運営するミニ緑日の催しと併せてポッチャ体験を実施し、小さな子どもにもパラリンピック競技を楽しんでもらう機会をつくる。また、早稲田大学と連携し、参加者に早稲田大学オリンピックミュージアムを案内し、メダリストの功績に触れてもらう。
7	榎町特別出張所地区町会連合会	ポッチャ大会として、各町会による対抗戦及び障害者・高齢者支援施設等による対抗戦を同時に実施することで多くの住民の交流を促し、東京2020大会以後も発展継続できる事業とする。
8	新小川町自治会	東京2020オリンピック・パラリンピックをテーマにした灯ろうを作成し、灯ろうまつりで装飾する。また、東京2020はっぴを着用した助六太鼓家元らによって、東京五輪音頭に合わせた和太鼓演奏を実施する。
9	新宿区テコンドー協会	オリンピック・パラリンピック競技であるテコンドーをPRするため、日本代表クラスの選手などによるテコンドー及びパラテコンドー体験や講演、演舞等を行う。
10	南元町町会	事前に東京五輪音頭-2020-の練習会を行い、イベント当日に盆踊り参加者で踊る。また、ポッチャ体験やオリンピック・パラリンピッククイズゲームを実施したり、東京2020大会の実施競技をテーマにしたポスターを作成し、会場を装飾する。
11	新宿パレード2020実行委員会	フェスティバルパレード（著名アスリートや吹奏楽団などによるパレード）や、みこしパレード（区内のみこしによるパレード）の他に、東京2020大会気運醸成コンテンツ（東京五輪音頭-2020-の踊りや、各種スポーツ体験等）を展開する、新宿パレード2020を実施する。

No.	申請団体名	事業内容
12	信濃町町会	「信濃町展～東京1964-2020へ～」を実施する。個人が所有する東京1964オリンピック関連の展示物（スタート用ピストル、聖火トーチ、入場券、選手村食事券、通訳バッジなど）を公開し、1964年当時の全国的な盛り上がりや町会の取組みの様子を伝える。
13	新宿区手をつなぐ親の会	パラリンピックと障害についての理解啓発イベントを二部構成で実施する。 ①講演会「パラリンピックが東京に教えてくれること」 ②知的・発達障害疑似体験キャラバン隊とお笑い芸人のコラボレーションによる知的・発達障害の特性や必要な配慮の理解啓発
14	新宿区落合第二地区町会連合会	「落合さくらまつり」の中で、東京五輪音頭-2020-を踊ったり、オリンピック競技である野球・ソフトボールのストラックアウトやパラリンピック競技であるボッチャの体験、東京2020オリンピック・パラリンピッククイズを実施する。
15	社会福祉法人新宿区障害者福祉協会	パラスポーツ体験イベントを実施して、子どもたちに各種障害者競技（シッティングバレー、車椅子バスケット、車椅子テニス、義足歩行等）を体験してもらい、障害の大変さと、努力することの大切さの理解を深め、併せて競技への興味を深めていく。
16	新宿区花道茶道協会	和菓子と抹茶の体験及び実演を行い、大会を契機とした日本文化の継承やPRを行う。また、活け込み体験及び実演も行い、参加者と一緒に五輪をイメージした生け花を作り上げる。
17	新宿区立小学校PTA連合会	区内小学校において学校単位で競技会（オリンピック・パラリンピック）を行い、オリンピック・パラリンピックの表彰を模した表彰式で上位者にメダルを贈呈する。
18	一般社団法人染の里おちあい	地場産業の染色を学び、藍の種をまき一緒に育てる事業を区内の小学校で実施する。
19	箱根山駅伝大会2020実行委員会	都立戸山公園の「箱根山」を、5人1組のチームがたすきをつないで周回する。各チームのたすきやコスチュームを東京2020大会参加国にちなんだものとするほか、ゴール・スタート地点にオリンピック・パラリンピックを連想させるデザインのゲートを設置するなど、若松地区東京2020大会として実施する。
20	東京都公衆浴場業生活衛生同業組合新宿支部	東京2020大会を契機に、日本独自の文化としての銭湯の良さをアピールする。提灯を聖火に見立てて、新宿区内の銭湯間を聖火リレーならぬ提灯リレーするウォーキングイベントを行う。銭湯間の街並を提灯行列の如く東京2020はっぴを着用した参加者と練り歩く。最終ゴール地点では、東京五輪音頭-2020-の振付講習会等の記念イベントを行う。
21	特定非営利活動法人新宿ライフケアセンター	車いすを使って遊ぶイベントを実施する。車いすリレーや車いす障害物リレー、車いすスラロームリレー、カローリング、玉入れ等をはじめ、車いすを使って楽しむ競技種目を行う。また、イベントのボランティアスタッフを対象に、車いすや障害、ダイバーシティ&インクルージョンへの理解を深めるための準備会兼講習会を行う。
22	特定非営利活動法人あそびと文化のNPO新宿子ども劇場	東京2020大会の開催を機に、日本の文化の魅力の再発見や外国文化の面白さを感じてもらうために、公演事業等（子ども落語や影絵ワークショップ）を実施する。各会場のロビーではパラスポーツ競技の紹介パネル展示を併せて実施し、パラリンピックのPRを行う。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて中止となった事業も含め、助成金の交付が決定した全事業を掲載しています。

②令和3年度交付決定事業の概要

No.	申請団体名	事業内容
1	北新宿三丁目町会	地域の若い世代に親子を対象としたこどもまつりを実施する。イベントでは、ボッチャ体験、プレイパークあそびのほかに、オリンピック等の大会記録の表示でアスリートの記録を体験できるコーナーを設置。また、大きな白板に参加者から東京2020大会の思い出を募集し、寄せ書きを完成させる。
2	百人町東町会	聖火リレーやトーチのコンセプトを説明する講演会を実施する。講演会の後半ではボッチャ体験等も行う。大会の日程表などを掲載したチラシを作成し、地域住民が一体となって大会を応援する。
3	一般社団法人染の里おちあい	令和元年度事業で染色を学び、一緒に藍を育てる事業を落合地域周辺の小学校で実施した。令和3年度は育てた藍を用いた生葉染めによる、東京2020大会応援フラッグやくるみボタン製作のワークショップを行う。小学生以外も対象にしたイベントを染の里おちあいや東京富士大学でも実施する。
4	早稲田商店会	商店街の街路灯に設置している早稲田にゆかりのあるオリンピック・パラリンピアン24名の手形を紹介する冊子を作成する。冊子には各手形のマップや各選手にまつわるエピソードなどを掲載し、本取組みを来街者に発信する。
5	一般社団法人新宿区サッカー協会	区内の子どもたちで構成した各国チームによるフットサル対抗戦「新宿グローバルカップ2021」を実施し、子どもたちの国際交流の場を提供する。そのほかにブラインドサッカー体験なども行い、パラスポーツへの理解を深める。
6	上落合東部町会	新宿区登録無形民俗文化財である「上落合餅つき唄」について、若年層への理解を促し、認知度を高め、次世代に継承するための活動を行う。プロモーション動画の制作やオリジナルサイトの公開による国内外へのPR活動を行い、最終的に東京2020大会と本事業を振り返る成果報告会を実施する。
7	新宿区立小学校PTA連合会	令和元年度と同じく区内小学校において学校単位で競技会（オリンピック・パラリンピック）を行い、オリンピック・パラリンピックの表彰を模した表彰式で上位者にメダルを贈呈する。
8	新小川町自治会	オリンピック・パラリンピックをテーマにした灯ろうに装飾する絵を募集し、大会のフィナーレに合わせて実施する灯ろうまつりで作品を展示する。
9	新宿区立牛込第二中学校生徒会	生徒と地域住民でパラリンピック競技（ボッチャ、シッティングバレー、車いすバスケットボール、ゴールボール）の体験を行うとともに、競技大会を行う。
10	新宿区立牛込第三中学校生徒会	東京2020大会を契機として生徒会で取り組んできたボランティアマインドの育成と国際理解・国際交流を推進する。具体的には、地域清掃ボランティアやJICAと連携して募集した外国人との交流で文化紹介や体験を行いながら英会話によるコミュニケーションを図る。
11	新宿区立西早稲田中学校生徒会	生徒会主催の講演会を行う。オリンピック・パラリンピックの開催地としてのレガシーを残していくために、国際人としてのマナー・礼儀を身に付け、今後世界で活躍するためにはどうあるべきか講師の実体験から学ぶ。 [一部] 国際人として身に付けるべき礼儀・マナー [二部] オリンピアンに学ぶ

No.	申請団体名	事業内容
12	新宿区立落合中学校生徒会	クラス対抗の競技会（ダブルダッチ）を実施する。また、学校独自のピクトグラムでクラス旗を作成し、学校での行事に活用して東京2020大会のレガシーとして受け継ぐ。
13	新宿区立西新宿中学校生徒会	オリンピック・パラリンピックに関連した競技（ボッチャ・バスケットボール等）によるクラス対抗の競技会を行い、競技と大会への興味・関心を高める。
14	新宿区立新宿中学校生徒会	オリンピック・パラリンピックに関連した競技（シッティングバレー、ブラインドサッカー）などを体験する競技大会を開催する。学年や男女関係なくみんなが楽しんで安全に競技を行えるように工夫する。
15	新宿区立新宿西戸山中学校生徒会	障害者スポーツに親しみ、楽しむことを通して、障害者理解を深めるため、令和元年度から継続しているボッチャ大会の第3回大会を実施する。優勝チームには、オリンピック・パラリンピック関連の賞品を贈呈する。
16	新宿区立新宿養護学校生徒会	東京2020大会に伴い新宿区内に多くの人々が訪れることから、感染症対策のため生徒がフェイスシールドを作成し、地域や医療機関等に寄付することで、生徒のボランティアマインドの醸成を図る。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて中止となった事業も含め、助成金の交付が決定した全事業を掲載しています。

■ なるほど！TOKYO2020（広報新宿連載） 掲載記事一覧



No.	発行号	掲載面	内容
平成30年（2018年）			
1	6月15日号	8面	東京五輪音頭-2020-
2	7月15日号	8面	国立競技場（実施種目、完成予定時期など）
3	8月25日号	4,5面	聖火リレー（1964年の東京オリンピック聖火ランナーへのインタビュー）
4	9月15日号	8面	東京2020マスコット「ミライトワ」「ソメイティ」の紹介
5	10月5日号	8面	大会ボランティア、都市ボランティアの概要（活動内容等）
6	11月25日号	4,5面	ボランティアフォーラム2018レポート
7	12月15日号	4,5面	都市鉦山からつくる！みんなのメダルプロジェクト
令和元年（2019年）			
8	1月15日号	4,5面	東京2020大会のチケット
9	2月15日号	4,5面	嘉納治五郎
10	3月15日号	8面	東京2020大会500日前記念イベント報告
11	4月25日号	8面	新宿シティドレッシング（区施設のラッピングなど）
12	5月15日号	8面	東京2020大会ピクトグラム、観戦チケット販売開始
13	6月15日号	8面	地域の皆さんの取組み（しなの会）
14	7月15日号	8面	東京2020オリンピック聖火リレートーチの紹介、聖火ランナー募集
15	8月15日号	8面	デイカウンターに桐生祥秀選手が登場
16	9月15日号	8面	オリンピック競技紹介（ラグビー）
17	10月25日号	8面	地域の皆さんの取組み（榎町地域ポッチャ大会、薬王寺児童館）
18	11月15日号	8面	新宿2020サポーター活動紹介
19	12月15日号	8面	国立競技場が完成（地元の声インタビュー）
令和2年（2020年）			
20	1月15日号	8面	東京2020パラリンピック聖火リレーの概要、聖火ランナー募集
21	2月15日号	8面	新宿シティドレッシング（陸上競技シルエットシール、配電地上機器）
22	3月25日号	8面	前川楓選手（東京2020パラリンピック陸上女子走り幅跳び(T63クラス) 日本代表) インタビュー
	4～8月		（新型コロナウイルス感染拡大により休載）
23	9月15日号	4面	地域の皆さんの取組み（西新宿小学校）
24	10月15日号	8面	延期後の新たな競技日程
25	11月25日号	6面	おうちdeパラマスター！
26	12月15日号	8面	新宿ゆかりのアスリート、古賀淳也選手（2009年世界水泳100m背泳ぎ金メダリスト）インタビュー
令和3年（2021年）			
	1～3月		（新型コロナウイルス感染拡大により休載）
27	4月5日号	5面	東京2020オリンピック聖火リレーがスタートしました
28	5月15日号	8面	東京2020オリンピック・パラリンピックメダルの紹介
	6月		（新型コロナウイルス感染拡大により休載）
29	7月5日号	4面	1964年東京オリンピック開会式（牛込仲之小学校鼓隊の練習風景）
30	7月25日号	7面	東京2020オリンピック学校応援タペストリー全40作品の紹介
31	8月25日号	4面	東京2020パラリンピック学校応援タペストリー全40作品の紹介

◆ 檀町地域ボッチャ大会

パラスポーツ「ボッチャ」の地域団体対抗の大会を行いました。新宿区スポーツ推進委員からの指導の後、チーム対抗戦では白熱した戦いが繰り広げられ、参加者は「年齢や性別に関係なく皆で盛り上がる事ができた」と楽しんでいました。



◆ 薬王寺児童館「パブリカダンス」

NHK2020応援ソング「パブリカ」のダンスを子どもたちみんなで毎日踊っています。館内は、大会マスコットの絵で飾り付けられ、2020年への期待感にあふれています。



令和元年10月25日号

「新宿2020サポーター」が活躍しています!

東京2020大会の気運醸成に向けた区独自のボランティア制度「新宿2020サポーター」。今回は、区主催のイベントで活躍中のサポーターの方に活動を始めたきっかけをお聞きしました。

特別な体験ができる!

東京2020大会エンブレムに「HOST CITY」とあるのを見て、新宿区が世界中の方をおもてなしすると思ったら、参加したくなりました!

ボランティアって、ちょっと特別な体験ができる感じで、とても楽しいですよ!



熊捕さん

何かお手伝いをしたい!

せっかく新宿区に住んでいるので、何かお手伝いできるのではないかと思い、参加しました。

東京2020大会で区主催のパブリックビューイングを行うのであれば、サポーターとして参加したいです!



山村さん



令和元年11月25日号

学校や配電地上機器を装飾して新宿のまちをにぎやかに!

陸上競技シルエットシール

国立競技場で開催される陸上競技のシルエットシールで、区立学校の校舎・体育館の壁面85か所を装飾しています。いずれも、アスリートの記録が実感できる原寸大のサイズです。

▶ 西新宿小学校校舎外壁・棒高跳び(オリンピック種目)



配電地上機器ラッピング

区内の小・中学生が2020年への夢を描いた、「その応援から感動がはじまる! チャレンジ!2020」絵画コンクールの入選作品等で、パラリンピックのマラソンコースなどを中心に、区内320か所の配電地上機器を装飾します。



▲中学生の部で金賞を受賞した池田麻里子さん(新宿西戸山中学校)と受賞作品の装飾



令和2年2月15日号

■ エレベーターラッピングデザイン一覧

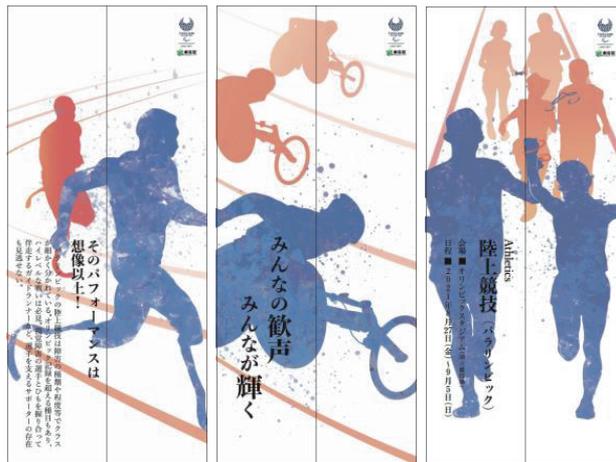
競技シルエットデザイン

- ・ オリンピック 7競技19種類
- ・ パラリンピック 4競技10種類

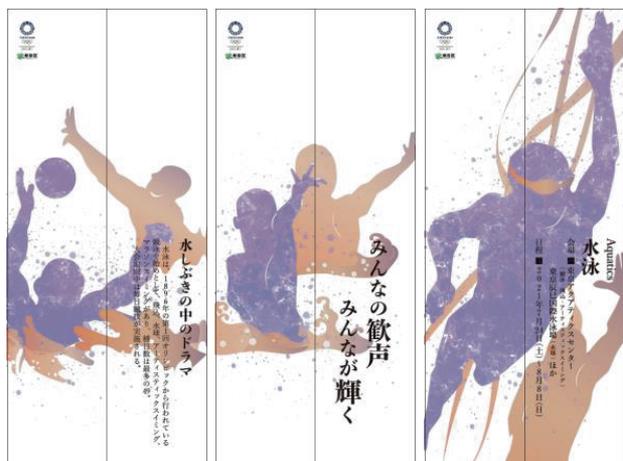
▼陸上競技（オリンピック）



▼陸上競技（パラリンピック）



▼水泳



▼車いすラグビー



▼バレーボール



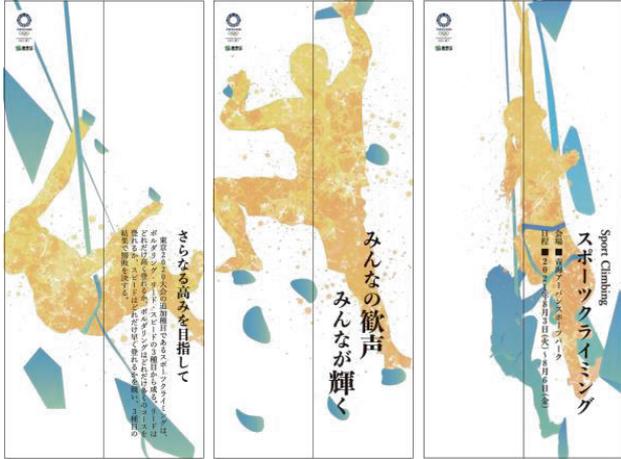
▼テニス



▼車いすテニス



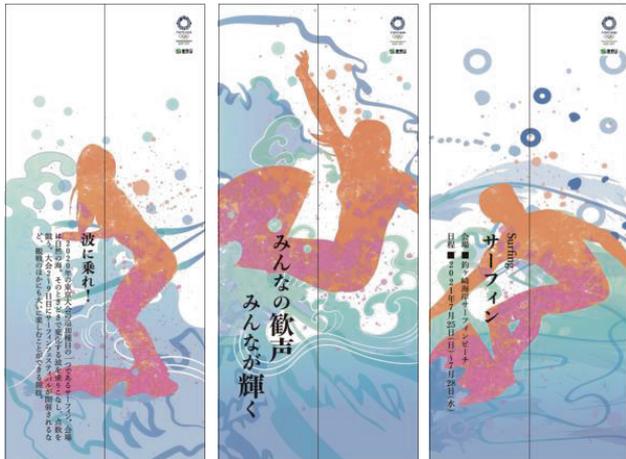
▼スポーツクライミング



▼ゴールボール



▼サーフィン

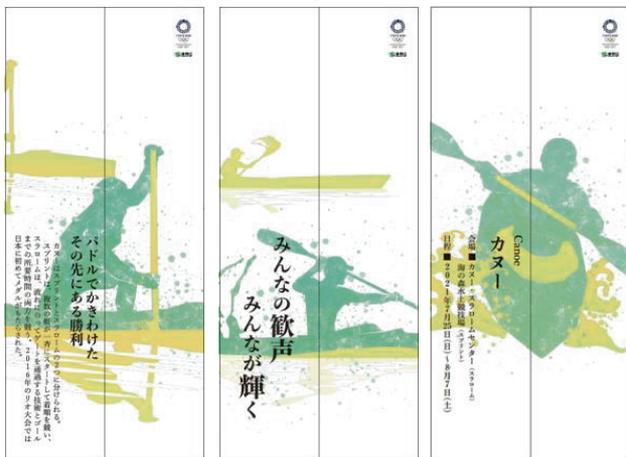


※内扉（かご内）のデザイン



(例) 新宿区役所本庁舎

▼カヌー



漫画風デザイン

- ・オリンピック 8競技8種類
- ・パラリンピック 8競技8種類

▼卓球 (オリ)



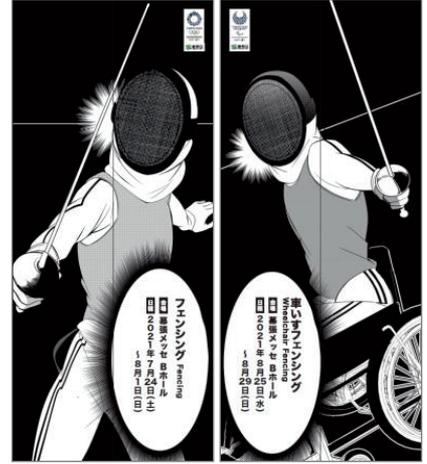
卓球 (パラ) ▲

▼アーチェリー (オリ)



アーチェリー (パラ) ▲

▼フェンシング



車いすフェンシング▲

▼バレーボール



シットイングバレーボール▲

▼サッカー



5人制サッカー▲

▼バスケットボール



車いすバスケットボール▲

▼ウェイトリフティング



パワーリフティング▲

▼空手



ポッチャ▲

(例) 笹筒町特別出張所

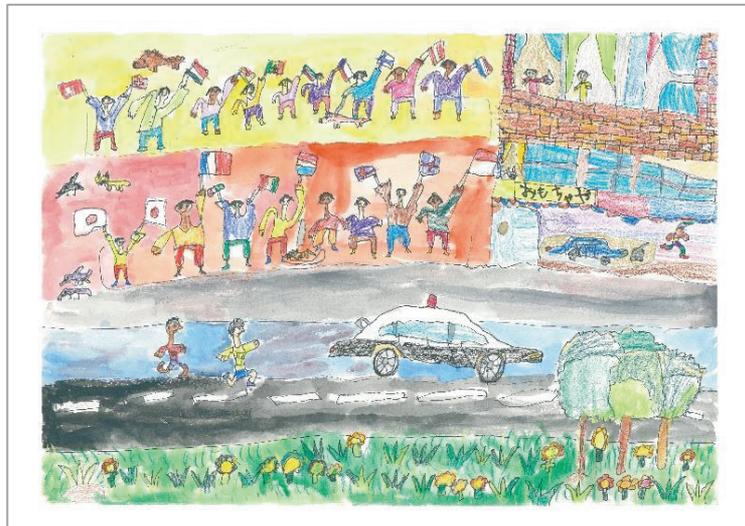


※内扉 (かご内) のデザイン

■ 「その応援から感動がはじまる！チャレンジ！2020 絵画コンクール」入賞作品一覧

小学生低学年の部

金賞



世界のなかまとマラソンおうえん

銀賞



テコンドーけりわざでノックアウト



マラソンがんばれ

銅賞



新種ゲットだぜ！



がんばれオリンピック
パラリンピックのせんしゅ



2020のTokyoを
ごあんない

小学生高学年の部

金賞



楽しいボッチャ

銀賞

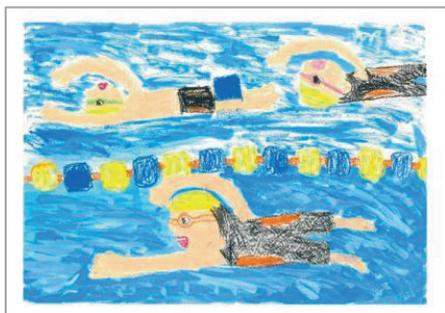


新体操の演技を一番前で見たい

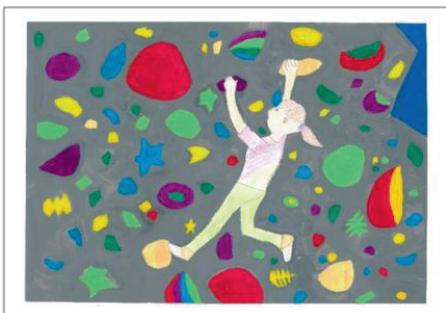


この気持ちを

銅賞



もっとがんばるぞ！！
水泳！！



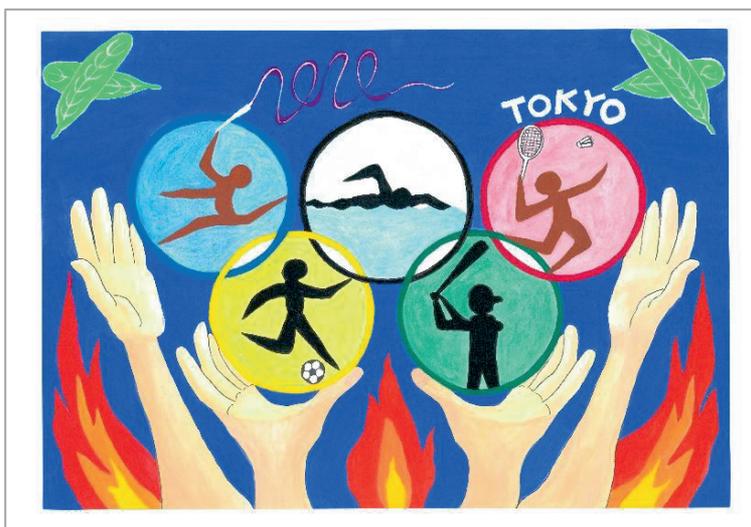
カラフルデザイン
ボルダリング



スケートボード

中学生の部

金賞

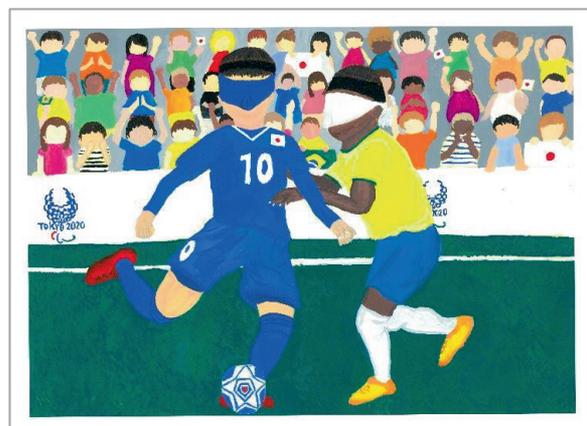


燃える期待！目指せ頂点！！

銀賞



限界を決めないネバーギブアップ



ボーイ！ボーイ！東京

銅賞



柔道・腰技



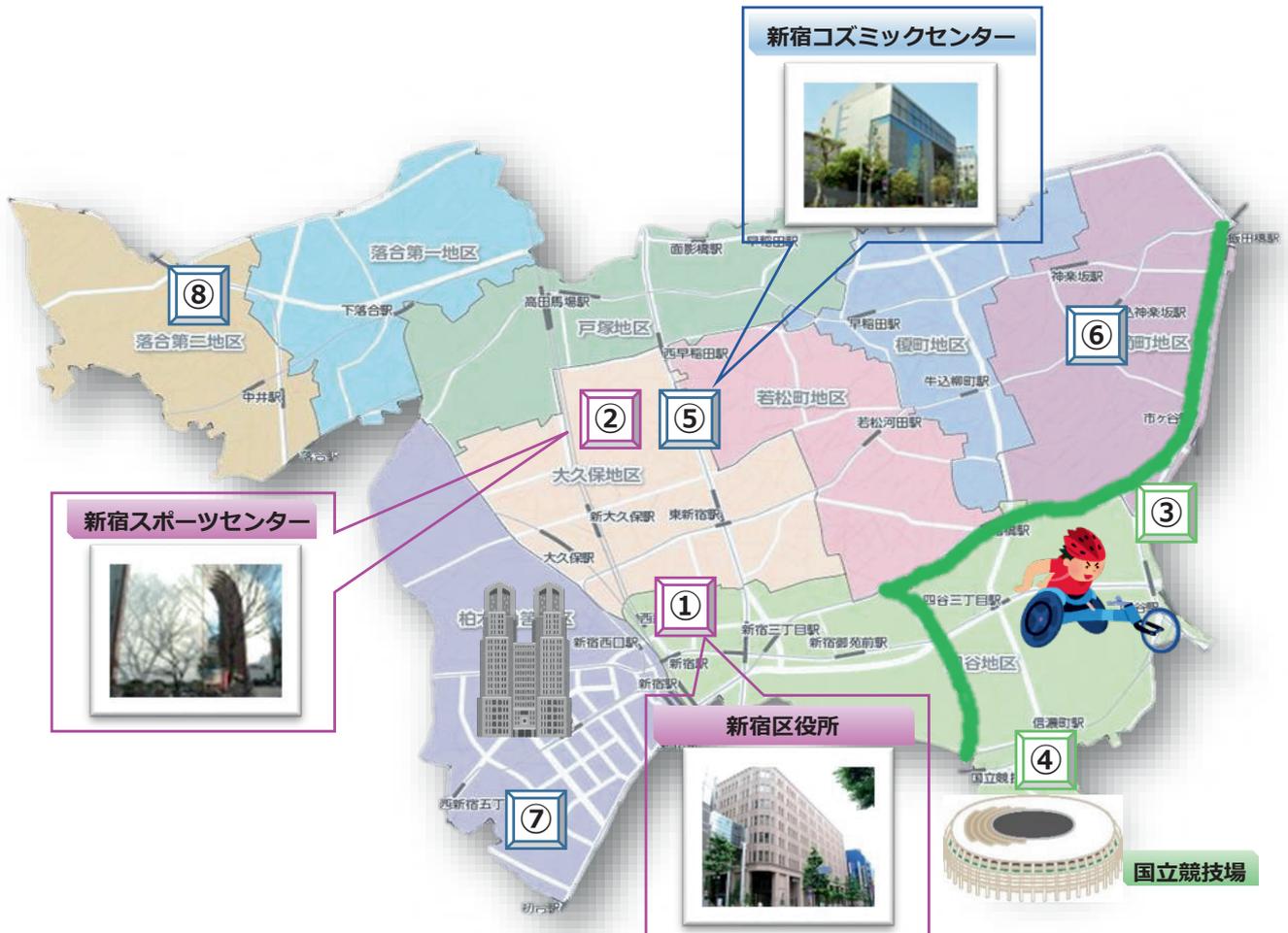
カラフル



日本水泳

新宿レガシーマップ®

SHINJUKU LEGACY MAP



レガシースポット

① 銘板 (P.86)
(新宿区役所本庁舎平和の灯下)

聖火リレータッチ展示 (P.86)
(新宿区役所第一分庁舎)



② 聖火リレータッチ展示 (P.86)
(新宿スポーツセンター)

大会マスコット像展示 (P.47)
(新宿スポーツセンター)



カウントダウンイベント会場

⑤ 大会1000日前記念イベント会場 (P.21)
(新宿コスミックセンター)

⑥ 大会777日前記念イベント会場 (P.24)
(愛日小学校、牛込笹塚区民ホール)

⑦ 大会500日前記念イベント会場 (P.28)
(西新宿小学校)

⑧ 大会250日前記念イベント会場 (P.36)
(落合第二中学校、落合第三小学校)

競技会場

③ パラリンピックマラソンコース
(P.6~7)
(外苑西通り、靖国通り、外堀通り)



④ 国立競技場 (P.4~7)

新宿区における東京2020
オリンピック・パラリンピック競技大会
に向けた活動報告書

令和3年12月発行

編集・発行

新宿区東京オリンピック・パラリンピック開催等担当部
東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課
東京都新宿区歌舞伎町1-4-1
電話 (03)3209-1111

印刷物作成番号

2021-10-2701

この印刷物は、業者委託により500部印刷製本しています。その経費として、1部あたり2,596円(税込み)がかかっています。ただし、編集時の職員人件費や配送経費などは含んでいません。

 新市区